



高知大学 2021

大学案内

人文社会科学部

教育学部

理工学部

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部



豊旗丸

高知大学



高知大学
Kochi University

地域から 未来を展望する

大学とは、学びたい意欲や積極性に対して、そのチャンスを提供する場。
どうせなら舞台は大きい方がやりがいがあるし、可能性も実現性も、高いほどきっとおもしろい。
高知大学を拠点に始まる、あなたの挑戦。その先に、まだ見ぬ自由が広がっているはずです。

Super Regional Universityへようこそ!



高知大学 学長
櫻井 克年

みなさんはどんな社会人になりたいですか？

社会の求める人材は、自分で考えられる学生。創造を主導することのできる学生。
つまり、地域を創生することで日本を再生に導くプレイヤーです。

現場を経験して、自分で考えるトレーニングを積み、あらゆる社会の現場で、活躍できる人材に育つはず。
高知大学は、地域協働型教育を通してみなさんの、そして社会の期待に応えます。

高知にはあらゆる現場がある。

山頂から、海底までの豊かな自然環境はもちろんのこと、人間の暮らす社会としての限界集落や小都会もある。
豊富で新鮮な食料と、気さくで親切な人々もいる。

未来の日本のヴィジョンを描くうえで、土佐の地にどっしりと腰を据えた高知大学での様々な体験と実践は、きっと、役に立ちます。

高知大学で、みなさん自身とこの社会の未来図を描き、それを具現化するために、私たちと共に学び、成長しましょう。

そんな、Super Regional University 高知大学へ ようこそ!

INDEX

巻頭特集 地域から未来を展望する	01
学びの構造	13
共通教育	15
学びを支える様々な制度や取組	15
もうひとつの学びの場 課外活動	16

▶ 各学部の情報や特徴は？

学部紹介	
人文社会科学部	17
教育学部	23
理工学部	29

医学部	35
農林海洋科学部	41
地域協働学部	47

学びの環境	53
教員紹介	59

▶ もっと学びたい時は？

大学院	65
国際交流	67

▶ 大学生活について詳しく知りたい

Campus Life — キャンパスライフ	
学年暦・高知での生活・防災対策	69
Club Activities — サークル活動	71
朝倉キャンパス	73
岡豊キャンパス	75
物部キャンパス	77
Daily Life — 学生生活を支える施設	79
Cost of Living — 生活費	80
入学科・授業料・学生寮・奨学金制度	81

▶ 就職に関する情報

就職活動支援	83
--------	----

▶ 入試に関する情報

入試データ	87
ネット出願	90
オープンキャンパス	90

※学生の学年表記は、平成31年度時点です

LOCAL

豊かな自然、多様な人の営みの中で “協働”を学ぶ — 地域協働学部

3年間で600時間にも及ぶ地域実習を柱とする地域協働学部。その学びの場となるのが高知県内の様々なフィールドです。豊かな自然を基盤に1次産業から6次産業まで様々な生業が営まれている高知には、多様な伝統や文化、人のつながりが形成されており、そこで学生たちはいろいろな世代や立場の人とつながりながら課題の発見やその解決に挑みます。

それは、高校までの答えのある学びと違い、まさに自らが気づいていく学び。様々な見方で捉え直すことで物事の多面性を知り、人の抱える想いを揺らぎや矛盾も含めて学ぶことで、地域や人を真に理解する。そこから“協働”が始まっていくのです。



高知県西部・佐賀漁港のもどりガツオ祭で、地域の方と協働で開発したシイラのつみれ汁を販売する学生たち。



目からウロコの学び体験を

田中 求 教授



地域の人の話を聞き、想いを受け止め、それを積み重ねていく中で信頼関係を築き、人のつながりを創っていく——こうした協働のプロセスは、これからの地域や社会の土台となると我々は考えています。少子高齢化や過疎化などの課題が先行する高知県。ここでの実践は、目からウロコが落ちるような気づきや学びに溢れています。ぜひ一緒に成長しましょう。

GLOBAL

海外でフィールドワーク 理論と実践をつなげる — 人文社会科学部

グローバル社会と地域社会が直面する現状や課題を理解し、その解決の糸口を探るため、人文科学と社会科学の双方の視点から多様な学びを展開している人文社会科学部。そこには海外というフィールドで学ぶチャンスも開かれています。

そのひとつが、海外スタディツアー。行き先はカナダやオーストラリア、中国、台湾、東南アジア諸国など様々なコースがあり、10～14日ほどの行程でフィールドワークや視察、協定校である大学の授業などに参加します。

自分の知らなかった文化や価値観に触れることで視野を広げ、意欲を高める——その先には、海外留学や海外をテーマとした卒業研究などさらなる学びも待っています。



スタディツアーは何年生でも参加可能。これをきっかけに留学を目指す学生も多い。

自分の可能性を拓こう

高橋 俊 教授



大学が催行する海外スタディツアーは、新入生や渡航経験のない学生にも参加しやすい海外体験の機会です。大学の学びにおいて座学はもちろん大切ですが、実際にいろいろなことを体験し、理論と実践を往還しながら学ぶことには大きな意義があります。大学は、皆さんが様々な能力を身に付け社会に羽ばたくための助走期間。多くの学びを得てほしいと思います。

ACTIVISM

1年生から臨床を体験

意欲と能力を高める国際基準の学び

— 医学部

世界医学教育連盟の国際基準に基づき、カリキュラム改革が進む医学部医学科。その柱は、附属病院で臨床実習を行う5年生と1～3年生がペアを組んで医療の現場に入る「臨床体験実習」です。

1～3年生は医療に直接関わることはできないため、実習中は診察、手術、カンファレンスなど様々な現場で、医師や看護師、5年生の動きを間近で見て医療を理解していきます。ねらいは、モチベーションの向上と医師としてのキャリア教育。早い段階から「自分はどんな医療人になりたいのか」「そのために今何をすべきか」を自覚することで学生の主体的な学びや成長を促し、よりよい医師の育成につなげることを目指しています。



臨床体験実習は1年生は2月、2～3年生は9月に実施され、学びを共有するための体験発表も行われている。



誰のために学ぶか

瀬尾 宏美 教授



現場で学ぶ学生にとって何より大きいのは、患者さんの存在です。患者さんから「がんばっていいお医者さんになってね」などと声を掛けていただく。すると学生たちの目の色が変わります。「大変だけどやっていたよかった」「この人のためにもっと勉強しよう」そういう体験を得て、みんな大きく成長します。医療は人を相手にする仕事。それを胸に学んでいってほしいと思います。

EMPOWERMENT

主体性を発揮できる実習環境で
教員就職率全国2位

— 教育学部

2校種の教員免許取得を目指し、4年間一貫した実習系授業で教員としての力量形成に取り組む教育学部。1年生で地域の学校との連携プロジェクトを通じて子どもと関わる基礎を学び、2年生では附属学校での観察実習で教員の役割や心構えを理解。3・4年生の教育実習では実際に教壇に立ち、自分の思う教科指導法や学級運営などを実践していきます。

実習の中で、学生はいろいろな壁にもぶつかります。それを側面から支援するのが附属学校の指導教員や大学のゼミ。課題の発見→克服→実践というプロセスを積み重ねながら人間力や能力を高める。それが、教員就職率全国2位という快挙にもつながっているのです。



教育実習ではまず子どもたちと仲良くなることが大切。その信頼関係の延長に授業があるからだ。

教育実習に先立ち学生に伝えているのは、「まずは自分で考えることが大事だ」ということ。教科指導はもちろん、学校行事や子どもたちとの関わりにも積極的に取り組んでほしいと考えています。また近年は、教育のユニバーサルデザイン化も重要なキーワード。学生の希望に応え、全コースで主となる教育実習に加え、特別支援学校での実習ができる新体制もスタートしています。

自ら考え、成長する



多良 静也 教授

RESEARCH

特許取得など学生が活躍 次世代を担う技術と人材を輩出

— 理工学部

基礎から応用まで幅広い領域を内包する理工学部では、黒潮圏に根差した研究や附属の地震観測研究所など高知だから学べる分野や環境がある一方で、独自の視点や高い志をもって自分たちにしかできない成果を上げている研究室も少なくありません。そのひとつ、化学生命理工学科の仁子研究室では、様々な色調で発光する蛍光分子の開発に取り組んでいます。学生たちが作った分子の中には、特許取得され、企業と契約して市販化されるものもあります。最近では、神経難病の解明の鍵と言われる「ミトコンドリア」を可視化する蛍光分子を開発した他、蛍光性のナノ粒子を生細胞に取り込ませるための新たな粒子加工技術の開発に成功しており、次世代医学・生物学を拓く技術と人材が次々と生み出されています。



左: 生細胞によるペプチド修飾ナノエマルジョン(赤色発光点)の取り込み。
※高知大医学部光線医療センター中山沢特任助教との共同成果
右: 生細胞のミトコンドリアを染色・可視化。
※山口大学川俣研究室との共同成果

我々が挑むのは、より強く光る蛍光分子の開発です。ここでは学生一人ひとりが自分のテーマを持ち、分子設計から合成、性能評価まですべての工程に取り組みます。目標は、卒業するまでに研究成果を国際誌に発表すること。教員をはじめ、海外の研究者研究機関や企業と交わりながら“世界と闘うプロセス”を体験した上で社会に羽ばたいてほしいと思っています。

簡単に満足しない 自分になろう



仁子 陽輔 助教

CHALLENGE

施設園芸の未来形 IoTクラウドを高知でモデル化

— 農林海洋科学部

環境の優位性を活かして様々な先端研究に取り組む農林海洋科学部で、今ひととき大きな注目を集めているのが「IoT (Internet of Plants) が導くNext次世代型施設園芸農業プロジェクト」です。これは従来、気温や土壌水分など個別に行われていた農作物の成長の最適値探索をIoTやAI技術を駆使して多次元かつ大規模に実施し、集積されたビッグデータをクラウドで産地全体に提供しようという試み。農家はスマホなどで簡単にハウスの環境制御や品質・収量・出荷時期の管理ができるようになり、結果、収益増に導くというものです。

現場主義を掲げる本学部において、研究の最前線は教育の最前線でもあります。ここでは学生も研究チームを担う大切な一人。成長の秘訣は、そこにあります。



IoTプロジェクトでは、農学や情報工学、健康科学など幅広い分野から総勢100名以上の研究者と、そのもとで学ぶ多くの学生たちが個別研究に関わっていく予定だ。

一緒に未来をつくろう

尾形 凡生 教授



IoTは高知県、高知大学、高知工科大学、高知県立大学による産官学連携事業。互いに技術や知見、アイデアを持ち寄り、連携して高知から施設園芸の未来モデルを発信しようとしています。これから入学される皆さんは、1年生からこのプロジェクトを通じて農学の最先端に触れ、いずれはその研究の一翼を担うことが可能です。ぜひ一緒に、農学の未来をつくっていきませんか？



次世代の 人材を輩出

高知でしかできない体験を通じて、豊かな感性と高い能力を身につけた学生たちが、未来に向かって羽ばたいています。



Ⅱ型糖尿病における薬剤併用の効果を解析 35万人の医療データを徹底研究

医学部医学科4年 | 東京都立国際高校出身 | 菅田 夏央



第38回医療情報学連合大会にて、学部学生として異例の受賞。

日本で初めて電子カルテシステムを導入した高知大学には、38年間蓄積した膨大な医療データがあります。この中からⅡ型糖尿病患者への投薬に関するデータを抽出し、7種ある薬をどう組み合わせれば有効に作用するかを研究しています。3年次には学会発表を行って、優秀口演賞をいただきました。これは高知大の先端医療学コースだからできた研究で、さらに研究を進めて、卒業までに論文発表をしたいと考えています。

私にとっては、研究成果が臨床の現場で実際に生かされることがゴール。一日も早く、糖尿病で苦しむ患者さんの治療に役立てたいです。



アユの冷水病の実態を解明 漁業の地域課題を共に解決

農林海洋科学部3年 | 茨城県立古河第三高校出身 | 小川 晴暉
農林海洋科学部3年 | 京都府立南陽高校出身 | 福西 晃育



写真上：鏡川で採捕したアユ(左の上から2番目の穴あきが冷水病)。
写真下：採水した河川水を濾過濃縮し、冷水病の菌の状態を調べる。

高知県には、アユが遡上するきれいな川が複数ありますが、病原菌による「冷水病」が多く見られます。川によってその原因や状況が異なっており、各漁協のみなさんと協力しながら発生の原因や、どのように蔓延するのかを研究しています。高知市中心部を流れる鏡川は、アユの産卵地が市民生活に隣接しているのが他にない魅力ですが、複数の堰があり、遡上中のアユが滞留する際に冷水病が広がっているのではないかと考えられています。私達は堰ごとの水質調査、水温、アユのDNAなどのデータを採取、解析。この成果を現場にしっかりと活かしていきたいです。

心に寄り添い、共に成長する 障害があっても能力を発揮できる社会に

教育学部3年 | 岐阜県立加納高校出身 | 廣瀬 空



写真上：留学生交流会で生徒とペアを組みすろくを楽しんでいる様子。
写真下：作業学習でST(副指導者)として、指導・支援をしている様子。

高知大学はキャンパス内に附属特別支援学校があり、障害のある子どもと日常的に関わりながら学べます。他にも特別支援学校の修学旅行に介助ボランティアとして参加する機会もあります。介助ボランティアでは学校外での支援についての理解が深まりました。現在は高知県立日高特別支援学校の寄宿舎で非常勤指導員として働いており、宿泊を伴う勤務では子どもの生活を支援しています。今後は、障害も多様性のひとつとして捉えるスウェーデンやフィンランドの実践を参考にしながら、障害のある子どもも排除されない教育の具体化に向けた研究を進めていきます。



ゼミ活動で社会とつながり、野球で地域に貢献する 生きた学びで、道を切り拓く

人文社会科学部4年 | 高知県 高知市立高知商業高校出身 | 小松 龍真



写真上:アンケートから企業への提案も行った。
写真下:硬式野球体験会では地域貢献の意義を学んだ。

大学の学びは高校までと違い、様々な授業や経験から自分の興味を見つけ出す学びです。僕は3年生のゼミで、スーパーマーケットの経営改善点を探るアンケート調査を実施。そこで生活者のニーズの多様性を知り、さらに働く側の多様性や企業の健康経営にも興味を湧いて、自分のテーマが明確になっていきました。

また所属している野球部では、中学3年生を対象にした硬式野球体験会の開催をリーダーとして牽引。その経験も、きっと将来につながる一歩になるはずです。



トサシマドジョウを飼育・観察 知られざる生態に迫る

理工学部3年 | 岡山県 岡山理科大学附属高校出身 | 永江 葉奈



ドジョウ採取の様子。研究のご支援をいただいている高橋さんもまた魚類分類学や生態学を学んだ高知大学の卒業生だ。

高知県には、トサシマドジョウという県内のみで生息するドジョウがいます。ドジョウは、生まれてから形を変えながら成長する魚ですが、トサシマドジョウに関してはその生活史が解明されていません。幼い頃から川の生き物に興味がある私は、トサシマドジョウの形態変化を卒論のテーマとして研究することにしました。

研究は、受胎した成魚を捕獲して飼育し、産卵、ふ化させるところから始まります。やり直しがきかないので大きなプレッシャーがありますが、未知のものに出会えることをとても楽しみにしています。



カフェSatobitoで得た「経営」という視点 売れるしかけを生み出す!

地域協働学部3年 | 広島県立祇園北高校出身 | 空本 航一



写真上:「にっぽんの宝物グランプリ」では、大豊のブルーベリーワイン×ジエのリアージュを提案した。
写真下:「にっぽんの宝物グランプリシンガポール大会」では、英語で奮闘!

地域協働学部の先輩が立ち上げた株式会社里人が経営するカフェ「satobito」の運営と、大豊町のブルーベリーを使って開発したワインの販売を引き継ぎました。安定的な事業の継続を目指し、10人の仲間とともに奮闘しています。カフェのメインは、旬の野菜をふんだんに使ったランチで、僕は店舗の内装やメニューを担当しています。原価計算をしながら、どうすれば売上を上げられるか、お客様に喜んでいただけるかを日々考え、実践しています。

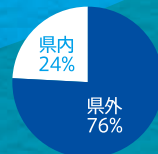
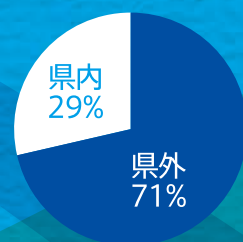
ブルーベリーワインは「にっぽんの宝物グランプリ」でグランプリを取った逸品。今後さらなる販路拡大を目指します!

数字が裏付ける 高知大学の實力

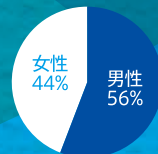
97.58%

就職率 (令和元年度卒業生)

就職先県内外比率
(令和元年度卒業生)



学生県内外比率
(令和2年度入学者)



男女比率
(令和2年度学部在校生)

留学生数
(21ヶ国)

108名

(令和2年5月1日現在)

海外協定校

うち大学間協定63機関(18か国1地域)
部局間協定32機関(19ヶ国1地域)

95

機関
(令和2年5月1日現在)

海外派遣
留学生数

102名

(令和元年度実績)



人文社会科学部
4年生のゼミ平均人数
4.5人



農林海洋科学部
キャンパス内農地面積
東京ドーム4個分



地域協働学部
1~3年生の実習時間
600時間

76.6%

教育学部
教員就職率
(平成29年度卒業生)

35%

理工学部
開講専門科目の実験
実習科目割合

148%

医学部
サークル加入率

学びの構造

Kochi University Educational System

1年

2年

3年

4年

※医学部医学科は6年

共通教育

- 初年次科目
 - 大学基礎論
 - 学問基礎論
 - 大学英語入門
 - 英会話
 - 情報処理
 - 課題探求実践セミナー
- 教養科目
 - 人文分野
 - 社会分野
 - 生命・医療分野
 - 自然分野
 - 外国語分野
 - キャリア形成支援分野

学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。

講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

専門教育

分野のキーワード

学科/課程/コース

人文社会科学部	P.17	●人文科学	人文科学コース
		●社会科学
		●異文化間理解	人文社会科学科 国際社会コース
教育学部	P.23	●グローバル社会
		●現代社会	社会科学コース
		●社会制度
		●幼児教育と乳幼児保育	幼児教育コース
		●発達や障害に応じた教育支援	教育科学コース
理工学部	P.29	●教育学、心理学の理論と実践	学校教育教員養成課程
		●各教科の高度な内容理解と指導法
		●芸術、スポーツの高度な実技と指導法
		●障害のある子どもへの高度な教育支援
		●科学の基礎法則	数学物理学科
		●数学的思考力・英語力・情報処理能力	情報科学科
医学部	P.35	●コンピュータ、情報理論
		●資源、エネルギー、レアメタル	生物科学科
		●生物の多様性、環境、生命現象、古生物	化学生命理工学科
		●防災、南海地震、地球掘削	地球環境防災学科
農林海洋科学部	P.41	●生命と健康を守る	医学科
		●身体、精神の苦しみを和らげる
		●病気、負傷などに対する治療を行う	看護学科
		●身体機能の改善を助ける
		●健康への悪影響、病気を減らす
地域協働学部	P.47	●病気、身体、生命の仕組みを解明する
		●人と自然が共生する社会へ	農林資源環境科学科
		●生命の源、水と森を守る
		●海に資源の可能性を探る
		●食から始まる健全な暮らしと環境	農芸化学科
		●化学で生命活動を解き明かす
地域協働学部	P.47	●循環型・持続型の地球社会を目指す	海洋資源科学科
		●地域協働による地域産業振興
		●高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド
		●大学での学びと地域での実践の往復
地域協働学部	P.47	●6次産業化による農山漁村の発展
		●コミュニティビジネスによる地域生活の維持
		●官民協働による地域政策
	

卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
 - 人文社会科学に関する専門的知識
 - 国際化への対応に求められる知識や語学力
 - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
 - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
 - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
-
- 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
 - 多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
 - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
 - 音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
 - 知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
 - 子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力
-
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
 - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
 - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
 - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
 - 多様な生物の諸現象とその歴史を正しく理解する力
 - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
-
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
 - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
 - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
 - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
 - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
 - 使命を達成するための自己管理能力
-
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
 - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
 - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
 - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
 - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
 - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
-
- 複雑で多様な地域の特性を理解する力
 - 地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
 - 人や組織の協働を創り出し、その活動を促進する力

進路

進学 → P.65

就職 → P.83

大学院（総合人間自然科学研究科）

修士課程

- 人文社会科学
- 教育学
- 理工学
- 医科学
- 看護学
- 農林海洋科学
- 地域協働学

専門職学位課程

- 教職実践高度化 [教職大学院]

博士課程

- 応用自然科学
- 医学
- 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院 連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年だけの博士課程です。

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員(国語、英語、社会)、高等学校教員(国語、英語、公民、地歴、商業)、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、保育士、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、中学校教員(数学、理科)、高等学校教員(数学、理科、情報)など

医学科: 病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学科: 看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通: 国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業(食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント)、各種コンサルタント(環境科学・土木建設系など)、各種団体(農・林・水産系)、JICA、青年海外協力隊など

県・市町村職員、地場産業社員、商工会等職員、グラフィックデザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域おこし協力隊、地域資源活用ビジネスの起業家、地産外商農家、コミュニティデザイナー、マスコミなど

目指すのは自律型人材

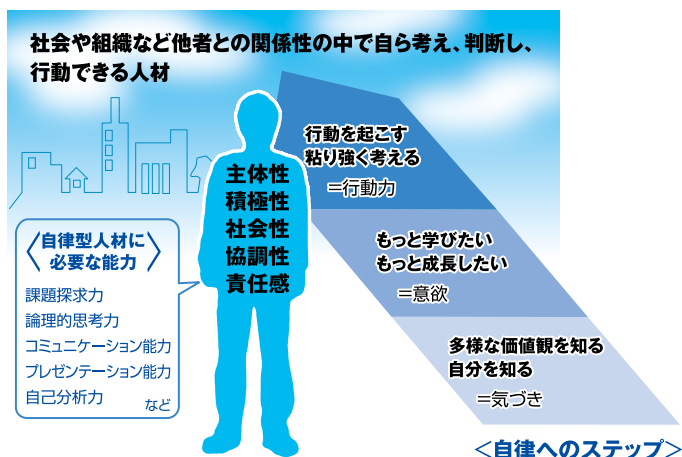
今、社会は「自律型人材」を求めています。「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらす。意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。



■ 高知大学の考える自律型人材



学びを支える様々な制度や取組

アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつかます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生活全般における相談役として助言や指導を行います。

リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。

▶ 入学前教育

一部の学部では、推薦・AO入試の入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題を発見する力を養う入学前教育を実施しています。

▶ 大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では、最初の授業にプレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。

また教養科目自然分野では、理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。

オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽に行けるシステムです。

e-ポートフォリオ

学生の入学から卒業までの履修、成績、課外活動等の学びに関わる情報を集積し、わかりやすく可視化するシステムです。

学生は、e-ポートフォリオを活用することで、学びの目標設定(Plan)→実行(Do)→振り返り(Check)→改善(Action)を意識することができ、学びの量と質の向上につながります。また、e-ポートフォリオ内の多くの情報は、アドバイザー教員にも共有され、学生支援に役立てられます。



▶ 共通教育とは

共通教育は、各学部における高度な専門的学習の基礎や、人生、生活を豊かにするための幅広い教養を身につけたり、自らのキャリア形成を行うための支援を受ける場であり、高知大学で学ぶ全ての学生にとって重要なカリキュラムとして位置づけられています。

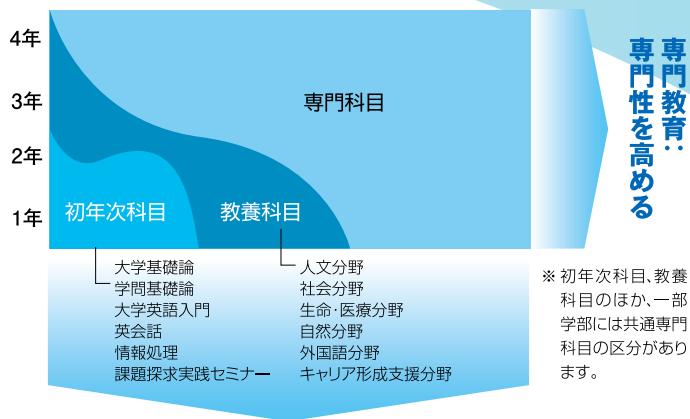


大学では、必ず履修しなければならないとされている授業（必修科目）以外は、それぞれの設定する学びの目標に沿って自由に選択できます。

初年次科目

初年次科目は、「大学基礎論」、「学問基礎論」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」、「課題探求実践セミナー」の6科目で構成されています。これらの科目は、学習の目的や意義を明確にし、学習を進めるための基本的知識や技法を身につけ、自ら考え、自ら表現し、問題を発見し探求できる基礎的能力を獲得するために設けられたもので、高知大学の学生全員が必修です。

■ 4年間の履修の流れ



共通教育：自律的な力を育む

教養科目

教養科目は、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的なトピックスにも目を向け、人間として、社会人として豊かな教養が育つように人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野、外国語分野、キャリア形成支援分野の6分野で編成されています。履修については、特定の分野に偏ることのないよう選択履修としています。

もうひとつの学びの場 — 学生の準正課活動支援

自律的な力が育まれるのは授業だけではなく、学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の準正課活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

学生と社会をつなぐ 次世代地域創造センターの取り組み

高知大学には、学生に自発的な活動実践の場を提供し、その活動を教員とスタッフが支援する仕組みがあります。地域や企業、地域の人々との出会いを通し成長していく学生を応援しています。

次世代地域創造センターでは、企業や行政の現場を学ぶ「社長インターンシップ」「市長インターンシップ」等の準正課のインターンシップや、地域に愛着を持ち地域で貢献したい学生に対して、地方創生推進土育成科目等の履修相談、受付窓口機能を担い、「地方創生推進士」(▶P86で紹介)の資格認定と支援も行っています。



▶ いろんな地域をのぞいてみよう えんむすび隊

高知県内各地を訪ねるワンデイツアーを行っています。地域のすばらしさや、地域の抱える問題に触れることで、社会との関わりを考え行動を起こすきっかけとなることを目指しています。

1日から参加OK。
いろんな体験が
できます!

実施例

- 安田町 自然薯の植え付け・収穫
- 須崎市 竹の活用について学ぶ
- 本山町 田んぼアート
- 中土佐町 避難訓練 等

▶ 学生の「何かしたい」をかたちに コラボ考房プロジェクト

「自分のアイデアで高知をもっと元気にしたい!」「やりたいことがあるけれど、何から始めていいかわからない」など、「地域に入って何かやってみよう」と様々な思いを持つ学生団体の活動を教員やスタッフがサポートしています。



新規企画は
1,2年生を
含む3人以上の
グループなら
応募できます



田んぼアート田植え体験(本山町)



自然薯の収穫(安田町)

人文科学と社会科学を織り混ぜた新たな学びのしくみ

人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

学科・コース

人文社会科学科

- 人文科学コース
- 国際社会コース
- 社会科学コース

人文社会科学の新たな学び —人文学部から人文社会科学部へ—

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的・専門的知識を持った人材だけでなく、従来の分野の枠組みを越えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

人文社会科学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学（領域）の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編により誕生しました。1学科体制の下、「人文社会科学（領域）」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。



～平成27年度

人文学部

人間文化学科

国際社会
コミュニケーション学科

社会経済学科

平成28年度～

人文社会科学部

人文社会科学科

人文科学コース

哲学・思想プログラム、心理学プログラム、歴史・地理学プログラム、日本語・日本文学プログラム、英米文学プログラム

国際社会コース

言語・コミュニケーションプログラム、総合文化プログラム、グローバル社会プログラム、ヨーロッパ地域プログラム、南北アメリカ地域プログラム、アジア・オセアニア地域プログラム

社会科学コース

経済理論プログラム、経済政策プログラム、経営・会計プログラム、法律・政治プログラム

▶ 人文社会科学科人文科学コース2年生第1学期の時間割例（日本語・日本文学プログラム）

※教職をめざす学生の例

	月	火	水	木	金
1時限		中等国語科指導法I	生徒指導	教育相談	
2時限		日本語学概論I	中国語中級I		
3時限	専門英語I	中国文学概論I		中国古典文学論	日本語論I
4時限	特別活動指導法	日本近代文学講読I		基礎演習	日本古代中世文学史
5時限		日本古典文学論I		日本文学概論I	

▶ 人文社会科学部ホームページ

<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>



▶ 先輩からのメッセージ



高知大学は
交換留学の枠が大きいので、
チャンスも大!
ぜひ挑戦してみてください

先輩にきく Message from Student

1年の交換留学で充実の学び

吉川 颯哉 人文社会科学部 国際社会コース4年(京都府 私立京都橘高校出身)

人文社会科学部には国際社会コースがあり、各国の文化・社会・経済・言語など幅広く学ぶことが魅力です。私の場合は東アジアの中華圏の現代文化に軸足を置いて学び、3年生の時に交換留学の制度を使って、台湾の東海大学に1年間留学しました。授業で得た学びをもとに、実際にそこに住んで人と交わり、現実を肌で感じたいと思ったからです。授業は主に中国語を学び、台湾の歴史的な神社や建造物を訪れたり、台湾の学生とお互いの文化や歴史について本音で話し合う場面もありました。

私は、2年生の時から中国語の勉強に力を入れていました。人文社会科学部棟には自律学習支援センター



台湾留学中、現地で髪を切り、地元の人たちが利用する食堂へ。「暮らす」ことで、視野が広がりました。

「OASIS」があり、そこには高知に留学している学生とマッチングしてくれる「パートナーシップ・プログラム」があります。一緒に話をしたり、ビデオを見たり、課題を解いたりしながら「今はこんな言い方はしない」「この地域では別の言い方をする」など、生きた語学が学べました。

留学を考えている人は、まずは学部の教員にその旨を伝え、国際連携推進センターに行つて相談してみてください。自ら情報を集める努力が大切です。



人文社会科学部

教員にきく Message from the Dean

学びの扉を叩こう

中川 香代 人文社会科学部長

人文社会科学部の最大の特徴は、一つの学部にいながら「人文科学」「社会科学」「地域と国際」の幅広い分野を学ぶこと。それを可能にしたのが、本学部独自の履修システムです。まずは「プラットフォーム」という学部共通の科目の中で、基礎的な勉強をしながら視野を広げます。やがて所属コースの専門を軸に、15のプログラムの中から自分の好奇心と目標にあわせて学びを選び、自分だけのテーマを見つけていきます。

現代社会では、例えば“文化と企業がつながる”、“地域に軸足を置きながら国際的視野で考える”というように、様々な分野が融合し、専門家同士が協力し合つて物事を考えたり動かしたりしています。だからこそ皆さんにも、広い視野を持ちながら専門的な知識と深い思考力を身につけてほしいと考えています。

大学は自由で、敷かれたレールもありません。自分で叩いていかないと扉は開かれないけれど、叩けば必ず世界は広がります。高知大学の4年間で、自律的に学び、自分をデザインしてってください。



カリキュラム例

人文科学コース	国際社会コース	社会科学コース
講義科目80科目、演習・実習・実験科目70科目と豊富に取り揃えています。	講義科目80科目、演習・実習科目60科目を超えており、広い教養と実践的スキルを養えます。	講義科目50科目、演習科目70科目と充実しています。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 哲学・思想プログラム：西洋近代思想・倫理学・宗教論 ■ 心理学プログラム：認知発達心理学・認知心理学・社会心理学・感情心理学 ■ 歴史・地理学プログラム：日本中世史・日本近世史・日本近代史・東洋古代中世史・東洋近世近代史・西洋社会史・人文地理学・自然地理学・考古学 ■ 日本語・日本文学プログラム：日本語史・日本古代文学・日本中世文学・日本近代文学 ■ 英米文学プログラム：イギリス文学・アメリカ文学・映像メディア論・言語意味論・言語文法論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 言語・コミュニケーションプログラム：第二言語習得論、日米異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーション、英語パブリックコミュニケーション ■ 総合文化プログラム：英米文化史、比較文化論(日欧・日本社会・日米英・日独・日仏・日中)、言語文化論(アメリカ・イギリス・フランス・中国等) ■ グローバル社会プログラム：越境社会論、国際関係論、世界経済論、経済発展論、文化人類学 ■ ヨーロッパ地域プログラム：ヨーロッパ社会文化論、英語読解研究、フランス語オーラルコミュニケーション、日欧異文化間コミュニケーション論、比較日独文化論、社会思想史 ■ 南北アメリカ地域プログラム：南北アメリカ関係論、南北アメリカ特殊講義、ラテンアメリカ経済社会論、アメリカ言語文化論演習、英語読解研究、スペイン語中級 ■ アジア・オセアニア地域プログラム：アジア経済社会論、日本語教授法、東南アジア社会文化論、メディア論演習、日本文化表現論演習、中国語オーラルコミュニケーション、中国経済社会論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済理論プログラム：ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、金融論、労働経済論、自然資源の経済学、経済史、組織の経済学 ■ 経済政策プログラム：地方財政論、日本経済論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論、農業経済論、産業立地論、国際水産開発論 ■ 経営・会計プログラム：経営管理論、人事管理論、競争戦略論、簿記原理、会計学原理、流通論、経営史、マーケティング論 ■ 法律・政治プログラム：憲法、民法、商法、行政法、政治過程論、経済法、刑法、経済刑法

人文社会科学科 Department of Humanities and Social Sciences

3つの特徴 ➡ プラットフォーム科目、コース・プログラム制、ダブルコア・マルチコア

プラットフォーム科目では、グローバル社会と地域社会がどのような課題に直面しているのか、その課題がどのようなものなのかを理解していきます。人文科学と社会科学の双方の視点を関連付けて課題解決の糸口を学びます。

コース・プログラム制は、人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの各コースに、専門分野・学問的視点に基づいて合計15プログラムを設けています。2年生から関心に沿ったプログラムを選択し、学びの“コア”を体系的に形成します。

ダブルコアとマルチコアとは、複数のプログラムを体系的に学べる仕組みです。入学したコースに置かれたプログラムのなかから2つのプログラムを履修することをダブルコア、入学したコースとは異なるコースからもプログラムを選択し履修することをマルチコアと呼びます。複数の学びの“コア”を形成しようとする学生の希望にも応えます。



4年間の流れ	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業論文
人文科学コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
国際社会コース		各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
社会科学コース	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修				
少人数ゼミナール	大学基礎論 課題探求実践ゼミナール 学問基礎論	ゼミナールⅠ、Ⅱ (基礎演習)	ゼミナールⅢ、Ⅳ (専門演習)	ゼミナールⅤ、Ⅵ (卒論演習)	
プラットフォーム科目	基礎科目 (1・2年次履修)	外国語科目 (2年次～履修)	発展科目 (2～4年次履修)		

人文科学コース Humanities Course

さまざまな「知」のあり方に触れて、分析力と問題解決能力を養う

学びの特色

人文科学コースでは、哲学・思想、心理学、歴史・地理学、日本語・日本文学、英米文学の5つのプログラムで、人文科学の各領域の専門知識を体系的に学んでいきます。人間や人間がつくり出す文化・社会に対する深い関心を持ち、様々な「知」のあり方に深く、幅広く触れて、柔軟に物事を見る目を養いながら、文献資料やデータを分析する力、文書を作成する力を習得し、問題解決能力を高めていきます。

5つのプログラム

哲学・思想プログラム 歴史に現われた主要な哲学者の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探求します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の力を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拓けていきます。	心理学プログラム 心理学とは「心」を科学的な方法を用いて明らかにし、実際の場面に適用する学問です。本プログラムでも「心」を研究するための様々な実験方法や調査方法を学びます。また、いろいろな観点から研究する心理学には多くの領域があり、基礎から各領域の知識を積み上げることで認定心理士の資格が取得できます。	歴史・地理学プログラム 歴史学および地理学を専攻するためのプログラムです。歴史学では、様々な史料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究に取り組みます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」に取り組みます。
日本語・日本文学プログラム 古代から現代に至る、日本の様々な時代の文学作品を学ぶことができます。作者の思想や時代背景なども踏まえて、作品や作家について研究していきます。また、文法・語彙・発音など、日本語そのものを対象とする日本語学の勉強・研究もできます。	英米文学プログラム 英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語・文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的に捉えることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。	



国際社会コース International Studies Course

分野×地域を軸に、グローバル社会で国境を越えて連携できる力を養う

学びの特色

本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて羽ばたくことのできる「グローバル市民」を育てます。学びの核は、少人数ゼミナールとセットの《分野×地域の6つのプログラム》と、国内外での《フィールド・スタディ》です。様々な外国語の運用能力アップはもちろん、専門知識に裏打ちされた深い洞察力と複眼的な思考力を身につけることで、言語コミュニケーションや異文化/自文化、グローバル社会の問題を主体的に考察・判断できるようになります。

6つのプログラム

<p>言語・コミュニケーションプログラム</p> <p>言語・コミュニケーションプログラムでは、言語学およびコミュニケーション論の基本的な理論を学びます。同時に、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの具体的な言語や地域にフォーカスした形で発展的な科目を学びます。また学部開設の日本語教員養成課程の関連科目も組み込まれています。</p>	<p>総合文化プログラム</p> <p>総合文化プログラムでは、環境・大衆・交流・越境など多様な視点で文化を論じる科目を基盤としています。あわせて、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域を対象に社会と文化のあり方を考える発展的な科目も学んでいきます。文化と不可分なメディアに関する科目も、このプログラムの重要な一環です。</p>	<p>グローバル社会プログラム</p> <p>グローバル社会プログラムでは、現代のグローバル社会のあり方に社会科学の様々な領域からアプローチします。国際関係論や世界経済論、文化人類学に加えて、隣接コースの経済学や政治学の科目もあわせて社会科学の基盤を学んでいきます。さらにヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域の政治・経済・社会についても学びます。</p>
<p>ヨーロッパ地域プログラム</p> <p>ヨーロッパ地域プログラムでは、上の3つの分野から、ヨーロッパ地域に関わる科目を横断的に学びます。英語・ドイツ語・フランス語等の言語系科目を基盤とし、ヨーロッパ地域の言語やコミュニケーション、多様な文化、政治・経済・社会について学ぶことで、この地域のあり方を多面的に捉え、探求します。</p>	<p>南北アメリカ地域プログラム</p> <p>南北アメリカ地域プログラムは、南北アメリカ地域を分野横断的に捉えようとするものです。英語系科目に加え、スペイン語系科目も基盤として学ぶことができます。さらに、英語圏に関わる言語理論やコミュニケーション論、文化、社会、経済、そして南北アメリカ関係について学びます。</p>	<p>アジア・オセアニア地域プログラム</p> <p>アジア・オセアニア地域プログラムでは、実質的な共通語としての英語に加え、中国語の科目を基盤として学びます。そして中国・日本・東南アジア諸国を中心に、その言語・文化・社会・経済についての様々な科目を通じて、変動する地域の姿に多角的に迫ります。またこのプログラムには、日本語教員養成課程の科目も、多く組み込まれています。</p>



社会科学コース Social Sciences Course

経済学、経営学、会計学、法律・政治学を通して調査力・分析力を養う

学びの特色

グローバル化する社会においては、貧困や失業、犯罪の増加や景気の後退、労働環境の悪化、民族問題など様々な問題が存在しています。これらの問題を発見・解決するためには複眼的な思考方法が必要となります。本コースでは経済学・経営学・会計学・法学・政治学の専門知識を4つのプログラムを通じて体系的に学習します。様々な学問領域の考え方を学習することで、物事を複眼的・多角的に捉えて考える力を養い、社会における諸問題に対処するための制度をデザインできる人材の育成を目指しています。

4つのプログラム

<p>経済理論プログラム</p> <p>経済理論プログラムでは、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、金融論、ゲーム理論といった専門科目を学習し、そこで獲得した知識を様々な現実問題へと応用していきます。これにより物事を論理的に考えるための思考力と、複雑な社会問題に対して適切な対処策を考察・提言する能力を養います。</p>	<p>経営・会計プログラム</p> <p>経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えると同時に、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的・実践的に学びます。経営学や会計学の理論について学び、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。</p>
<p>経済政策プログラム</p> <p>経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。少子高齢化問題、地域の産業、福祉、行財政のあり方などの具体的な政策課題を学ぶことで、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身につけます。</p>	<p>法律・政治プログラム</p> <p>法律・政治プログラムでは、人文社会科学の諸分野を広く学んだ後に憲法、民法、商法、政治学といった専門科目を多く履修していくことになります。知識の修得のみならず、現地調査や施設見学等を通して、鋭い人権感覚とともに、現実の社会問題への解決策を提言できるような能力を身につけます。</p>





Pick Up ▶ 授業

歴史を掘り出す技術を身につける

考古学は、地中に埋もれた物を手がかりに先人達が生きた世界を復元する歴史学の一分野です。考古学では発掘調査によって地中から資料を取り出しますが、土を見極め、遺物や遺構(道具や施設)を的確に掘り出し、詳細に記録する技術が必要となります。考古学実習では測量器材の使用方法や、作図の方法を学び、休業期間中に実施する発掘調査で学んだ技術を実践します。

高知大学では大学に隣接する戦国時代の山城(朝倉城跡)を中心に県内各地で発掘調査を行っており、受講生は土佐の歴史を掘り出しながら発掘調査を学びます。さらに出土資料を整理する技術を併せて学び、発掘調査報告書の完成にいたる過程を体験します。受講生たちは発掘調査での経験をもとにそれぞれの興味・関心を高め、考古学概論や考古学演習で学んだ知識や方法を総合し、卒業論文に取り組みます。



01:出土した土器を実測します 02:出土状況詳しく記録します 03:土の変化を見極めながら掘り下げます 04:土層の堆積を観察し記録します

卒業論文テーマ例

人文社会科学科 人文科学コース

カント哲学における純粋理性の第一アンチノミーについての考察(哲学) / 動物愛護における人間の責任(倫理学) / 円環的時間観と儀礼行為—時間の流れと生命の行方—(宗教学) / 挫折からの心理的回復過程(心理学) / スマートフォン依存と時間管理能力が遅延行動に及ぼす影響(心理学) / 土佐における須恵器の在地化(考古学) / 長宗我部権力における吉良親貞(日本史) / 脚色の『三国志』(東洋史) / 植民地インドにおける宗教政策とプリティッシュネス(西洋史) / 離島の観光振興(地理学) / 宮沢賢治『貝の火』の中に見える権力(日本近代文学) / 『古今和歌集』夏歌のほととぎす—『万葉集』巻第八・十との比較を通して—(日本古典文学) / 尊敬表現「をらる」—江戸時代を中心に—(日本語学) / Peter Pan におけるネバーランドの現実性(イギリス文学) / Absalom, Absalom! 論—喪と語りをめぐって(アメリカ文学) / 英語と日本語における(時間)のメタファーについて(英語学)

人文社会科学科 国際社会コース

装いの人類学における理論的展開—実践概念に注目して— / 観光振興と地域づくりの両立—高知県黒潮町「砂浜美術館」を事例として— / The Challenge of Teaching Pragmatics in EFL Contexts: From the Perspective of English Education in Japan / 『日の名残』の語りは「信頼できない語り手」なのか / 西洋人・日本人遍路との比較から見る台湾人遍路の特徴とは—台湾人へのアンケート調査から— / もらい風呂の役割—もらい風呂を通じた人々の交流— / 中学生のwriting performanceの向上のために—生徒と教員のフィードバック活動の提案— / 二種

のノルウェー語書き言葉からみるノルウェー / Improvement of Self-esteem through Project-based Language Teaching / フランス語における借用語の諸相—kamikazeから考察する日本語との関わり / 若者言葉に見られる意味の転換についての考察—「ヤバイ」の意味変化について / プライバシーの誕生とトイレの発展 / 明治期における肉食—栄養面の強調と洋食の広まり / 安室奈美恵の時代—ファッションを通じたその自己イメージ提示について / 男女共同参画とジェンダー意識—高知県の事例を中心に

人文社会科学科 社会科学コース

深層学習の特徴と応用—手書き数字認識プログラムからのアプローチ— / 中山間地域における小学校児童数の動向分析—大豊町を事例として— / 大豊町岩原集落と他出子の関係から集落の将来を考える / 日曜日における「生活市」概念の検証—新しい利用規制に向けて— / トレーサビリティに関する研究—米と牛肉を中心として— / 高齢者世帯における老後の最低所得補償 / 農林漁家民宿における品質保証制度の検討 / 雇用区分撤廃が変える非正規労働者の働き方 / 中小企業の実務における会計基準の適用と会計目的に及ぼす影響 / 衣料品市場における競争環境の変容とアパレル間格差 / これからの夫婦財産制度について考える / 交通事故の損害賠償における逸失利益の格差について / 忘れられる権利について—EU裁判所2014年5月13日先決裁定を中心に— / 少年法改正による理念の変容とその妥当性に関する考察 / 憲法と民法の規範構造の関係について / ジャズ演奏者は著作権法違反に問われるか—編曲権と同一性保持権の観点からの考察—

取得できる資格等

人文社会科学科 人文科学コース

中学校教諭一種免許状(国語・社会) / 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史) / 学芸員 / 日本語教員養成課程単位修得証明書

人文社会科学科 国際社会コース

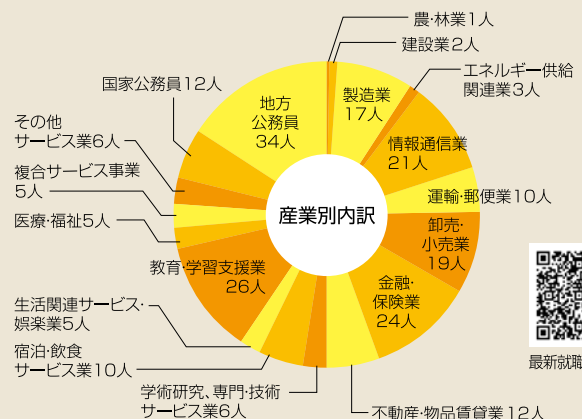
中学校教諭一種免許状(英語) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 学芸員 / 日本語教員養成課程単位修得証明書

人文社会科学科 社会科学コース

中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民・商業) / 学芸員 / 日本語教員養成課程単位修得証明書

※なお、コースを越えた免許の取得をさまたげるものではありません。

就職データ 2020年3月卒業生



最新就職データ

いろいろなことを幅広く学べる
人文社会科学部。
将来は自分次第、
「何にでもなれる」のが魅力です!

Voice! 内定者の声



有光 モモ (高知県立高知西高校出身)
高知労働局 労働基準監督署 令和元年度卒業

高校の頃から倫理に興味があり、ある時、安藤恵崇先生の講演を聴いて「この先生の授業を受けてみたい」と思い、高知大学を受験しました。人文科学コースでは哲学・思想プログラムを選択し、伸び伸びと楽しく学ぶことができました。授業やゼミを通じて物事の見方や考え方について、深く話し合える友達ができただけでなく大きな財産です。

就活に際しては、将来は学芸員になりたいと思う気持ちもあり、迷いながらも3年生の6月から大学生協の公務員講座を受講しました。会社や官庁の方が来られて仕事の内容について説明して下さる機会が度々あり、その中で労働基準監督官という仕事に魅力を感じました。アルバイト先でパワハラ・セクハラを目の当たりにして心身共に疲弊してしまった経験があり、職場環境を整え、働く人を守る仕事にやりがいを感じたのです。それからは迷いも吹っ切れ、ひたすら勉強し、合格することができました。

大学4年間で考え方が広がり、何か問題が起こっても逃げずに対応し、一人で対処できない場合はまわりの人の力を借りるのも大事なことだと学びました。人としっかりと向き合い、対話できる監督官を目指します。



何でも話し合える友人たちと、ユニバーサルスタジオ・ジャパンへ。楽しい思い出です。

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人文社会科学科 人文科学コース ※旧人間文化学科

高知市役所、大阪府庁、宮崎県庁、広島市役所、京丹後市役所、四日市市役所、廿日市役所、高知労働局、中国四国農政局、法務省(中国地方更生保護委員会)
高知県立須崎総合高等学校、広島県・庄原市教育委員会、高知県立高知北高等学校、土佐女子中学高等学校、みよし市立三好丘中学校
ITX、旭食品、あなぶき興産、イルローザ、高知県立大学法人、高知新聞社、高知大学、高知大学生生活協同組合、四国銀行、テレビ高知、土佐山内記念財団、日本生命、モンベル、リコージャパン

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、北海道大学大学院、鳴門教育大学大学院、近畿大学大学院

人文社会科学科 国際社会コース ※旧国際社会コミュニケーション学科

高知県庁、高知県学校事務、四万十町役場、奈良市役所、高知県警、東京都特別区
高知県立山田高等学校、四万十高等学校、国東市立国見中学校、学校法人高知中央高校、四万十市立中村中学校
阿波銀行、ANAエアサービス松山、ANA関西空港、ANA新千歳空港、技研製作所、近畿配送サービス、高知銀行、高知県農業協同組合、こうち在宅医療クリニック、高知システムズ、コーウェルオートグループ、再春館製薬所、JR四国ホテルズ、J国際学院、四国銀行、四国電力、四国旅客鉄道、新和、積水ハウス、ソフテック、東販鉄工建設、徳島航空サービス、とさでん交通、西鉄ホテルズ、西宮産業、ミタニ建設工業、読売旅行、レバレジーズ

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、京都大学大学院、鳴門教育大学大学院、福祉リソースカレッジ広島、九州大学大学院

人文社会科学科 社会科学コース ※旧社会経済学科

高知県庁、高知県学校事務、高知県警察事務、岡山県庁、香川県庁、徳島県庁、福井県庁、高知市役所、香南市役所、三原市役所、八幡浜市役所、美作市役所、いの町役場、遠賀町役場、四国財務局、高松国税局、中国運輸局、国土交通省中国地方整備局、鳥取労働局、林野庁、松山少年鑑別所(法務省専門職)
高知県教育委員会、伊野商業高等学校、いの町立本川中学校、津野町立東津野中学校、兵庫県立伊丹北高等学校、浜松市立蛸塚中学校、兵庫県私立神戸星城高等学校
アイリスオーヤマ、旭食品、あなぶき興産、伊予銀行、SMBC日興証券、カチタス、高知銀行、高知県信用保証協会、高知工業高等専門学校、高知新聞社、高知信用金庫、JA兵庫みらい、四国ガス産業、四国銀行、四国新聞社、四国電力、東京海上日動火災保険、トリドールジャパン、日本生命、日立ソリューションズ西日本、楽天カード

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、千葉大学大学院

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

教育学部

Faculty of Education

学科・コース

学校教育教員養成課程

- 幼児教育コース
- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育教育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 科学技術教育コース
- 特別支援教育コース

アドミッションポリシー

教育学部は、「幅広い教養と教育(保育)とリわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育(保育)という営みや教師(保育士)という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 教育実践に必要とされる幅広い教養や教育(保育)に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性(※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育と教師(保育と保育士)の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。



▶ 学校教育教員養成課程1年生第1学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		初等社会科	初等図工	大学基礎論	憲法を学ぶ
2時限		教職入門A	教育心理学概論A	英会話	情報処理
3時限	英会話	教育制度論A		スポーツ科学実技	
4時限	初等体育I			初等音楽I	
5時限					課題探求実践セミナー

▶ 教育学部ホームページ

<http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>



▶ 先輩からのメッセージ



小学校教諭か高校教諭か・・・。
教育実習で自分の気持ちが
どう変わるか楽しみです!

先輩にきく Message from Student

実習での学びや気づきが大きな糧に

武政 颯人 学校教育教員養成課程3年(高知県立中村高校出身)

小学校と高校の恩師に憧れて教員を目指すようになり、どちらか決められずに小中高の教員免許が取得できる高知大学を選びました。2年生から教科によってコースが分かれ、本を読むのが好きなことと、幼い頃から習っていた書道の心得を生かせると思い、国語を選択しました。

教育学部には様々な実習があり、2年生では支援実習と介護実習を行いました。支援実習は、郡部の小規模校に1年間を通して関わり、行事や授業の支援をします。「出身県プレゼン」では、子どもたちと一緒に考え、教える体験もしました。1年間終わってみて、「絶対に先生になりたい!」とますます強く思うようになりました。

介護実習では、特別支援学校に行って障害のある子どもたちと過ごし、やりがいを感じました。特別支援教諭の免許も取得したいと考えています。



田野小学校での「出身県プレゼン」。お隣の馬路村について一緒に考えました。

大学以外でも、子どもたちと関わるボランティアやアルバイトをしています。1年生の時には書道グループの指導ボランティアに参加し、初めて学校現場を体験しました。習う立場から教える立場になって、いろいろな気づきがありました。

一人ひとりをよく見て、理解する先生。子どもたちのお手本となる先生になりたいです。



教育学部

教員にきく Message from Professor

教育の未来を担うリーダーを育てる

玉瀬 友美 教育学部 教授

高知大学教育学部の一番の特徴は、実践的な学びをふんだんに取り入れていることです。本学部に来る学生は、「子どもが好き」「子どもたちの成長に関わりたい」という高い意欲を持っています。それを、座学ばかりで低下させてはもったいない(笑)。実習と講義を行ったり来たりしながら同時並行で学ぶことで、難易度の高い知識もよく身に入ってくるし、実践もより深まります。

幼児教育や学校教育における基本——「子どもの主体性をいかに伸ばしていくか」。これは実は、大学教育でも同じです。学生自身から出てきた気づきやアイデアを活かし、それをいかに実践に結び付けていくか、またそこからいかに研究的な視点を持つかが、非常に重要。目指すのは、教育の現場でリーダーシップを発揮し、日本の教育を底上げしていける教育者の育成です。ぜひ、私たちと共に高知大学で学びましょう!



カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教育の実践的側面に関する学習	教科指導・教科内容に関する学習	幼児教育に関する高度な学習	特別支援に関する高度な学習	教育に関する専門的な学習
教育制度論 教職入門 教育学・教育課程概論 教育心理学概論 総合的な学習の時間・特別活動の指導法 教育の方法・技術 教育相談 人権教育 道徳教育 生徒指導・進路指導 特別支援教育入門	課題探求実践セミナー 教育実習[初等] 教育実習[中等] 観察実習 応用実習 実践的に学ぶ指導法	■教材開発演習 ■初等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の初等教科指導法 ■初等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の各初等教科 ■中等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の中等教科指導法 ■中等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各中等教科	幼児教育指導計画論 保育指導論 幼児理解 ペアレンティング 保・幼・小接続カリキュラム 高知の保育 各教科に関する科目(幼稚園) 保育士に関する科目	特別支援教育概論 知的障害心理学 知的障害生理・病理学 病弱心理・生理・病理学 知的障害教育課程論 知的障害教育の理論と実際 肢体不自由教育指導法 病弱教育指導法 重複障害の理解と教育 発達障害等の理解と教育 特別支援教育実習	専門演習I~IV 卒業論文 教職キャリア開発論 演習 教育哲学 日本教育史 西洋教育史 教育行政学 教育社会学 学校カウンセリング 認知心理学 小学校外国語活動・英語教育 高知県の教育

学校教育教員養成課程 Teacher Training Division

子どもたちに豊かな人間教育を

教育理念

本学部は、「本気の教員になろう!」を合い言葉に質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育、グローバル化に対応した英語教育など現代の教育課題に応じた教育プログラムを充実させています。また、幼児教育コースを設置し、幼稚園教諭・保育士の養成も行っています。

学びの特色

小学校および中学校、特別支援学校の教員養成を一体的に行っていることを特色としています。また、4年間一貫した実習系授業を設定していることも特色です。実際に、子ども達や教職員、地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力、発達段階に応じた適切な教育的関わりを身につけることができます。本課程では、教員免許の取得が必須です。



教育現場と同じ教材・教具・雰囲気を再現し、実際の教育現場を想定した実習を行うことができる模擬授業教室も設置されています。また、遠隔講義システムが完備されており、いくつかの教室と附属小・中と連携しながら学習を行うことができます。

コース紹介

▶ 幼児教育コース

乳幼児保育および幼児教育における高度な専門性と研究・実践力を育む

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としています。同時に、就学後の教育を見据えた乳幼児保育・教育を考えられる幼稚園教諭・保育士を養成するために、小学校・特別支援教育に関する科目も履修を必須としています。さらに、高知の保育やペアレンティングの支援等の授業を通して、子どもを取りまく現状について学びます。

また、コースの学生を中心に企画・準備した様々な遊びを未就学児や保護者の方に体験していただく地域子育て支援広場「あそぼーや」などの地域連携活動も行っています。充実したカリキュラムのもと、多様な学びの機会を準備しています。



▶ 教育科学コース

多様で複雑な教育課題を読み解きよりよい未来を切り開く力を育む

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。本コースの学習は、教育を教室や学校でのものだけに限定せず、広い視野から捉えていることが特徴です。

グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるのでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、深く読み解き粘り強く思考・試行する力を養います。



▶ 国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育／技術教育／家庭科教育の各コース

教科内容の専門性と教科指導の実践力を培い、「確かな学力」を育む

教科の各コースでは、教科内容・指導方法を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身に



▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ

基礎

1年生

2年生

3年生

4年生

応用
実践

教職に対する興味や関心を向上させるとともに、子ども理解と学校理解の基礎を形成する時期

子どもへの理解を進化させるとともに、教員としての基礎的な知識・力を身につける時期

引き続き教員になるための力量を向上させるとともに、実習を通して実践的な力を身につける時期

これまで学んできた理論的な力と実践的な力を統合し、教師になるための最終的な力を身につける時期

教科・教職に関する科目

教材開発演習

卒業論文
教職実践演習

課題探求実践セミナー

介護等体験

教育実習

附属幼稚園
附属小学校
附属中学校
附属特別支援学校

教育実習

附属小学校、附属中学校
附属特別支援学校

観察実習

応用実習

4年間一貫した実習系授業

つけた優れた実践力を持った学校教員の育成を目指します。

各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての専門的な理論と実践を学びます。併せて、その基礎となる教科の内容について専門的に学びます。

さらに、現代の子ども達の課題に応じた教科学習の指導法や教科の専門的な知識を探究し、新たな教科指導を創造していくことのできる「学び続ける教員」の養成を目指します。

▶ 科学技術教育コース

知的好奇心と探求心を高め
科学的思考・技術に結実させる力を育む

生活の中で気づく「なぜ?」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることは人間の知的好奇心を満足させる楽しい活動です。

本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。

また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。

▶ 特別支援教育コース

子どもの教育的ニーズに応じた
適切な指導・支援ができる力を育む

本コースでは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法を中心に、視覚障害や聴覚障害、情緒障害や発達障害の子どもの教育について学びます。また、児童生徒の学習上や生活上の困難を分析するための理論についても学びます。

現在、発達障害の子ども達への支援を始めとしたユニバーサルデザインに基づく教育が求められ、特別支援に関する知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。本コースでの学習・研究を通して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を育成します。



新しい物事との出会いや成長のきっかけは、大学の授業に限らずいろいろなところで転がっています。特に教育学部では、教員と学生が一緒になって様々な活動やボランティアに積極的に取り組み、地域や子どもたちと育ち合っています。

子どもと一緒に楽しみながら接し方のヒントが見つかる

中屋 春花 学校教育教員養成課程4年(高知県 高知市立高知商業高校出身)

からふるカンパニーでは、週に一度、高知市の小学校2校で放課後学習支援活動を行っています。子ども一人ひとりに合わせたプリントを作ったり、お楽しみ企画を計画したり、一年間を通して子どもたちと関わるすることができます。教材作りでは、学習が苦手な子どもでも興味を持って楽しんで取り組めるようにオリジナル教材も作っています。

子どもたちが学習に真剣に取り組んでいる姿や分からなかった問題が分かった瞬間に喜んでいる姿を見ると、私自身もとても嬉しくなります。また、勉強以外の話をして盛り上がった時などは子どもとの距離がぐっと縮まるのを実感します。一人ひとりの子どもに寄り添うことができるからふるカンパニーだからこそ、学ぶことの楽しさや難しさを子どもと学生同士で分かり合えるのだと思っています。

教職に就いてからも、この活動を通して学んだ「一人ひとりの子どもに寄り添う」ということを大切にしていきたいです。



中屋さん



放課後学習室での活動の様子

Voice! 内定者の声



塩田 絢菜 (高知県立中村高校出身)

高知県立学校教員(小学校) 令和元年度卒業

私が教員を目指したのは、生徒一人ひとりに真摯に向き合ってくれた、中学校の恩師への尊敬と憧れからです。大学では、小学校と中学校の教員免許を取得しましたが、複数の教科を担当する方が、子どもの良い部分を見つける機会が多いと考えて小学校の教員になることを選びました。中学生の頃、恩師が「あなたの良いところは、こんなところだね」と伝えてくれたことが私の自信となっている今、私もそんな気づきができる教員になりたいと思っています。

教育学部には、子どもたちとふれあう実習の機会が多数あり、個々の理解の相違や感情に寄り添う難しさを学ぶことができました。教育実習では、先生と児童の関係だけでなく、子ども同士で褒め合い、注意し合う学級づくりの大切さも学びました。

学業以外では、1年生の時に「よさこいチーム炎～ほむら～」で踊り、2年生からは運営スタッフとして活動しました。衣装や楽曲の制作、バスやホテル、お弁当の手配、よさこい祭りでの進行管理やイベントの遠征の段取りなど、一年中忙しくも充実した毎日、常に全体を見ながら細部に気を配ることが重要だと痛感しました。この経験を学級づくりに活かしていきたいです。

よさこいチームでは、会計を担当。
責任感と管理能力が身につきました！
交流から生まれたご縁も
宝物です



「よさこいチーム炎～ほむら～」は高知大学、高知県立大学の学生で構成。仲間もたくさんできました。

卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

クアラルンプール日本人学校、バンコク日本人学校、阿南市立阿南中学校、阿波市立阿波中学校、愛媛県公立小学校、茨城県公立中学校、岡山県笠岡市立笠岡中央小学校、岡山県公立小学校、広島県海田町立海田東小学校、香川県公立小学校、香川県公立中学校、高知学芸中学・高等学校、高知県公立高等学校、高知県公立中学校、高知県公立特別支援学校、高知市立朝倉小学校、高知大学附属小学校、高槻市立安岡寺小学校、佐川町立佐川中学校、山梨県市川三郷町立市川東小学校、四万十市立西土佐中学校、新潟県公立小学校、西条市立小松小学校、静岡県公立小学校、川崎市公立中学校、倉敷市立第四福田小学校、大阪府公立小学校、大阪府泉南市立信達小学校、大阪府柏原市立堅下小学校、大阪府柏原市立国分中学校、大阪府豊能地区公立中学校、鳥取県公立小学校、島根県公立小学校、島根県立浜田水産高等学校、東京都公立小学校、徳島県公立小学校、徳島県東みよし町立加茂小学校、徳島県美馬市美馬中学校、徳島県美馬市立三島小学校、徳島県北島町立幼稚園、徳島県立小島島高等学校、南国市立久礼田小学校、福岡市立姪浜中学校、兵庫県加東市立米田小学校、兵庫県公立小学校、鳴門市立鳴門西小学校、和歌山県公立小学校、へいわ幼稚園、高知市立保育園、鳥取県岩美町立保育園、鳥取県鳥取市立保育園、島根県松江市立保育園、徳島県吉野川市立保育園

高知市役所、淡路市役所、奈良市消防局

アイオ、アスルクラロ高知、SMBC日興証券、大阪水上隣保館 児童養護施設逢学園、鎌倉総合企画 ナイスほしぼら、河合塾マナビス、カワニシホールディングス、シグマトロン広島支社、四国銀行、上智社会事業団、正和商事、スペランツァア大阪高槻、Tethera松山店、ドリーマー、どろんこ会、日本ビューアフーズ、光村図書出版、水戸啓明高等学校

▶大学院進学先 高知大学大学院、高知大学教職大学院、鳴門教育大学大学院、岡山大学大学院、佛光大学大学院

壮大なスケールの世界を解き明かす

理工学部

Faculty of Science and Technology

学科・コース

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

理学部は理工学部へ

高知大学理学部は、地域・社会のニーズにあわせた「理工学部」に生まれ変わりました。この新学部は、論理的思考を重視する理学教育に、実用を重視する工学教育の融合を目指しています。

新学部には、自然科学の基礎を支える「数学物理学科」、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを扱う「情報科学科」、南四国の豊かな自然を生かす「生物科学科」、化学と生命科学の基礎に高度な技能を積み上げる「化学生命理工学科」、地球を理解して総合的な防災力を身につける「地球環境防災学科」の5学科構成となっています。

▶ 数学物理学科 物理科学コースの3年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限					物理化学II
2時限 (教養科目)		固体物理学I			量子力学I
3時限	相対性理論	理工学英語ゼミナールI		(教養科目)	物理化学演習
4時限		中等理科指導法III			物理科学実験II
5時限					物理科学実験II

▶ 理工学部ホームページ

<http://science.cc.kochi-u.ac.jp/>

▶ 先輩からのメッセージ



先輩にきく Message from Student

論理的思考が身についた!

岸本 由佳里 理学部(現 理工学部) 数学コース4年 (兵庫県立小野高校出身)

高校の教育実習に来た先生が高知大の数学コースの方で、授業や研究の話聞いて「おもしろそう!」と思いやってきました。高知は未知の地でしたが、ごはんがおいしくて、人があったかくて、来てよかったと思います。

大学生活で一番頑張ったのは、大学に入ってから始めた弓道です。先輩方にいろいろ教えてもらいながら、弓が引けるようになるまで3ヶ月、的に当たるようになるのにも随分かかりました。徐々にできるようになるのが楽しくて、環境が変わった時に新しいことを始めるのはおススメです! 弓道部は全員で室戸貫歩に参加し、1年生が歩き、2~4年生が1年生をサポートするのが習わしです。励まし合い、応援を受けながら貫歩できた時は、とてもうれしかったです。



弓道部の仲間と参加した室戸貫歩。歩く人も、サポートする人も全力で!

学びの面では、論理的思考、多角的な見方が身についたと思います。これから公務員として働く上でも、あらゆる場面できっと役立つと思います。卒論では、様々なゲームに潜む数学的法則や、必勝法について研究しています。数字は全然出てこないけれど、これも数学。そう気づいて、数学が一層楽しくなりました。



弓道をやって、緊張を解くためのルーティンを発見できたのは収穫です。「一回深く屈伸する」。これで気持ちが静まります

教員にきく Message from the Dean

理学を基礎に、工学へ知を拡げよう

津江 保彦 理工学部長

高知大学理工学部は、理学教育の実績のもとに誕生しました。自然科学諸分野を学ぶ理学教育が基礎にあり、実用を重視する工学分野を融合させています。科学・技術の進歩が極めて速い現代社会では、課題に直面した時、基本に立ち返って考える力や、必要な知識を学び、それを問題解決に活かせる力が求められます。理学的な思考法をしっかりと身につけ、理工学的な視点を持つことで、様々な課題を科学的に解決していける理工系人材として活躍できることにつながります。

そこで、学部共通科目として、理工系基盤科目(理工系数学など)、グローバル化強化科目(外国人講師による科学英語など)、イノベーション人材育成科目(科学者・技術者倫理、キャリアデザインなど)を学び、早くから社会に目を向け、自身のキャリアへの意識を養います。学科専門科目では基礎科目群・専攻科目群の2段階で専門性を高め、応用力、課題発見力、課題解決力を培っていきます。

理工学部の教職員は、皆さんの学びと知の成長に、最大限のお手伝いをするつもりです。私たちと共に知性を磨き、社会で活躍できる理工系人材を目指しませんか。

カリキュラム例

数学物理学科	情報科学科	生物科学科	化学生命理工学科	地球環境防災学科
<p>■数学コース</p> <p>微分積分学や線形代数学を基盤として、解析学 幾何学、代数学、確率・統計学を中心に学びます。</p> <p>■物理学コース</p> <p>力学分野、電磁気学分野、熱統計学分野、量子物理学分野、応用物理学分野、実験科目</p>	<p>計算機システム学、オペレーティングシステム論、プログラミング演習、情報ネットワーク論、人工知能工学、情報理論、シミュレーション工学、アルゴリズムとデータ構造、数値解析、画像処理論、情報解析学、デジタル回路実験、データベースシステム、離散数学、ヒューマンコンピュータインタラクション、情報社会と情報倫理</p>	<p>植物分類学、動物分類学、生態学、古生物学、比較生化学、動物生理学、細胞生物学、植物形態学、脊椎動物学、系統進化学、保全生物学、古生態学、理論生物学、生物圏進化学、地球表層動態学、タンパク質科学、代謝生理学、分子生理学、原生動物学、植物生理学、細胞構造構築学、生物多様性学、化学分類学、海洋環境学、動物生態学、水界生態学、海洋植物学</p>	<p>分析化学、物理化学、有機化学、無機化学、量子化学、錯体化学、天然物化学、分子生物学、細胞機能学、有機・高分子化学実験、無機・物理化学実験、遺伝子工学実験、生命分子工学実験、高分子化学、光機能創成化学、反応工学、無機材料化学、有機材料化学、ケミカルバイオロジー、発生工学、遺伝子工学、細胞工学、進化工学</p>	<p>■必修</p> <p>地球環境防災実習、地震学ほか</p> <p>■選択必修</p> <p>連続体力学、気象学、地球ダイナミクス、構造力学、地盤工学、水理学、構造地質学、地震地質学、岩石学ほか</p> <p>■選択</p> <p>物理探査法、大気環境工学、耐震工学、防災計画学、鉱物学、テクトニクス、地球掘削科学、海洋地質実習ほか</p>

理工学部 Faculty of Science and Technology

教育理念

理工学部は、論理的思考を重視するこれまでの理学教育に加え、実用を意識した工学教育を融合させて、新しい理工学教育を目指します。このため、他大学の理工学部とは異なり「理学の基礎に強い」人材育成が特徴です。卒業時に取得できる学位も、理学教育を追求する「数学物理学科」と「生物科学科」は『学士(理学)』、理学はもちろん理工学教育を充実させた

「情報科学科」「化学生命理工学科」「地球環境防災学科」は『学士(理工学)』となります。さらに、「英会話」や「科学英語」などの英語教育を通して、グローバル化への対応も行います。

数学物理学科 Department of Mathematics and Physics

知的文化の創造と人類進歩を目指して

コース紹介

▶ 数学コース

数学的・論理的思考力はすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、数学の代表的な分野である解析学、幾何学、代数学、確率・統計学を中心に数学的・論理的思考力を養成します。また、必要単位を習得することにより中学校・高等学校の数学教員免許を取得することができるので、数学をしっかり学び、卒業後は数学の先生になりたいという方にもおすすめです。



▶ 物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、宇宙線・電磁現象、核物質・クォーク物質などの研究に応用する力を養います。そして、社会の多種多様な分野で独創性を発揮できる人材の育成を目指します。



情報科学科 Department of Information Science

未来の情報技術を創造する

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについて、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい理論や学問の創出のみでなく、次世代の新技术や産業の発展に貢献しています。情報科学科では更なる高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



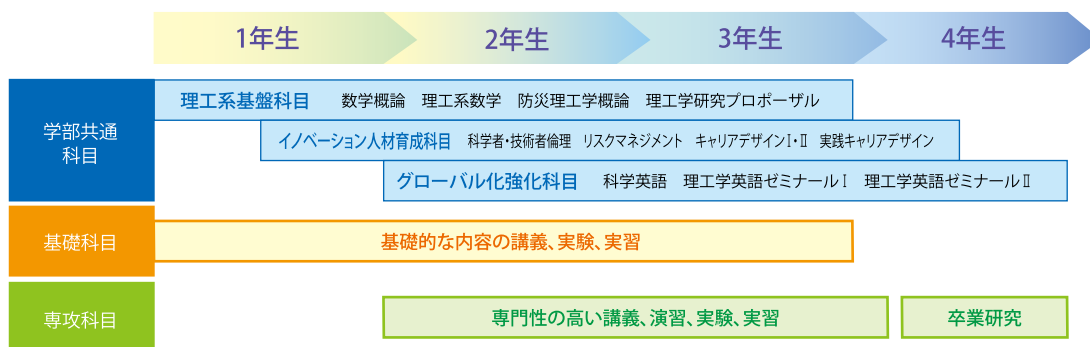
生物科学科 Department of Biological Sciences

生物・環境、その歴史を科学する

地球生態系から分子レベルの現象まで、そして、太古の地質時代から現在、未来まで、スケールや時空を越えた幅広い領域におよぶ「生物科学」を、多様で充実したカリキュラムのもとに学べます。そして、生物科学に関する総合的な知識と技能を有し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。



▶ 4年間の流れ



1年次は共通教育初年次科目に加え、「数学概論」など学部共通科目、様々な基礎科目を履修します。2年次以降は専門性の高い授業・実験を履修し、4年次に「卒業研究」を行います。

化 学 生 命 理 工 学 科

Department of Chemistry and Biotechnology

分子の視点で環境・材料・生命に挑む

身近な日用品も最先端の機能性材料も生き物も、みな化学物質でできています。化学と生命科学に関する知識と実験技術を習得し、分子や細胞の性質と機能およびその仕組みを理解できるように教育を行います。環境・材料・生命などの分野において重要な課題を解決できる能力を身につけ、持続可能で豊かな社会の実現に挑む人材を育成します。



理工学部

地 球 環 境 防 災 学 科

Department of Global Environment and Disaster Prevention

地球に生きる!

地球構成要素の特性、自然現象の発生機構、自然災害の進行準備過程、災害に対する生命財産と構造物の保全や維持に関する教育・研究を行います。理学および工学の両分野から学ぶことで、環境変化や自然災害に対する問題解決能力を持ち、かつ、自然共生型社会の構築・発展に貢献できるような高度職業人・技術者・教員・公務員・地域リーダーの育成を目指します。



+α

授業科目紹介「情報理論」～快適な情報通信を支える数学的理論～

理工学部
情報科学科

情報理論を学ぶことで、世界の見え方が変わる!

鈴木 一弘 情報科学科 講師

「いぬ」も「ねこ」も2文字で短い。この当たり前の事実を情報科学は見逃しません。もし犬や猫が「じゅげむじゅげむ……」のような長い名前だったら私たちの平均会話時間は大変なことになります。同様にコンピューター通信においても、頻繁に発生する情報に長いビット列(0と1からなる列)を割り当てることは非効率です。より“多くの情報”に効率的にビット列を割り当てて平均通信時間を短縮したい。そのためには情報の多少、すなわち“情報量”をきちんと数学的に定義したうえで、何が情報伝送速度の限界をもたらすのかを明らかにする必要があります。

情報理論では情報量、通信路、ノイズなどの情報通信の諸概念が数学を用いて記述され、そこから導かれる数々の定理が情報通信工学の基礎となり、今日の快適な情報通信を支えています。このように、大学では“当たり前”を見逃さない視点を知って世界の見え方が変わる体験がたくさんできます。お楽しみに!



快適な計算機環境で情報理論を学ぶ学生たち

Pick Up ▶ 研究者

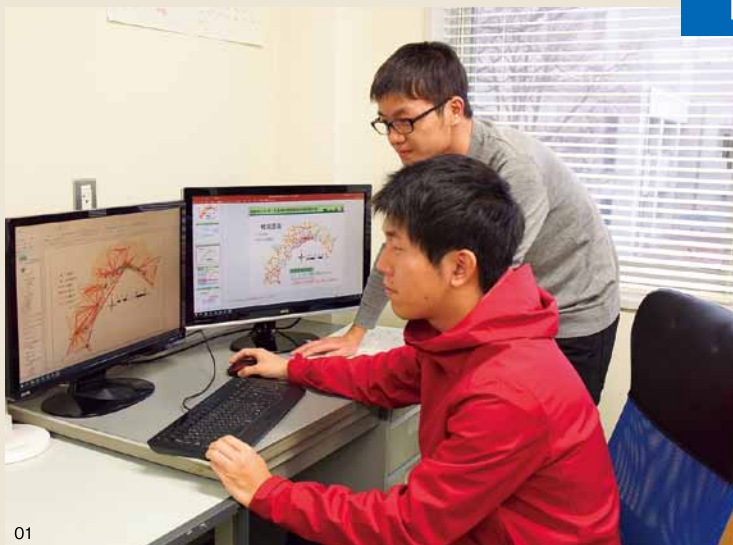
大規模災害に備えた道路復旧・土地利用計画の実践

地球環境防災学科 講師 坂本 淳



災害に強いまちをつくるためには、頑丈な橋や道路の建設などのハード対策と、ハザードマップの作成や土地の使い方を考えるなどのソフト対策を組み合わせることが重要です。坂本研究室では、ソフト面に着目した計画の提案を行っています。

大きな災害が発生した時に道路などをどのような順序で復旧していけばよいのか、これから私たちの国の人口が減少し高齢化する中で、災害リスクとどう向き合いながら都市をつくればよいのかなどを考えます。平成30年の西日本豪雨の際には学生と現地を訪れ、避難行動や復旧・復興活動の実態を調査しました。安心、安全なまちづくりに興味がある皆さんと一緒に研究ができることを楽しみにしています。



01



01:地理情報システムの修得に関する卒研ゼミの様子 02:西日本豪雨ボランティア成果発表の様子
03:西日本豪雨被災地でのボランティア活動 04:長期浸水域内からの要医療支援者の搬送シミュレーション(高知市)

卒業論文テーマ例

数学物理学科 数学コース

ジュリア集合へのモンテルの定理の応用／擬等角写像によるフラクタル曲線へのアプローチ／積み木の架け橋と調和級数／ナイトの周遊ゲーム／結び目と多項式不変量／正5角形リングとペンローズタイリング／ある条件下でのガウス整数の性質について／ミラーラビン素数判定法／検定の検出力と最強力検定について／傾斜のあるモンティ・ホール問題

数学物理学科 物理科学コース

Aサイト置換したSrFeO_{3-δ}の結晶構造および酸素放出特性／鉄系超伝導体の相図と複数の秩序パラメータ間の競合／光格子中の冷却フェルミ原子気体における磁気ポーラロンの相関／Agl-Ba1-xSrxTiO3複合体の電気伝導特性／擬ベクトル型相互作用を含むNUL模型のオーク凝縮の可能性／直接冷却方式による倒立型極低温GM冷凍機の開発／CaCu3Ti4-xRuxO12のNQRによるスピン格子緩和率の測定／変分自動符号化による3次元イジング模型の相構造の研究

情報科学科

深層学習による気象監視カメラ画像からの竜巻抽出／プライバシー保護ビッグデータ生成法／ホログラフィックプロジェクションによる3次元投影／3D視覚暗号／ガウス整数を用いたRSA暗号／ソフトプロセッサコアを利用した画像処理の並列化／自律型ロボットの移動計画問題／研究授業のための電子化学習指導案を用いたレビュー支援システム／電子黒板を用いた遠隔授業のための教師シルエット表示システム／視覚障害者のための白杖型歩行支援デバイス

生物科学科

ザトウムシの形態的特徴と脚の自切／多核緑藻キッコウグサの細胞分裂に及ぼす光の波長効果／アカウミガメ幼体の孵化後の運動性と代謝に与える脱出の効果／四国山地におけるニホンジカによる植生への食害分布状況／ゾウリムシの収縮胞に対するATP合成阻害剤の影響／二枚貝殻の地球化学分析から探る鮮新世以降の土佐湾浅海域における季節性変動

化学生命理工学科

鉄触媒によるジアリールメタンの酸化反応に関する研究／N-アセチル-L-システインを用いた光学活性コバルト(Ⅲ)錯体の合成と性質／触媒水熱反応による糖類から5-HMF,レプリン酸,乳酸の合成／温度応答性ブロックを有する側鎖液晶型両親媒性トリブロックポリマーの合成／微生物型シデロフォアdesferriethiocin類縁体の植物に対する鉄供給能／カタユレイボヤにおけるPrickleの機能解析

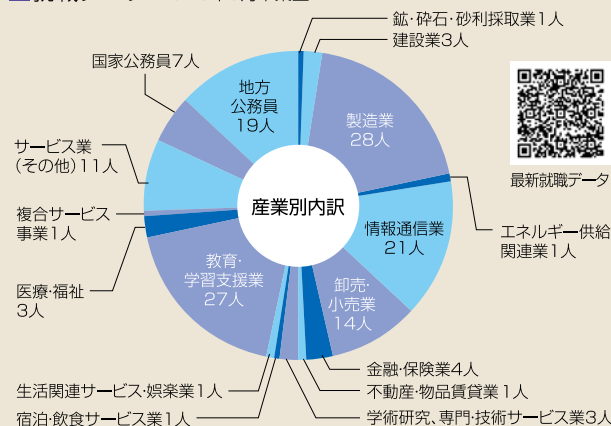
地球環境防災学科

上昇気流に着目した竜巻発生環境の再現実験／浅部デコルマの地形が与える堆積物物性への影響：紀伊半島沖南海トラフ／2005-2019年の四国における線状降水帯の抽出とその特性／モンゴル北部・サンギンダライ湖の湖底堆積物から復元する最終氷期以降の古環境変動と植生変遷／高知市長浜地区・鷲尾山麓測線の常時微動特性／丸太による環境配慮型液状化対策工法の開発／津波ハザードマップの見直しを踏まえた住民の居住選択意識の分析／上昇気流に着目した竜巻発生環境の再現実験

取得できる資格等 (主なもの)

- 数学物理学科 数学コース:中学校教諭一種免許状(数学)／高等学校教諭一種免許状(数学)
- 数学物理学科 物理科学コース:中学校教諭一種免許状(理科)／高等学校教諭一種免許状(理科) 他
- 情報科学科:高等学校教諭一種免許状(情報)／情報処理技術者[要試験]
- 生物科学科:学芸員／中学校教諭一種免許状(理科)／高等学校教諭一種免許状(理科)／生物分類技能検定[要試験]／中級バイオ技術者[要試験]／上級バイオ技術者[要試験]
- 化学生命理工学科:学芸員／中学校教諭一種免許状(理科)／高等学校教諭一種免許状(理科)／毒物劇物取扱責任者[資格審査有]／危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]／環境計量士[要試験]／有機溶剤作業主任者[要試験]／特定化学物質取扱責任者[要試験]／中級バイオ技術者[要試験]／上級バイオ技術者[要試験]
- 地球環境防災学科:学芸員／測量士補[要試験]／技術士補[要試験]／防災士[要試験]／中学校教諭一種免許状(理科)／高等学校教諭一種免許状(理科)／気象予報士[要試験]

就職データ 2020年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声



浜田 鷹人 (徳島県立城北高校出身)

四国電力株式会社 令和元年度理学部(現 理工学部)卒業

僕は小学生の頃からサッカーを続けていて、高校入学時には「第一志望は、大学サッカーの強豪校、高知大学!」と決めていました。高校3年生の時に習った化学の先生が高知大学出身で、授業がとてもおもしろく化学が得意科目になり、理学部(現 理工学部)へ進学しました。

大学3年生からは応用化学コース(現 化学生命理工学科)を専攻し、無機化学の研究に携わりました。スポーツドリンクに含まれるナトリウムイオン、カリウムイオンなどが、体にどんな働きをするのが興味があったからです。無機化学は、知れば知るほど奥深い世界でした。研究室の

先生はサッカー部の活動をとても応援してくださり、大変感謝しています。時間の制限なく研究室を使うことができたおかげで、サッカーと勉学の両立が叶いました。

サッカーは3年生の時に28年ぶりに全国大会出場を逃し、悔しい思いをしました。翌年は主将としてチームを率い、全国大会へ。雪辱を晴らすことができました。どちらも「やりきった」という達成感があります。

教員を目指した時期もありましたが、次第に「徳島の企業の一員として地元へ貢献したい」という思いが強くなり、就活をして四国電力に内定しました。四国のインフラを支える力になれるようがんばります。

サッカーで培ってきた、コミュニケーション力や信頼を構築する力を、仕事にも生かしていきたいです!



昨年の総理大臣杯四国予選は、見事優勝することができた。

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学物理学科 ※旧数学・物理科学コース

兵庫県庁、熊本県庁、長崎県学校事務、静岡労働局、高知県教育委員会、高知県立幡多農業高等学校、兵庫県立明石西高等学校、熊本市立西原中学校、今治市立今治南中学校、広島市立高屋中学校、東海大学付属福岡高等学校、興譲館高等学校、ホーチミン日本人学校、アイル、明石機械工業、アスパーク、アベックス、高知システムズ、コスモ工機、スマイルプラス(児童通所施設)、TEP、フォーシーズ、徳真電器工業、トヨタカローラ山口、ネットトヨタ東九州、希学園、ミツ精機、LIXILピバ、リコージャパン

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京工業大学大学院、千葉大学大学院、信州大学大学院、三重大学大学院、長崎大学大学院

情報科学科 ※旧情報科学コース

大阪税関、NTTビジネスソリューションズ、岳南建設、高知電子計算センター、ソフテック、ダイハツ工業、T&D情報システム、日本データスキル、ビッグ・エス、フジキン、ベニックスソリューション、松芝エンジニアリング、三菱自動車工業、ムラタシステム、村田製作所、両備システムズ

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京工業大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学

生物科学科 ※旧生物科学コース

高知県庁、高知県学校事務、愛媛県庁、大分県庁、甲賀市役所、豊岡市役所、東京税関、裁判所事務官、中国・四国管区警察局、京都府教育委員会、学校法人稲葉学園 竹田南高等学校、AHCグループ、イカリ消毒、インダ、伊丹産業、うおいち、岡三証券、オハヨー乳業、キリンホールディングス、高知信用金庫、小麦、三共消毒、JA全農、乗馬クラブ クレイン、情報技術社、ティー・ツー・クリエティブ、日本赤十字社、日本年金機構、ネオキャリア、浜学園、VSN、本田技研工業、マリンフーズ、山口そうごう自動車学校

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京農工大学大学院、岡山大学大学院

化学生命理工学科 ※旧化学・応用化学・海洋生命・分子工学コース

広島県庁、徳島県庁、四万十市役所、日南市役所、高松国税局、神戸税関、三重県警察科学捜査研究所、城南衛生管理組合(特別地方公共団体)、岡山県立津山高等学校、愛媛県立野村高等学校、愛媛県立今治工業高等学校、シンガポール日本人学校中学部、アイ・エス・ジェイ、朝日インテック、朝日化学工業、アストラゼネカ、アテック、アル・システム、伊予銀行、S-fledge、熊本大学、コスモス薬品、三協システム、シー・エス・イー、四国銀行、四国電力、スズキ自販高知、日通情報システム、日本情報産業、日立ソリューションズ西日本、フジワラ化学、プライザ、プリジストンタイヤジャパン、マーキュリー、まつだ寝具店、三浦工業、三菱ケミカル、明星産商、モンベル、YAMAKI、リブドゥコーポレーション、わかもと製薬

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、北海道大学大学院、京都大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学大学院、岡山大学大学院、長崎大学大学院、大阪府立大学大学院、横浜市立大学大学院

地球環境防災学科 ※旧地球科学・災害科学コース

高知県庁、松山市役所、浅口市役所、総社市役所、高知県教育委員会、ウエスト、技研製作所、キヤノンITソリューションズ、構営技術コンサルタント、第一コンサルタンツ、地球資源開発、東京大学、西日本高速道路、日本気象、日本技術センター、ホテルニューアワジグループ、明倫開発

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、秋田大学大学院、東京工業大学大学院、名古屋大学大学院

人間とその病態の中に真理を見出す

医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科

医学部の教育理念

医学部は、「敬天愛人」「真理の探究」という高知医科大学の建学の精神を受け継いでおり、これは「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にす大学人であることを目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」という教養であり、呼び掛けです。

超高齢社会を迎えた現在、地域社会が求める医療・福祉を担うためには、優れた知性や高い倫理観に加えて、豊かな感性や人間そのものに対する深い共感、自然を理解するための鋭い洞察力が必要です。また、多様な専門職の同僚たちと協力して円滑に医療を行うための協調性やリーダーシップ、生涯を通して医学・看護学を学び続ける強い向上心や探究心も求められます。高知大学医学部は、これらの能力を備え、全人的な医療が実践できる医療人の育成を目標としています。



アドミッションポリシー

医学部の教育理念に基づいて、医学・看護学を学ぶ基礎としての「人間の文化・社会・自然に関する知識」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」および「協働実践力」を有する人材を求めます。

▶ 医学科3年第2学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限	臨床遺伝病学総論	病理CPC演習	内科学総論	病理学実習	臨床感染症学総論
2時限	臨床免疫学アレルギー病科学				薬理学
3時限	薬理学	外科学総論	基本的診療技能	臨床腫瘍学総論	臨床検査医学
4時限	地域医療学	先端医療学	泌尿器科学・腎尿路系	PBLⅢ/先端医療学	放射線医学
5時限		コースⅢ		コースⅢ	

▶ 医学部ホームページ

<http://www.kochi-ms.ac.jp/>



▶ 先輩からのメッセージ 



ECCのホルル市長杯
第49回全日本青少年英語弁論大会
大学の部で優勝!
ハワイ大学の夏期セミナーに
参加しました

先輩にきく Message from Student

独自性の高い尖った研究が魅力

間崎 護 医学科5年(高知県 私立土佐高校出身)

実家が開業医で、父を見ながら自然と人体に興味を持つようになり、地元高知大学で学びたいと思い入学しました。1年生で初期臨床医学体験(EME)があり、医学知識ゼロの状態でも病院の中に身を置いたことは、とてもよい経験でした。現在、臨床実習で各科を回っているところですが、当時とは感じ方や見え方が違う、成長した自分があります。



5年間ESSの部員として共に活動した川島君と。彼の支えがあったからこそ、ESSの大会で受賞できました。



精神面を鍛えてくれた弓道。仲間との時間は、癒しのひとときでもありました。

高知大学は、先端医療学研究と少人数グループで学び合うPBL学習が自由に選べるのがよいところで、先端医療学研究の幅もとても広く、個性的な研究ができます。僕は、急性腎臓障害の予後に関連するタンパク質、インターロイキン-36(IL-36)について検証し、3年生の時に学会で優秀演題賞をいただきました。

サークル活動にも熱中し、弓道部の主将として、西医学では団体優勝、全医学部では個人で10位の成績を収めました。夜中まで夢中で練習し、翌日昼休みに車で仮眠したことも懐かしい思い出です。

また、英語が好きでESSにも所属しています。医学生として、一般の人と医者との橋渡しができればと、YouTubeで配信をしています。医学部受験のことや海外の病院で使える英語、専門用語の解説など、少しでも役立てばと思っています。



教員にきく Message from the Dean

地域での実践が、世界の医療につながる

菅沼 成文 医学部長

高知大学は、高知という地域に存在している国立大学法人です。そこで学ぼうとする皆さんは、いわば胸に日の丸をつけた“日本代表選手”。地域に根差して人々の生命と健康を守ることはもちろん、日本の医学研究を進め、世界の医療をリードしていくという気概を持って活躍して欲しいと思います。

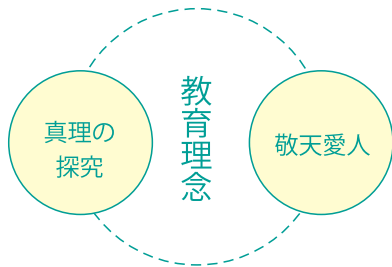
そのために高知大学医学部では、様々な特色ある教育に取り組んでいます。そのひとつが医学科の「先端医療学コース」。これは真のリサーチマインドを持った医学研究者の育成を目指すもので、毎年学生が大きな成果を上げています。看護学科は医学科と同じキャンパスで、医療の中での看護の役割をしっかりと学ぶことができます。地域医療を担う医師や看護師のリーダーを育てる「家庭医道場」では、地道な取り組みを重ね、地域との信頼の絆も深まっています。医療の世界は、ある意味ユニバーサル。地域での実践が、世界の医療の発展に直結します。高知大学医学部で、医療の世界の日本代表として一緒にがんばりましょう!

カリキュラム例

<p>医学科 6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL／先端医療学の選択コース制を導入しています。</p>	<p>看護学科 4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。</p>
<p>6年一貫の医学教育を目指して医学教育モデル・コア・カリキュラムを実施している。</p> <p>カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目Ⅰ[コア準備](1~4年)、専門科目Ⅱ[コア科目基礎系](2~4年)、専門科目Ⅲ[コア科目臨床系](3~4年)、専門科目Ⅳ[臨床実習・統合医学](5・6年)。</p> <p>さらに専門科目Ⅱ~Ⅳの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。</p>	<p>カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目と各学生がある程度自由に選択できる教養科目からなる。専門科目は看護師になるために必要な多くの科目から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。</p>

医学科 Medical Course

高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	医師国家試験	
教養科目							
EME 初期臨床医学体験	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他				臨床実習後OSCE (態度・技能)		
	臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科学／循環器病学／血液病学／他			診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)			
				共用試験※ CBT(知識)／OSCE(態度・技能)			

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。



学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2～4年生の間は総合医学コースか先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。

地域医療学の充実	先端医療学研究	総合医学コース
6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマンズム溢れる豊かな医療人を育てます。	先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたリサーチマインドを持った研究者の育成に力を入れています。	自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL(Problem Based Learning)を導入。少人数グループで議論し能力を研ぎます。

+α 家庭医道場

医学部

看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医療が大切です。その実際を学ぶ目的で毎年春と秋の2回、家庭医道場が開かれています。

地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿!

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医療者と交流します。家庭医療に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触れます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください!



地域で学んだ、医療人としての心構え

井上 愛美 医学科3年(高知県 私立土佐塾高校出身)

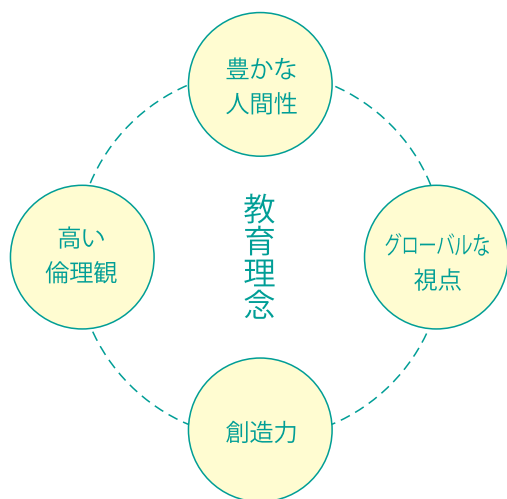


私が医師を志したのは、山あいの過疎地域に一人で暮らす祖母の存在があったからです。ずっと参加を希望していた家庭医道場には、今年、実行委員として初参加しました。馬路村で学んだ2日間、多くの気づきや感動がありました。一番印象的だったのは「馬路村は地域全体で子どもを育ててくれる」というある女性の言葉です。生活の中にある人のつながりの温かさ、絆の大切さを感じました。

医師は医療者である前に「人」であり、患者さんも患者である前に「人」です。私も将来医師になった時には患者さんと、人と人としての関わり方ができるよう、まずは地域の一員にならなければいけないと気づくことができました。自分の目指す医師像に近づけるよう、努力していきたいと思っています。

看護学科 Nursing Course

時代のニーズに応えられる革新力を備えた看護専門職



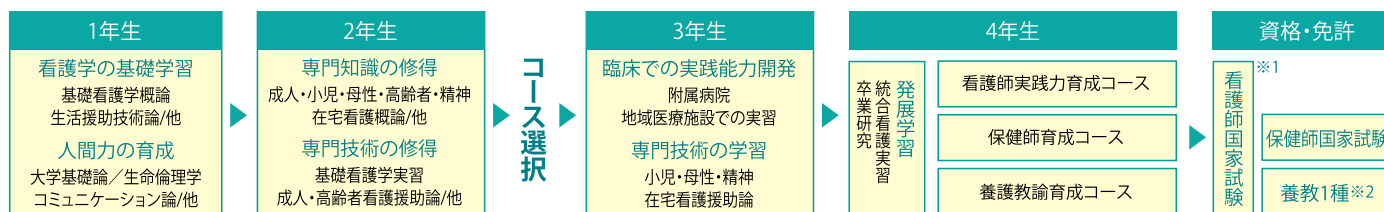
教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

求める学生像

看護学科では、人材養成の基盤となる以下の能力・態度を有する人材を求めます。

1. 人に関心があり、人々の健康と生活を支える看護職を目指す意欲がある
2. 相手の立場に敬意を払い、コミュニケーションが取れる
3. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる
4. 専門職として自ら学び、挑戦することができる
5. 物事を論理的に考え、自分の考えを説明できる
6. 医療・看護の理解のために必要な理数系・人文系科目の基礎学力を有する



※1: 看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2: 4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力育成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する体験や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、先端医療から地域で求められる確かな看護実践力まで身につけることができます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、技術と人間的な成長も望めます。	保健師育成コース、養護教諭育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

+α 台湾留学

医学部
看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはず。



海外の看護を知り、視野が広がった

神木 望 看護学科4年 (兵庫県立淡路三原高校出身)



私は、海外と日本の医療の違いや文化を学びたいと思い台湾短期留学への参加を決意しました。台湾大学の授業、病院の見学や病棟・在宅実習へ参加し日本と台湾の医療や学習における相違点を考えることができました。違いでは台湾には助産師や保健師といった職業が無いため看護師の役割の幅がさらに広がること、信仰を尊重し病院内に礼拝スペース

を設けている等病院の構造的な面も知ることができました。また国や文化が違っても、患者さんは住み慣れた地域での生活を望み、その方の生活や思いを尊重して関わる点は看護において大切にすべきことであると感じました。

海外の医療現場を見ることが出来る機会はなかなか無いと思います。また、学生のうちだからこそ感じられることは多く、台湾の学生と学業や将来の夢について話すことで自分の価値観も広がると感じます。たくさん考え、新しい発見ができる台湾留学にぜひ挑戦してみてください。



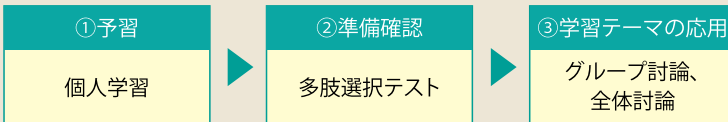
Pick Up ▶ 授業

チーム基盤型学習を通じて、 能動的学びを身につける

医学科 統合医学コース(2~4年生の選択コース)

医師として最善の治療を行うためには、常に最新の医学知識や情報を自ら学び、集める必要があります。そこで、本コースではチーム基盤型学習(TBL:Team-Based Learning)を取り入れ、様々なテーマに対して個人の責任性を持ちながらチームで協働して課題解決を目指す中で、必要な知識、態度、技能を習得していきます。TBLは米国発祥の学習法で、本学部が日本で初めて導入しました。知識を応用する能動的な学習を重視しています。

▶ TBLの特徴



3つのフェーズを繰り返しながら、知識だけでなく協調性やリーダーシップなどチーム医療に欠かせない態度やスキルを身につけていく。

Pick Up ▶ 授業

附属病院で半年間、 様々な領域の看護を体験する

看護学科 臨地実習(3年生)

隣接する附属病院で約6ヶ月間、「成人」「高齢者」「精神」「小児」「母性」の各領域をまわり、授業で得た知識を実体験しながら学びにつなげる実習を行います。卒業生の先輩看護師がたくさんいる環境の中、学生も医療チームの一員として温かく迎えられ、スタッフの方と一緒に、患者さんやご家族のことを考えながら看護を学んでいくことができます。病棟での実習を通して得た気づきや学びは、4年生でさらに、卒業研究やコース別実習で深めていきます。



01:小児科病棟での臨地実習。教員や病棟看護師の指導のもと、チームの一員として現場に加わり、看護の実際を学ぶ。



臨地実習に入る前には、段階的に様々な演習を行う。 02:2年生の「医療安全論I」 03:04:1年生の「生活援助技術論II」

■ 卒業論文テーマ例

看護学科

看護学生の外食利用の実態と健康意識との関連／基礎看護学実習II前後における職業的アイデンティティと影響要因について／看護学実習班内の人間関係を良好に保つための関係づくり行動／看護学生の実習期間中の手指衛生による手荒れへの影響／男女学生の避妊行動と知識の実態について～医療系学生と一般学生の比較～／産後2週間の母親が体験した児との生活に対する産前のイメージとの変化とその対処行動／大学生における不妊症に関する意識調査／病棟看護師における薬剤への認識～アンケート調査から～／女子学生のサプリメント使用状況と生活習慣との関連／大学生を対象と

した高知県産ゆず精油を用いた手浴のリラックス効果／看護系大学生の臨地実習グループにおける対人ストレスイベントの実態／看護学生が実習において患者にみせる笑顔の意味～2年生と4年生を比較した結果～／小学生を対象とした応急処置による防災教育～防災に関する意識の変化～／小学校高学年の自尊感情とライフスタイルとの関連／外国人看護師及び外国人看護師候補者が日本で就労するなかで生じる対人関係の問題の文献検討／通常学級で学ぶ発達障がいのある児童生徒に養護教諭が行っている「居場所づくり」の実態／遺伝カウンセリングに関わる看護についての文献検討

■ 取得できる資格等

医学科

医師国家試験受験資格

看護学科

看護師国家試験受験資格

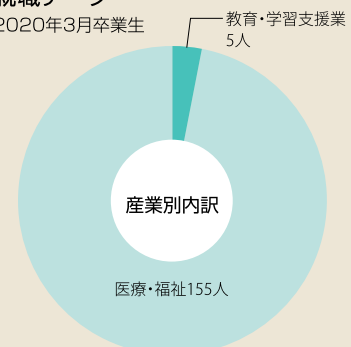
また、所定科目単位の修得により保健師国家試験受験資格(人数制限あり)、または養護教諭一種免許状の資格を得ることができます。

なお、保健師免許を取得した後は、本人の申請により第一種衛生管理者免許状が取得できます。また、教職課程の定められた科目を修得している場合は、卒業後に本人の申請により養護教諭二種免許状が取得できます。

(卒業後、高知大学大学院「実践助産学課程」に進学・修了すると、助産師国家試験受験資格を得ることができます)

■ 就職データ

2020年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声

病室や診察室以外で
患者さんとふれあう機会を持てたのも、
音楽がきっかけ。
サークル活動も充実していました



菅原 拓真 (兵庫県立大学附属高校)
福岡徳洲会病院 医師 令和元年度卒業

子どもが好きで学校教諭になりたいと思っていましたが、高校3年生の秋に先生から「君のような人に医者になってもらいたい」と言われ、そこから小児科医を志すようになりました。浪人中に塾講師をして、発達障害や不登校などの子どもたちやそのご家族に接し、発達障害の研究・診療が進んでいる高知大学を選びました。

在学中はオーケストラ部でバイオリンを弾いていて、演奏で様々なところに呼んでいただく中で、いろいろなご縁が生まれました。また、がん患者を支援する「リレー・フォー・ライフ」の運営に携わり、がんと向き合う患者さんの心に触れることができたことも、大きな学びとなりました。

卒業後は、総合的な医療を経験したいと思い、「断らない救急」を理念に掲げる福岡徳洲会病院に就職を決めました。そこでしっかり医師として成長してから、小児科の専門医資格を取ろうと考えています。医療の発達により、治癒する病気が増えてきましたが、発達障害の子どもの場合、専門の医師や環境になじめず、治療に進めないケースがあります。将来は、小児科と診療科をつなぐ役割を担っていきたいと考えています。



高知大学医学部チームの仲間たちと、「リレー・フォー・ライフ」で24時間たすきをつなぎました

卒業後の進路 学部卒者の過去2年間の主な就職先・進学先です。

医学科 卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います(初期研修)。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

▶卒業者が研修を行っている高知県内の基幹型臨床研修病院

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)

千葉大学、東邦大学医療センター佐倉病院、東京医科歯科大学、昭和大学、杏林大学、名古屋市立大学、藤田医科大学、滋賀医科大学、京都府立医科大学、大阪大学、大阪市立大学医学部附属病院、関西医科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、川崎医科大学、広島大学、愛媛大学、九州大学、熊本大学、長崎大学

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の基幹型臨床研修病院(抜粋)

北海道病院、総合病院土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院、水戸協同病院、足利赤十字病院、太田記念病院、渋川医療センター、埼玉石心会病院、川口市立医療センター、国保旭中央病院、新松戸中央総合病院、松戸市立総合医療センター、国府台病院、藤沢市民病院、石川県立中央病院、恵寿総合病院、諏訪赤十字病院、長野市民病院、大垣市民病院、木沢記念病院、聖隷浜松病院、静岡市立静岡病院、名古屋市立西部医療センター、名古屋医療センター、名古屋第二赤十字病院、春日井市民病院、西尾市民病院、名古屋済済会病院、伊勢赤十字病院、大津市民病院(地方独立行政法人)、松阪総合病院、京都岡本記念病院、大阪府立急性期総合医療センター、耳原総合病院(大阪)、大阪労災病院、阪南中央病院、PL病院、市立ひらかた病院、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立淡路医療センター、姫路赤十字病院、兵庫県立柏原病院、明石医療センター、北播磨総合医療センター(兵庫)、神戸掖済会病院、ツカザキ病院、姫路医療センター、市立伊丹病院、製鉄記念広畑病院、明和病院、国立病院機構岡山医療センター、国立病院機構福山医療センター、岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、倉敷中央病院、東広島医療センター、広島市立安佐市民病院、JA尾道総合病院、広島西医療センター、徳山中央病院、徳島赤十字病院、高松赤十字病院、愛媛県立中央病院、公立八乙女総合病院、国立病院機構小倉医療センター、福岡和白病院、宮崎県立日南病院、古賀総合病院、鹿児島市立病院

看護学科

■看護師

▶高知県内の病院

高知大学医学部附属病院、高知赤十字病院、高知県立幡多けんみん病院、島津病院

▶高知県外の大学病院(大学名のみ)

筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、日本大学、順天堂大学、横浜市立大学、信州大学、名古屋市立大学、京都大学、大阪大学、大阪医科大学、関西医科大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、川崎医科大学、九州大学、宮崎大学

▶高知県外のその他の病院

千葉県こども病院、東日本成人矯正医療センター、名古屋第二赤十字病院、国立病院機構東近江総合医療センター、京都市立病院、大阪市立総合医療センター、住友病院(大阪)、淀川キリスト教病院、大阪赤十字病院、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立こども病院、神戸市民病院機構、兵庫県立尼崎総合医療センター、加古川中央市民病院(独立行政法人)、関西ろうさい病院、済生会兵庫県病院、国立病院機構岡山医療センター、倉敷中央病院、米子医療センター、広島市民病院、徳島赤十字病院、愛媛県立病院、福岡市立こども病院、小倉記念病院、九州がんセンター

■保健師 高知県、南国市、土佐市、小松島市(徳島臨時)、松江市(島根)、浜田市(島根)、五島市(長崎)、大豊町(高知)、四万十町(高知)、越知町(高知)、多度津町(香川)

■養護教諭(非常勤、臨時講師を含む) 高知県、高知市(臨時)、徳島市(臨時)、高槻市(大阪臨時)、出雲市(島根)、小林市(宮崎)

■大学院等進学先 高知大学大学院(助産)、岡山大学大学院(助産)

人と自然が共存していく道を探求する

農林海洋科学部

Faculty of Agriculture and Marine Science

学科・コース

農林資源環境科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース



アドミッションポリシー

農林海洋科学部は、「幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力を持って、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材」を養成します。



▶ 農芸化学科2年生第2学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限	応用微生物学			植物細菌学	食品分析学
2時限	動物発生工学	有機化学	植物細菌学	代謝生化学	微生物栄養学
3時限	外書購読 I				
4時限	生物環境化学実験	生物環境化学実験	生物環境化学実験	植物化学実験	植物化学実験
5時限					

▶ 農林海洋科学部ホームページ
<http://www.kochi-u.ac.jp/agrimar/>



▶ 先輩からのメッセージ



先輩にきく Message from Student

自由な時間をどう使うかが鍵!

重江 篤 農林海洋科学部海洋資源科学科4年(兵庫県立青陵高校出身)

高知大学には世界的な海洋コアの研究をしている施設があることを知り、とても魅力を感じ、未知の世界で新しいことに触れたいと思い農林海洋科学部に来ました。海底資源環境学コースでは、希土類の一つであるセリウムを海底資源の中に導入し、今までにない新しい物質を作り出す研究を行っています。とても難しいテーマですが、熱心な研究室で、いい先生に出会ってよかった、努力した甲斐があったと思います。

大学4年間は、自由な時間が多く、どう使うかは本人次第です。僕は、あてのない一人旅をたくさんしました。



合気道部の先輩たちの手作り料理で祝ってもらった誕生日。楽しい思い出です。

「ここ、いいなあ」と思うところで電車を降り、あてもなくふらりと歩くのが好きです。地元の人とふれ合ったり、おいしいものに出会ったり、時にはバスがなくなって帰れなくなることも。携帯の電波が入らないこともあり、人に聞く、教えてもらう、次の駅まで送っていただくなど、とても貴重な体験でした。

自分と向き合ううちに、見えてくることもたくさんあります。今は、大学院に進学し、研究を続けながら新しいことに挑戦したいと考えています。

合気道のサークルに入り、先輩たちの親切な指導により、演舞ができるようになりました。とても楽しい時間でした!



教員にきく Message from the Dean

山、川、海の豊かな資源を活用する

枝重 圭祐 農林海洋科学部長

高知県は、黒潮に面し、温暖・多雨・多照の豊かな自然と風土を有しています。農林海洋科学部のある物部キャンパスは、北には四国山地、南には高知平野が開ける南国市に位置しています。したがって、本学部は山、川、海という豊かな自然に囲まれ、農学・海洋科学分野を学ぶ上で格好の立地に恵まれています。本学部では、この山から海までの豊かで広範なフィールドを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成することを目指しています。

また、本学部は高知県との産学官プロジェクト「IoP (Internet of Plants)」が導く『Next次世代型施設園芸農業』への進化の中核となっています。本学部を拠点に、高知県が優位性をもつ施設園芸分野において、専門人材を育成しグローバルな競争力を身に付け、日本全国や世界中から研究者・学生が集まるキラリと光る地方大学を目指しています。



農林海洋科学部

カリキュラム例 1年次は、一般的な教養科目のほか、農林海洋科学部の全教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」が必須となります。

農林資源環境科学科	農芸化学科	海洋資源科学科
<p>■学科共通</p> <p>農林資源環境科学基礎実習、水資源学、植物生育学、物理学概論、生態学、統計学、現代応用生物学</p> <p>■暖地農学領域</p> <p>農場実習、暖地園芸学概論、動物生産学概論、農業経営学、食用作物学、植物育種学、施設生産学概論、花卉園芸学、果樹園芸学、家畜管理学、蔬菜園芸学、農山村資源利用論、熱帯園芸学、環境保全農業論、植物栄養学、食品流通論</p> <p>■自然環境学領域</p> <p>自然環境学実習、地域生態学、昆虫学、生物環境システム学、魚類生態学、熱帯環境論、動物生態学、施設生産システム学、生物多様性管理学、農業気象学、植物機能科学、農業化学、植物微生物相互作用論</p> <p>■森林科学領域</p> <p>森林生産技術実習、森林マネジメント論、森林資源環境利用学、地理情報システム学、木質成分化学、森林生態学、木材利用学実習、森林経済学、森林土木学、樹木学実習、樹病学、木質材料工学、山地測量設計実習、森林保護学、林産製造学</p> <p>■生産環境管理学領域</p> <p>土壌物理学、環境デザイン、水理学、環境水質学、測量学、地域協働インターンシップ、制水施設工学、土質力学、構造力学、地域環境管理学、食料品質評価学、生産環境管理学、農地環境保全学、食料生産プロセス学</p>	<p>農芸化学概論、植物資源科学、無機化学、微生物学、食品生化学、基礎分析化学、土壌学、基礎有機化学、生物化学、食品化学、植物感染病学、動物生産・繁殖学、土壌環境科学、植物栄養学、有機化学、植物細菌学、動物発生工学、食品分析学、代謝生化学、応用微生物学、微生物生理学、植物生育環境学、農産物利用学、食品保存学、生理活性物質化学、植物微生物相互作用論、栄養化学、微生物遺伝子工学、食品衛生学、土壌微生物生態学、生体高分子化学、生物環境分析学、植物医学概論、フードビジネス概論</p>	<p>■学科共通</p> <p>海洋科学概論、水質学、海洋観光論、海洋基礎生態学、台形形成学、科学英語コミュニケーション</p> <p>■海洋生物生産学コース</p> <p>水産生物学、沿岸環境学、魚類生理学、魚病学、水産物利用学、環境微生物工学、水産化学、水産増殖学、水産遺伝・育種学、魚類防疫学、水産環境学、魚類栄養飼料学、水産物品質管理学、水産資源学、水産食品原料学、水産法規学</p> <p>■海底資源環境学コース</p> <p>海底地形処理、海底資源岩石鉱物学、海洋情報化学、海底資源学、資源探査学特論、流体力学、水圏地球化学、地球年代学、資源分析化学、現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源物性学、地球物質循環学、海底資源地質学</p> <p>■海洋生命科学コース</p> <p>海洋生物生理・生態学、海洋深層水科学、社会栄養学、分子細胞生物学、天然物有機化学、天然物医薬品化学、海洋進化生態学、バイオインフォマティクス、海洋天然物化学、活性発現機構、生物有機化学、機器分析学、医薬関連法規</p>

農林海洋科学部 Faculty of Agriculture and Marine Science

教育理念

山から海までの広範なフィールドを有する高知県のメリットを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成します。農学・海洋科学分野の専門的知識や実践的技術、及び豊かな教養を身につけて、ものごとを広い視野から科学的に捉えることができ、課題発見能力、自律的な問題解決能力、さらには世界に向けての発信能力を備えた人材を育てます。

学びの特色

- 必修の「フィールドサイエンス実習」をはじめとする多くの実験・実習科目を履修でき、経験と実践力を身につけることができます。
- 「基盤科目」、「応用科目」、「発展科目」の区分に分けられた専門科目を、体系的に効率よく学ぶことができます。

求める人材像

- 農学・海洋科学の専門知識を修得するために必要となる高校履修教科の基礎的事項を身につけている人。
- ものごとを客観的に捉えることができ、科学的・論理的に判断することのできる人。
- 農学・海洋科学に強い関心を持ち、意欲的、かつ真摯に学ぶことのできる人。
- 自分の考えを、言葉や図表を適切に用いて正確に伝えることの基礎が身についている人。

農林資源環境科学科 Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences

農的ものづくりと環境との持続的調和を担う

農林資源環境科学科では「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境の共生」、さらにこれらの勉学・研究に必要な「バイオテクノロジー」に興味を持つ学生を広く受け入れ、農学関連分野に関わる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。1年次～2年次前半で農学の基礎を幅広く学び、2年次後半から「暖地農学」「自然環境学」「森林科学」「生産環境管理学」の4領域から主専攻・副専攻を各1領域ずつ選択し、3年次以降は産業や資格に対応した専門性を養います。また、生産環境管理学領域ではJABEE認定のカリキュラムコースが準備され、卒業と同時に技術士補相当の修習技術者の資格が取得できます。



暖地農学領域	自然環境学領域	森林科学領域	生産環境管理学領域
<p>太陽の恵み豊かな高知で農学を学ぶ</p> <p>高知県には、急峻で狭隘な地形の不利を克服するために、温暖多照な気候を活かして、工夫ある農業を営んできた長い歴史があります。農作物の生産技術の開発、高度な環境調節・遺伝的改良など、世界に発信できる農学を高知で学びませんか？</p>	<p>生命と自然の未来地図を描く。</p> <p>様々な問題が複雑に絡み合う地球。これからは、深い専門知識と生態系を地球規模からミクロレベルまで様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。</p>	<p>都市を支え、海を恵む森林の可能性に迫る。</p> <p>森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。</p>	<p>産業・人・自然にとつての「真の豊かさ」を評価する。</p> <p>稲作は、一次産業の場でありながら、流れ込んだ濁水を浄化・排水する自然浄化機能を持っています。農業の生産基盤や人々の生活空間を整備するとともに、それに伴う環境の改変を考えることはとても大切です。森～農地～まち～沿岸域の環境の保全・修復の理念と技術を学びましょう。</p>

+α

自然を体感しながら成長！

農林海洋科学部

「現場主義」掲げる農林海洋科学部において、最もその精神を体現しているのが「フィールドサイエンス実習」です。この授業では、1年生全員が1年をかけて農場、森林、河川、海洋・海底、企業などの現場を回り、様々な経験を重ねていきます。生態系のつながりや産業と自然との共生を学ぶのはもちろん、実際に現場に触れてみることで自分の進みたい分野を見つける学生も多く、4年間の学びの大切な土台となっています。



講義棟に隣接する農場は、東京ドーム4倍もの広さ！果樹園やハウスも体験します。



豊かな自然に感性も磨かれる！海には魚、バイオ、海底資源など幅広いテーマがあります。

化学的視点から生物生産を幅広く探求する

農芸化学科では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得し、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力や構想力を育み、化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。

生物環境化学科目群

汚染土壌の浄化など
土壌環境の保全に
地球規模で取り組む!

「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」など、生物の生命活動を支える土壌環境や土壌-植物系における物質動態に関する基礎知識と、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に学びます。

動植物健康化学科目群

植物・動物・ヒトの健康を守る
安全・安心の実現!

「植物細菌学」、「動物発生工学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」など、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進と、食料生産への応用について幅広く学びます。

微生物化学科目群

微生物は多彩な産業に
大きな可能性を与える
永遠の資源!

「応用微生物学」、「代謝生化学」及び「微生物遺伝子工学」など、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用、微生物機能の食料生産への利用について学びます。



水産・海洋資源の有効利用で新時代を拓く

海洋生物生産学コース・海底資源環境学コース・海洋生命科学コースの3コース制。「海」を知る、「海」を使う、「海」を護る」ことに興味のある学生を広く受け入れ、分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった実践力のある海洋専門人材の育成を目指します。

海洋生物生産学コース

海の恵み、生命の息吹。
ここが黒潮の最前線。

黒潮に洗われる土佐の海。荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。

海底資源環境学コース

太平洋に眠る次世代の資源を、
太平洋を望むココ(高知)で学ぶ。

次世代の産業を担う海底資源——。その開発に向けては、資源の成因論や、回収・利用技術の開発、環境モニタリングなど、要素技術の研究開発が今まさに進行中。
私たちは“過去を知り(資源学)、今を学び(化学利用)、未来を予測する(環境モニタリング)”, そんな人材を育てます。

海洋生命科学コース

海からの贈り物。
海の生き物は薬の宝庫。

海洋と医薬・医療は一見かけ離れたものと思われませんが、海洋生物・微生物から医薬品が開発され治療に用いられているのです。干潟のちっぽけな生き物が、実は宝の山だったりするかも!当コースでは、海洋生物・化学・医薬に関する専門知識と技術の習得及び専門英語教育を通じて、国際社会でも活躍できる海洋生命科学人材の育成を目指します。



農林海洋科学部



亜熱帯から亜寒帯までの植生が分布している高知の山。演習林も広大です。



遺伝子、微生物、食品化学など、企業やラボの現場もしっかりと体験します。



あかうしや昆虫など生き物も農学の大事なテーマ。産業と自然の関係を考えます。



1次産業から6次産業まで視野に入れ、地域や行政との連携にも触れていきます。



01:忌避剤「スズメバチサラバ」スプレータイプの最大有効距離は4メートル。スズメバチの攻撃本能を瞬時に消失させる
02:「スズメバチサラバ」を吹きかけるとスズメバチはパニックを起こし、地面に落ちて攻撃性をなくしてしまう
03:「スズメバチサラバ」スプレータイプ

Pick Up ▶ 研究者

生き物の会話を解読する

農芸化学科 教授／高知大学発ベンチャー 株式会社KINP 社長
金 哲史



私たち人間が言葉や文字を使って互いにコミュニケーションを取るように、多くの昆虫や植物も化学物質でコミュニケーションを取っています。その「化学言語」を翻訳・解明し、農業や身の回りの生活を向上させる研究を行っています。たとえば、スズメバチ類は日本だけで年間20~30人の人を殺す怖ろしい虫ですが、ある種の花の香りが嫌いだということを見つけ、その発見を基に今までにない画期的なスズメバチ忌避剤「スズメバチサラバ」を開発しました。このように自然界にはまだまだ解明されていない「化学言語」が存在します。一緒に翻訳作業して、虫や植物の会話をこっそり聞いてみませんか？そして人を幸せにしませんか？

■卒業論文テーマ例

農林資源環境科学科 暖地農学領域

CO₂施肥がカンキツに及ぼす影響／光線が蘭の器官形成に及ぼす影響／野菜の安定的生産技術の確立／土佐あかうしの持続的生産／イネの環境ストレス回避技術の開発／GHPを活用したハウス内環境制御／ブルーベリー栽培における竹堆肥の利用／農産物の輸出を想定した海外への地産外商

農林資源環境科学科 自然環境学領域

土着天敵クロヒョウタンカスミカメとタバコカスミカメのギルド内捕食について／イネの遺伝資源の利用に関する研究／降水効率及び標準雨量指数を用いた高知市の気候解析／エダナフシとナナフシモドキの系統学的研究／テントウムシにおけるニッチ分割の進化と共存／イネの抵抗性メカニズムの分子生物学的解明

農林資源環境科学科 森林科学領域

路網と流域界による集材可能範囲の設定／紙表面上に調製したファイバー状高分子を活用した光触媒シートの開発／森林所有・管理の現状とこれからの利用について／マレーシア熱帯二次林における植生回復に影響を及ぼす要因に関する研究

農林資源環境科学科 生産環境管理学領域

食品素材に含まれる豚肉成分の非破壊検出法に関する研究／正浸透法によるエネルギー回収型下水処理システムの開発／サウンドスケープに関する調査研究／ADI法を用いた水平2次元モデルによる浦ノ内湾の流動解析／泥炭およびロームの化学成分がセメント硬化体の強度発現特性におよぼす影響／リモートセンシングや地理情報システムを用いた地域環境の解析

農芸化学科

機能性素材ホモキラルポリγグルタミン酸についての研究／基質依存的発現誘導を指標とした未知遺伝子の機能／ブタ卵子の低温障害に関わる低温感受性チャンネル／イミダゾールジペプチドの定量用微生物酵素／黒酵母が乳酸菌の生育に与える効果／非晶質鉄水酸化物吸着剤の特性／植物への鉄供給剤としての人エテロフォア鉄(III)の利用／青枯病菌のクオラムセンシング機構／レプロリン質化に関与するタンパク質／県産作物の抗酸化活性／オガタマを寄主とするミカドアゲハの産卵刺激物質の探求

海洋資源科学科 海洋生物生産学コース

高知県野見湾にて発生した赤潮原因藻の性状検討／養殖カンパチにおけるα溶血性連鎖球菌の新たな問題に関する調査研究／ブリ稚魚における低魚粉飼料への有機ミネラルの添加効果／ウツボ筋肉の食品化学的的特性の把握／日本における魚介類の遺伝的分化とそれら地方品種の生理生態的多様性／海の生物生産を左右する赤潮発生機構・物質循環機構の解明／遺伝子改良技術による有用物質を大量生産する海産珪藻の創生／養殖魚の飼料に対する摂餌行動と消化吸収に関する研究

海洋資源科学科 海底資源環境学コース

セリウム含有層状ポロブスカイト化合物の発見と基礎光学特性／銅置換ポリオキソメタレート錯体の電気化学的酸化還元挙動／紫外分光光度法を用いた硝酸塩の現場分析方法の開発／室戸沖, ODP Leg 190 1174サイトにおける地磁気層序と岩石磁気に関する研究／第四与那国海丘に産出する熱水鉱石の地球化学的特徴／北東太平洋の海山上で採取されたマンガン・ジュールの形成過程／室戸岬付近の定置網における水温変化

海洋資源科学科 海洋生命科学コース

ヨロイソギンチャクの抗酸化成分探求／ヒドリ還元反応における立体選択性発現機構の解明／四国西南部におけるベニクラゲ属Turritopsisの季節的消長に関する研究／底生性渦鞭毛藻Amphidinium sp.の生育環境と遺伝子発現レベルの関係性の研究／虫からのプラスチック分解菌の発見／縮重PCRを用いた海底泥コアからの渦鞭毛藻感染性HCRNAVに近縁なウイルスの探求／生活史の違いによるヨシノボリ類の遺伝的差異

■取得できる資格等

農林資源環境科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)、学芸員、測量士補、樹木医補、森林情報士2級、JABEE認定修習技術者

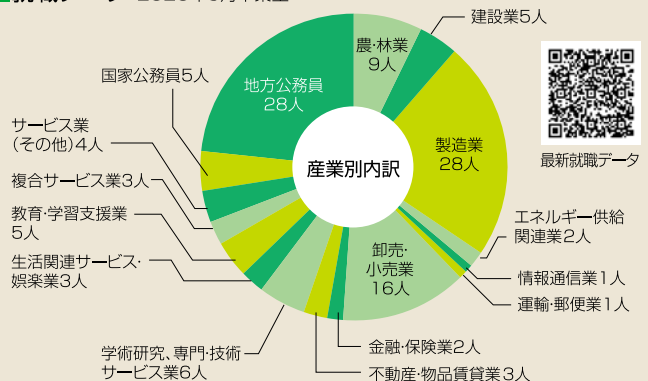
農芸化学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)、学芸員、食品衛生監視員〔任用資格〕、食品衛生管理者〔任用資格〕、環境衛生監視員〔任用資格〕、食品衛生責任者、飼料製造責任者、毒物劇物取扱責任者〔任用資格〕、甲種危険物取扱者〔任用資格〕

海洋資源科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・水産)、学芸員

■就職データ 2020年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声



岩佐 茜 (群馬県立中之条高校出身)

高知県畜産振興課 平成28年度農学部(現 農林海洋科学部)卒業

大学時代はほぼ毎日土佐あかうしの畜舎に通い、ユズの果皮を与えた時の肉質の変化について研究をしていました。現在は、高知県の畜産振興課職員となって3年目。畜舎建設の補助事業、担い手確保、畜産農家の経営を守るためのセーフティネット事業などを担当しています。

高知県は畜産が盛んな土地柄ですが、様々な課題もあり、生産者さんを守り、さらに盛り上げていくためにはまだまだやるべきことがたくさんあります。近い将来、県内に7つある家畜保健衛生所で、実際に生産者さんと関わる仕事をしたいと考えています。

今年、土佐あかうし独自の肉の格付け基準が定められ、生産現場も活気づいています。土佐あかうし本来のおいしさをどう守っていくかが重要であり、大学時代に肉質の改良を目指して行っていた研究手法が、原点回帰として活かせる日が来るかもしれません。

学生の頃は農業高校の教員を志していましたが、ご指導をいただいていた松川和嗣准教授の「募集があるらしいよ」の一言から、畜産技術者の採用試験を受けました。今はとてもやりがいを感じていて、高知県に骨を埋める覚悟です。

今でも時々、お休みの日には
土佐あかうしのお世話をしに
大学に行っています。
かわいくてたまりません!



県外で開催する、Uターン・Iターン相談会「高知暮らしフェア」で、高知県の畜産の魅力を“モウ”アピール!

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

農林資源環境科学科 ※旧暖地農学コース・自然環境学コース・流域環境工学コース・森林科学コース・国際支援学コース

環境省、農林水産省、林野庁、国土交通省北海道開発局、中国四国農政局、静岡県庁、滋賀県庁、三重県庁、兵庫県庁、広島県庁、香川県庁、徳島県庁、宇治市役所、小豆島役場、砥部町役場、静岡県警察

アグリ元気岡山、井上誠耕園、イノチオ精興園、衛生センター、エム・シーネットワークスジャパン、香川県農業協同組合、カミナガ、北島組、京都府土地改良事業団体連合会、倉敷商工会議所、クリーク・アンド・リバー社、栗田工業、小泉製麻、構営技術コンサルタント、COOPえひめ、小松印刷、サンスイコンサルタント、山陽薬品、JA/バンク徳島、四国総合研究所、清水産業、スリーエヌ技術コンサルタント、大仙、大地企画、日化エンジニアリング、日本カーバイド工業、ブライトキャスト、ホクト、マルハチ、水資源機構、ミライトテクノロジーズ、山崎製パン、ヤンマーアグリジャパン、類農園、ワタリ

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、富山大学大学院、神戸大学大学院、兵庫県立大学大学院、岡山大学大学院、九州大学大学院

農芸化学科 ※旧生命化学コース、食料科学コース

高知県庁、静岡県庁、徳島県庁、宮崎県庁、広島県警察、京都市(中学校教員)

アイランド食品、オオシス、沖縄明治乳業、片倉コープアグリ、京織、小松屋、JAしまね、四国銀行、シジシージャパン、富田製菓、長野県農協直販、阪神サンヨーホールディングス、明星産商、ヤナセ、山崎製パン、ヤマダ電機、ユーシーシーフーズ、米久、楽天農業

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、筑波大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、島根大学大学院、九州大学大学院

海洋資源科学科 ※旧海洋生物生産学コース、理学部応用化学コース、地球科学コース

高知県庁、愛媛県庁、伊万里市役所、若狭町三方庁舎、愛知県警察、高知市立朝倉中学校

アキタフーズ、アトックス、アミーゴ、アワーズ、エクストリンク、オオスミ、海遊館、カチタス、キャンンメディカルシステムズ、コスモス薬品、四国高速運輸、四国水族館開発、大藤つり具、WDBエウレカ社、千代田システムテクノロジーズ、東京パワーテクノロジー、堂本食品、東洋冷蔵、徳島日産自動車、西野金陵、ノースイ、はごろもフーズ、日立造船、フィッシングマックス、福山製紙、三菱地所プロパティマネジメント

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京海洋大学大学院、筑波大学大学院、総合研究大学院大学

地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる

地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

学科・コース

地域協働学科

アドミッションポリシー

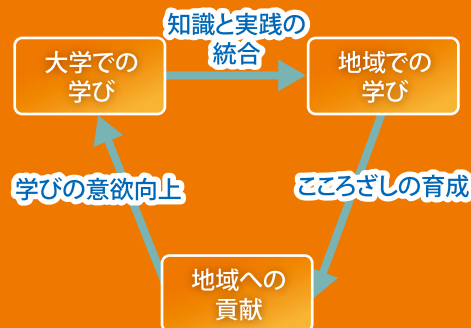
地域協働学部は、地域理解力、企画立案力、協働実践力という3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様に複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出でき、卒業後即戦力として活躍できる「地域協働型産業人材（6次産業化人、地域協働リーダー）」を養成します。

地域協働学部での成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践します。

地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。

大学と地域の協働 (Collaboration)



▶ 地域協働学科1年生の第2学期の時間割例

	月	火	水	木	金	集中等
1時限	地域組織論		企画立案事業計画基礎演習	地域産業経済論		ファミリーセッション演習 社会調査データ分析 地域協働チャレンジ演習Ⅱ
2時限	学問基礎論			大学英語入門		
3時限	大学英語入門	はじめてのマーケティング			地域理解実習	
4時限		非営利法人経営論入門		質的調査法		
5時限				地域協働研究Ⅰ		

▶ 地域協働学部ホームページ
<http://www.kochi-u.ac.jp/rc/>

▶ 先輩からのメッセージ



先輩にきく Message from Student

たくさんの出会いがある!

伊東 茉由 地域協働学部4年(静岡県立韮山高校出身)

地元の静岡と高知は気候や食べ物が似ていて過ごしやすく、一人暮らしも快適。「自分に合っている!」と思います。せっかく高知に来たので、「よさこい祭り」にも「高知龍馬マラソン」にも参加し、大学生活を楽しんでいます。

地域協働学部では、1年生の時に県内を回って自分が協働するフィールドを決め、2年・3年とその地域に通って実習を行います。私は県西部の黒潮町佐賀北部で、お年寄りの知恵や工夫、貴重な経験を次の世代に伝えられるつながりづくりをテーマに活動を行いました。目に見える形はなくても、「自分たちがいなくなっても地域に残るもの」が目指す成果です。

また他にも、室戸を元気にする一般社団法人の活動に参加したり、高知と同じような課題を抱える島根や鳥取にも足を運んだりしました。学内外で様々な人と出会ったことで、自分の中にものさしのようなものができ始めたように思います。



黒潮町での実習の様子

地域協働学部は、一見「何をしているかわからない」学部です。けれども、学びたいければ何をしても許される、無限の可能性があります。私は、2年生の時に3週間の「イタリア短期留学プログラム」に参加し、語学力の低さを痛感しました。そこで3年生修了後に1年間休学し、留学することを決めました。言葉や文化を学びながら、ヨーロッパにもコミュニティを広げてきます!

知らないコミュニティに入って、初めての人と仲良くなるのが得意になりました



教員にきく Message from Assistant Professor

自分の枠を壊し、世界を広げよう

佐藤 洋子 講師

「地域協働って何ですか?」と聞かれると、私はいつもどう答えようか迷います。それは、「地域ってこうだよ」「協働ってこれだよ」と決めつけるのではなく、皆さんが自分でそれを考え、創ってほしいからです。そもそも大学の学びは、正しい答えがひとつあるというようなものではありません。世の中には様々な人がいます。「地域協働」にも、それぞれの立場から見たいろんな答えがあるはずです。

本学部の実習では、サービスマーケティングや調査を通して地域の課題を見つけ、その課題を解決するための企画やプロジェクトを立案し、地域の人と一緒にそれを動かしていきます。その時、自分なりの問題意識が必要ですが、必ずしも最初から明確に持っているわけではないので、地域に入って一緒にそれを探していきます。どうせなら、そこで今までの自分の枠組みを一回ガツンと壊されるくらいの出会いを得てほしい。新しい世界が見えるはずです。そのうえで何か新しいものを創る、そんな学びをここで体験してほしいと思っています。

カリキュラム例

地域協働学科

- 講義科目 地域協働論、地域組織論、地域産業経済論、地域社会学概論、社会調査論、社会調査方法論、組織学習論、地域計画論、非営利組織マネジメント論、経営組織論、地域資源管理論、行財政論、会計学概論、社会教育論、行政実務講座、金融・税務実務講座、地域協働マネジメント特別講義、経営学、デザイン論、フードビジネス論、農業振興論、六次産業化論、里山管理論、地域産業政策論、国際ビジネス展開論、地域産業連関論、中心市街地活性化論、産学官民連携論、アントレプレナーシップ論、コンテンツマーケティング論、地域産業特別講義、生涯学習論、環境社会学、スポーツ社会学、地域健康スポーツ振興論、地域福祉論、コミュニティデザイン論、地域防災論、比較地域社会論、労働・生活とジェンダー、ソーシャルキャピタル論、非営利組織論、環境文化論、地域生活特別講義
- 演習科目 企画立案事業計画基礎演習、プロジェクトマネジメント演習、サービスデザイン基礎演習、非営利組織経営基礎演習、ファシリテーション演習、チームビルディング演習、地域協働チャレンジ演習、地域協働研究、地域協働実践・卒業研究、外国語特別演習、海外特別演習
- 実習科目 地域理解実習、地域協働企画立案実習、地域協働事業計画実習、地域協働マネジメント実習

地域協働学科 Department of Regional Collaboration

うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な協働を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な学外実習に加えて、実習の振り返りと実習に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。



目指す人材像

地域協働マネジメントに必要な3つの力(地域理解力、企画立案力、協働実践力)を身につけた「地域協働型産業人材」を育てます。



人材育成プロセス

学年ごとの積み上げ型の教育プログラムで「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。学年末の学習成果報告会では、企業経営者、社会起業家、NPO職員など社会や地域の第一線で活躍する人たちのアドバイスをもらいながら、1年間の学習成果を整理します。



1年生

目標 地域理解力を身につける

第1学期

課題探求実践セミナー

新生が「高知」にはじめてふれる場。高知のうみ・やま・むら・まちで何が起きているのか、地域の人たちは何を考えどのように行動しているのかを知り、地域に向き合う作法を身につけます。

第2学期

地域理解実習

地域の活動の手伝いやヒアリングを通じて、地域の特性や課題を理解します。「地域理解力」の基礎を固めます。

2年生

目標 企画立案力を身につける

第1学期

地域協働企画立案実習

地域課題を探し出し、地域資源を活かした企画をつくる実習を行います。「地域理解力」を身につけるとともに、アイデアを発想し形にするすることで、「企画立案力」の基礎を固めます。

第2学期

地域協働事業計画実習

地域資源の商品化に向けた事業計画づくりのプロジェクトを実施します。商品開発する力、事業を計画する力を育て、「企画立案力」を発展させます。

3年生

目標 協働実践力を身につける

第1学期

地域協働マネジメント実習Ⅰ

2年生までに身につけた能力や知識・技法を活かして事業計画を実施し、その点検評価を行います。やり抜く力とリーダーシップを育て、「協働実践力」の基礎を固めます。また活動を客観的に評価する力を固めます。

第2学期

地域協働マネジメント実習Ⅱ

実践した事業の結果を地域の人と一緒に評価して改善策をつくるワークショップを実施します。ファシリテーション力や合意形成する力など、地域を巻き込んで活動するための「協働実践力」を身につけます。

地域協働研究Ⅲ

4年生

目標 地域協働マネジメント力の統合・深化

地域協働実践・卒業研究

4年間の学びを統合し、地域協働の実践経験や実践事例を理論化します。これをもとに、卒業後「地域を変える新しいリーダー」としてどのように地域に関わるのか、将来展望を描きます。

学習成果報告会

卒業研究発表会

授業例

キャンパスの外で地域の実情を探る — 課題探求実践セミナー (第1学期)・地域理解実習 (第2学期)

1年生の第1学期に、グループに分かれて、高知県内の複数の地域を訪問します。訪問先では、地域の行事の手伝いなど、様々なサービスラーニングを行うなかで、地域の実情を把握します。第2学期から始まる地域理解実習では、第1学期に訪れた地域から1つの地域を選んで、その地域に深く関わっていきます。

学内実習(事前学習)

- 訪問先地域の下調べ
- 地域の実情の仮説の設定

学外実習

- サービスラーニング
- 地域の観察、地域住民とのコミュニケーション
- 地域の実情把握

学内実習(事後学習)

- 事前学習で立てた仮説の検証
- 実習の振り返りと改善点の共有



キャンパスの中での知の統合 — 地域協働研究 (I・II・III)

授業では、少人数グループでのディスカッションを通じて、実習授業で活動を行ったフィールドの経済・産業構造、生活・社会環境、各種活動に関わる団体や組織(地域主体)の特性などの分析を行い、地域が抱える課題の本質的な原因や構造を理解します。また、その成果を論文としてまとめるための能力を養います。

▶ 卒業後の想定される進路

6次産業化人

農林水産分野の地域資源を活かして起業する人材

農林漁業ベンチャーの起業、フードサービスの起業、地域資源活用ビジネス(グリーンツーリズム、飲食業、観光業、小売業)の起業、農業生産法人等の起業、6次産業化コンサルタント

産業の地域協働リーダー

地域の多様な資源(人・モノ・組織)を活かし、協働をコーディネートして事業を創る人材

地場産業(伝統産業)、食品加工・流通企業、金融機関、広告代理店、デザイン会社、観光関連企業、都市開発関連会社、まちづくり会社、ソーシャルビジネス・地域ビジネス企業

行政の地域協働リーダー

住民、企業と協働して、地域の課題解決に向けた政策形成をコーディネートできる行政職員等の人材

地方自治体、国の行政機関、独立行政法人、国際機関、農林漁業団体、商工団体、研究機関

生活・文化の地域協働リーダー

住民、企業、行政と協働して、地域の生活・文化を支える事業をプロデュースする人材

コミュニティデザイナー、ソーシャルデザイナー、マスコミ、福祉関連法人・企業、コンサルタント会社、まちづくりNPOの起業、地域おこし協力隊、文化スポーツ振興団体

+α 社会人師匠講座 ～各分野の第一線で活躍する人物を講師として招聘～

地域協働学部

社会人師匠講座は、地域協働教育推進会議が主催し、地域協働学部の学生をはじめ学内外にも公開されている講座です。

地域協働教育推進会議とは、「地域力を学生の学びと成長に活かし、学生力を地域の再生と発展に活かす」という地域協働学部の理念に賛同くださった方や企業で構成される組織で、本学部の「応援団」的な存在です。会員の方や企業と学生とが交流する場や、学生の学びを支援し助言する場を、定期的に設けてくださっています。

各界のフロントランナーと学生がセッション

大石 達良 教授

2019年度の社会人師匠講座は、お二人の師匠をお招きしてお話を伺いました。

第1回目は、NPO法人Homedoorの理事・事務局長の松本浩美さんに「大学生で社会起業家になった理由」をテーマにお話しいただきました。ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくることを目標に活動してきた松本さんは、これまでの取り組みを踏まえて学生たちに「ホームレスを怖いと思うのではなく、1対1で一人の人として接することの重要性」や「自分で限界を設けないこと」「誰もやったことがないから価値がある」などのことを伝えてくださいました。

第2回目は、株式会社井上建築代表取締役の井上将太さんに「大学生生活を駆け抜ける」をテーマにお話しいただきました。高知大学で過ごした学生時代から木造建築に興味のある大学生や若手設計士を対象にした企画を運営し、卒業後に大手の木材商社を経て、現在は高知の実家の建築会社を継いだ井上さんは、自分の経験を踏まえて学生たちに「大学時代には、自分のためだけでなく、興味のベクトルを外に向けて、多くの良き人に出会うこと・テーマのある旅をすること・仲間を巻き込むこと」の大切さを話してくださいました。



学生に語りかける松本浩美さん



グループでの話し合いの席を回る井上将太さん

Pick Up ▶ 授業

地域で実践するために「見る」

地域社会学概論

教授 玉里 恵美子

地域協働学部では、学生が高知県の課題解決に向けて、様々な人びとと協働実践をする「実習」があります。学生は地域へ飛び出し、課題を見つけ、人びとを巻き込み、共通の目的に向かって試行錯誤し、地域協働マネジメントの力をつけていきます。このような、一連の実践を支えるのは、社会、すなわち地域への深い理解に他なりません。「地域社会学概論」では、イェムラ論といった古典的な社会学の概念や知識を習得するだけでなく、高度経済成長期以降、地方が抱えてきた高齢化や過疎化に伴う諸問題についても検討するとともに、課題解決に向けた住民主体の新しい取り組みについても紹介していきます。この授業を通じて、社会学の扉を開けるとともに、地域で協働実践をすすめるために、地域をどのように「見る」ことができるのか、一緒に考えていきましょう。



01:講義科目も実習科目も大切です 02:ワークシートで知識の定着を図ります 03:教員と学生の距離が近いです 04:グループワークを通じて学びます

卒業論文テーマ例

地域協働学科

6次産業化: B級グルメと地域のつながりー愛媛県今治市の事例からー/日曜市の活性化に関する研究ー想いを繋ぐ場の提案ー/駅弁が持つ地域への集客力を高めるための戦略ーフードツーリズムの観点を用いた分析ー/捕獲野生鳥獣の利活用における現状と課題ー高知・鳥取・兵庫県の処理加工施設の事例からー/地域資源を利用した観光の地域における役割ー高知県黒潮町における体験イベントの事例から

産業: 持続可能なコンビニエンスストアへの進化実現要因の抽出ー労働者の多様性に着目してー/スポーツの発展からみるeスポーツの現状ー競技性とエンターテインメント性からー/高質な承認欲求充足における個人経営店の存在価値ー交流型サブプレミス機能活用からのアプローチー/道の駅のトイレへの広告設置による消費者行動への影響に関する研究ー道の駅大杉を例にー/商店街活性化の事例からみる商店街の課題/地域へ足を運ぶ動機付けー読解きでの集客を長期的にするためにー/鳥取県に外国人観光客が増えた要因と課題点ー中山間地域活性化の起爆剤に訪日観光客をー/地方港におけるインバウンド対応と各港の取り組みについて/地域経済循環から考える地域経済の活性化ー高知県黒潮郡黒潮町での事例研究を基にしてー/地域情報発信におけるファッション分野の可能性に関する一考察ー「はにや」と「井原市デニム」を例にー/スポーツ・ツーリズムがもたらす社会的効果の検証ー住民の活動促進機能に着目してー

行政: 地域人材の評価基準で偶発性を考慮する必要性ー計画的偶発性理論の視点を踏まえてー/地域おこし協力隊の定着要因ー高知県を事例としてー/外部学生としての地域への関わり方ー「活動理論」を軸とした行動方法の考察ー/協働の促進についての研究/地域振興からみた鈴鹿でのF1開催における経済効果の改善方法/「U」・「J」・「ターナー」の役割と可能性ー土佐町移住者の地域との関わり方に着目してー/地方都市における公共空間の役割ー高知市と姪路市の公園・広場の事例を踏まえて/地域住民活動における「気分的コスト」の存在についてー集落活動センターを事例にしてー/集落

活動センターの批判的検証ー持続可能な地域社会の構築に向けてー/高知県における移住支援策の変化と課題ー地方移住の広まりと移住対策における地域別の対応に着目してー/地域協働マネジメントによる福祉コミュニティづくりー高知県の町屋友・奥名地区を事例にしてー/医療費削減から見た高齢者サロンに関する一考察ー南国市福祉ふれあいサロンを事例としてー/行政及び自主防災組織へのヒアリングを基にした津波防災の展望ー高知県須崎市・高知市を事例としてー

生活文化: 日本地域社会における今後の美術鑑賞教育ードイツ美術教育現場の事例をもとに考察するー/イベントにおける協働学習の仕組みと方法ーとさつ子タウン、学習成果報告会を事例にー/対話的環境におけるメタ的な動作の可能性について/自己意識と他者意識の継続的相互関係による社会的自己形成の可能性ー高齢者施設で行われている化粧の取り組みの事例からー/デザイン思考におけるLEGO® SERIOUS PLAY®の創造的支援の可能性ー共創プロセスで生じる学習効果の一考察ー/大学と地域ー大学で学ぶ社会人学生とシニア世代ー/「学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的・効果的な推進」に関する一考察ー稲生小学校と伊野南小・中学校の事例をもとにー/ GRIT を伸ばす方法とメンタリング機能の関係性ー心理・社会的機能がもたらす GRIT への影響ー/旧被差別部落出身の若者の部落民アイデンティティ醸成の要因ーアイデンティティ醸成における解放子供会の役割ー/地域ブランディングにおけるロゴの重要性/療養環境改善に関する一考察ーホスピタルアートに着目してー/阿波人形浄瑠璃が継続していくためにー阿波人形浄瑠璃を取り巻く人々から考えるー/黒潮町佐賀地域における「カケノイヨ」実践/ Clover 吾北のアクションプラン/余暇活動が中山間地域の高齢者の主観的幸福感に及ぼす影響ー黒潮町佐賀北部地区の事例からー/災害時における避難所生活の課題と対策ー女性視点の重要性ー/自然災害における僻地の短期的孤立に関する分析ー高知県を対象とした実践研究ー

学部指定奨学金制度

公益財団法人東京海上各務記念財団から、本学部指定で国内奨学金の給付

本学部指定(高知大学は地域協働学部のみ)で、2016年4月から毎年度、第2学年に在学する学生1名が月額4万5千円(給付につき返済は不要)を、正規の最短修業年限の終期まで支給(同財団の海外留学支援制度を利用した場合に例外あり)されることになっています。2020年度も同様に募集要項がきており、第2学年に上記の奨学金が給付される予定です。

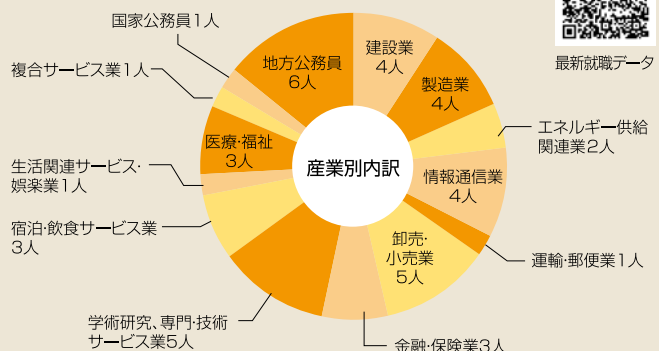
同国内奨学金給付の本学以外指定大学は、東北大学、東京大学、東京工業大学、東京外語大学、一橋大学、筑波大学、筑波技術大学、京都大学、名古屋大学、慶応義塾大学、早稲田大学、中央大学、上智大学等と極めて限られた大学となっています。

公益財団法人東京海上各務記念財団のHP (<http://www.kagami-for.jp/>)

取得できる資格等

社会調査士
社会教育主事、社会教育士 ※取得には一定の実務経験等の要件を満たす必要あり。

就職データ 2020年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声



榊原 桃伽 (鹿児島県 私立出水中央高校出身)
株式会社アーキエムズ 令和元年度卒業

私は小中学校時代を小さな学校で過ごし、地元はとても居心地のよい場所でした。「地域について考える」という着眼点に惹かれ、高知大学地域協働学部に行ってきました。

大学での授業が始まり、実際に実習地に入って課題を見つけることや計画をして動くこと、そしてそれを振り返ることは、とても大変な作業でした。しかしそのおかげで、仕事でも社会でも通用する実践的な考え方を身につけることができました。

3年生から、デザイン研究室でグラフィックデザインの研究を行い、考えや情報を視覚的に伝えることを学んできました。教育学部の先生方を中心に執筆された書籍『子どもとアートを地域でつなぐ』の装幀と、高知市鴨部の郡頭神社の祭礼を記録した冊子『地域の絆 — 芝居絵屏風』のデザインを手掛ける機会にも恵まれました。

また、大学4年間でたくさん一人旅をして、いろいろなまちを訪れました。その中で好きだと感じたまち、京都に3ヶ月間住んで就活をした結果、不動産の建築・運営を通じて京都のまちづくりに貢献する会社に内定しました。地元・京都の社員が多い中で、新しい風を吹かせられたらと思っています。

就職はゴールではなく、スタート。
制作活動も続けながら、
新しいことに謙虚な気持ちで
挑戦したいです



デザインを手掛けた本



尾崎 智彩 (高知県立清水高校出身)
土佐清水市役所 令和元年度卒業

私の住んでいた土佐清水市の宗呂地区では、人口減少に伴って小学校が廃校となり、地域が元気をなくしていました。そんな時、高知大学に地域協働学部ができることを知り、「これだ!」と思いました。

2年生では、大学生でしかできない活動をしたいと思い、大学のコラボレーション・サポート・パークが行う、「えんむすび隊」の活動に参加しました。ゆずの収穫やこいのぼりの川渡しなどを体験し、地域のみなさんと膝を交えて話をした経験が、高知県を俯瞰的に見るきっかけになりました。

私は身内に公務員が多く、中学生の頃からなんとなく進路の方向性が見えていましたが、大学で地域課題と向き合ううちに、「この経験を土佐清水に持ち帰ろう」と気持ちが固まりました。公務員は、地域のリーダーであるとともに、住民や企業のサポーターであるべきだと思います。地域を理解し、地域課題に寄り添いながら暮らしや仕事を支援する。その気持ちを忘れずにいたいと思います。

土佐清水市は、時間がゆっくりと流れていて、資源も豊富な所です。土佐清水だけの良さをたくさん見つけ、発信していきたいと思っています。

地域協働学部では、
1年生から研究論文を書きます。
おかげで考えをまとめ、
文章にする力が身につきました



四十十町十川地区で、地域の方々とともに毎年恒例のこいのぼりを川にかけている様子

地域協働学部

■卒業後の進路 (企業名は五十音順です)

国土交通省四国整備局、愛媛県庁、高知県庁、井原市役所、土佐清水市役所、地域医療機能推進機構
アーキエムズ、アース製薬、井上石灰工業、岡本、川重商事、関西ビジネスインフォメーション、山陰合同銀行、JR西日本コミュニケーションズ、四国電力、シスココンサルティング、ソウルドアウト、第一コンサルタンツ、太平洋セメント、中外テクノス、TOW、レポート、土佐料理 司、名古屋鉄道、西日本高速道路エンジニアリング四国、日本生命保険、ネットヨタ南国、ハートネットワーク、浜車、ビッグモーター、広島ガス、福祉心話会、星野リゾート、ほっとこうち、明治図書出版、メルセデス・ベンツ日本、モンベル、大和信用金庫、レジェンダコーポレーション

▶大学院進学先 高知大学大学院



高度な学びと研究を支える基盤として、最先端の設備・装置を配した施設と利用体制を整えています。学生はこれらの環境を自由に駆使して、自分のやりたい学びや研究を進めることができます。



海洋コア総合研究センター

▶ 物部キャンパス

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年からJAMSTEC(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画[2013年10月～国際深海科学掘削計画](IODP)における世界三大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定され、2016年1月には、第2期(平成28年度～令和3年度)の拠点認定を受け、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究の推進を図ることとしています。



最先端の地球科学分析装置と豊富な海底コア試料を用いた教育研究を行っています。



海洋コア総合研究センターは、高知大学と国の研究機関(海洋研究開発機構)が共同運用する世界屈指の地球科学分野の研究所です。

Voice 学生の声

泉 孟

総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻地球科学分野2年
和歌山県立田辺高校出身

南極海のご環境を復元する研究を行っています。南極海は全球気候変動を駆動していると考えられており、南極海の過去の様子を知ることは地球の将来を予測する上で極めて重要です。しかし南極海では従来の古環境復元手法が通用せず、データの空白域になっていました。そこで私たちは新たな分析メソッドを開発し、南極海の海洋コアに応用することで、過去の海水温を復元することに成功しました。研究に用いる試料は実際に研究船に乗り込み、現場から採取してきます。コアセンターをフル活用して新しい研究やりましょう!



南極海調査にて。本物を経験すると世界が変わります。



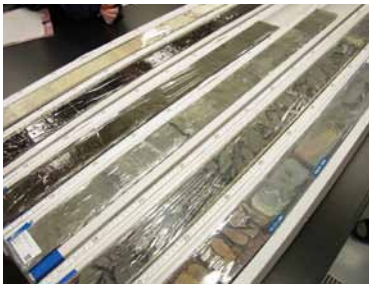
地球科学の視点から

column



今、「資源」がキーワードに

海洋コア総合研究センターのもう一つのキーワードは「資源」です。そこには、研究材料としての海底の堆積物から、レアメタルをはじめとする海底資源、未知の海洋生物やその遺伝資源まで幅広い分野が含まれています。持続可能な未来社会に欠かせないこれらの研究に、高知大学の恵まれた環境で取り組んでみませんか？



海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。

世界の海を研究できる！

池原 実 教授

高知大学海洋コア総合研究センター 専門分野：古海洋学、有機地球化学

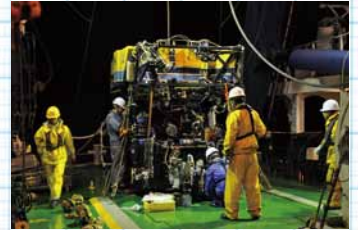
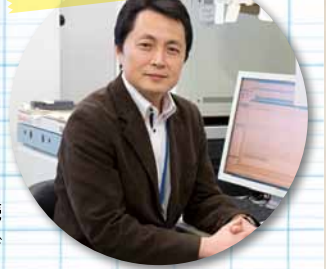
地球の歴史を紐解く

海底の堆積物には、過去から現在までの海洋や気候の変化の痕跡が連続的に記録されています。それを分析・復元し、将来の環境変化の予測につなげるのがこの分野の大きな目的。日常とは全く違う時間・空間スケールで、世界をまたにかけた研究が行われています。

学生も研究船に乗って世界の海へ

高知大学の学生も、当センターが保管する世界の海底コア試料や最新設備を利用して研究を行ったり、海洋調査実習船に乗って世界の海に調査航海に出たりすることができます。必要なのは、積極性と熱意！興味がある人はぜひ、関連する授業を受講してみてください。

Voice 教員の声



研究紹介 白鳳丸の挑戦！

2016年11月11日から11月28日の18日間、北西太平洋において学術研究船「白鳳丸」による航海(国際共同研究)が行われ、本学からも多くの学生が研究者の一員として参加しました。航海中は、複数地点から海洋コアを新たに採取。約2万年前の最終氷期以降の黒潮と深層水循環の変動を復元し、東アジアの気候変動との関係の解明に取り組みました。



高知大学からは学部生や大学院生も参加。



現場を経験することが、何より大きな学びになる。

research!



生化学の視点から

海底下の巨大生命圏に迫る！

若松 泰介 講師 農林海洋学部農芸化学科 専門分野：生化学、蛋白質科学

海底下の遺伝資源を探索

地球表層には10の30乗もの微生物が生息していますが、実は地球の深部である海底下にも、それに匹敵する10の29乗の微生物が存在しています。しかしその85%以上は、未だ遺伝子の機能が解明されていない、未知の資源。JAMSTECと連携し、海底コアや研究設備を最大限に活用することで、この海底下微生物の遺伝資源の解明に取り組んでいます。



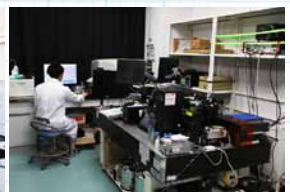
Voice 教員の声

研究紹介 機能性遺伝子の網羅的探索

我々の研究室では、海底コアからメタゲノムを抽出し、基質誘導を指標とした新手法を用いて機能性遺伝子の網羅的探索を行っています。これは、現象からその構造を読み解く「生命版・リバースエンジニアリング(逆行工学)」。高度な設備を必要としますが、JAMSTECと共同運営する海洋コア総合研究センターを活用し、実現しました。高知大学では、院生だけでなく学部生からこのような先端研究に関われます。



地上の微生物の混入を防ぐ「スーパークリーンルーム」



1秒間に7万種の微生物を見分けられる「セルソーター」

学びの環境

海洋生物研究教育施設 ▶ 高知県土佐市宇佐

当施設は、黒潮分岐流・仁淀川河口汽水域・リアス式内湾およびサンゴ群落の多様な環境に囲まれ、海洋生物学および水産科学に関する広い分野の研究を行っています。

研究・実習用設備、海洋観測機器類(水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速)、海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねづちゅーん」(5t)、「はまゆう」(2t)および船外機船を所有し、フィールド調査、飼育実験および臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。



研究試料となる海洋生物の幼魚を飼育している水槽



Voice 学生の声



上村 海斗

総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻 1年
高知県立高知小津高校出身

海洋生物研究教育施設(土佐市宇佐町井尻)は海岸まで徒歩数分の場所にあり、調査機材や設備も充実し、研究をする上でとても整った環境です。フィールド調査では実際に海に出船し、海洋環境(水温、塩分、クロロフィル、流向・流速など)の調査や、ネットを用いた海洋生物の採集など、とても貴重な経験ができます。

私は現在、土佐湾に生息する浮遊性甲殻類の分布について研究しており、調査を重ねるごとに新たな発見や疑問が生まれ、自分の研究にやりがいを感じています。また、施設には様々な研究をしている学生がおり、彼らと切磋琢磨し、お互いに刺激を受けながら日々学んでいます。海洋生物に興味がある、海に関する研究がしたい方には是非お勧めの場所です。

研究紹介

温暖化は、必ずしも年々進んでいるとは言えない?!

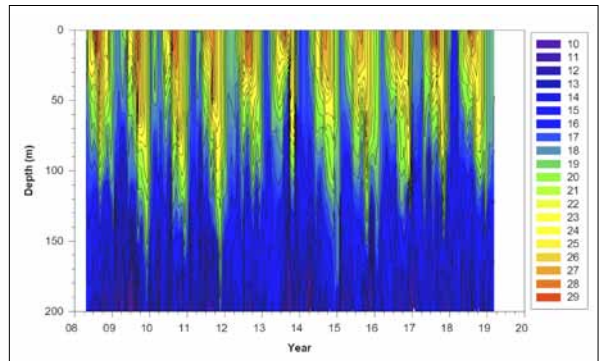
海洋生物研究教育施設では、毎月、陸棚縁辺(水深200m)での海洋観測を行っており、これまで10年間の観測データを蓄積してきました。

その数値をグラフ化すると、冬季での冷水期と暖水期は3~4年のインターバルで起こっており、温暖化が必ずしも年々進んでいないことがよくわかります。

また、中深層からの湧昇(10℃前後の水塊)が頻繁に起きており、このことが土佐湾の豊富な生物生産を支えているかもしれません。



豊旗丸からのCTDマルチ・ウォーター・サンブローによる海洋観測の様子



毎月10年間続けて得られた水温鉛直分布の年変動

理工学部附属水熱化学実験所 ▶ 朝倉キャンパス

1100℃・1気圧よりも高温・高圧の水が関与する水熱反応について専門的に研究する世界でも希な施設です。この水熱反応を利用して、機能性セラミックス材料やナノ材料、触媒材料に関する研究を行っています。特に、国際交流協定を結んでいる中国やタイ王国の多くの大学と国際共同研究を活発に行っています。また、理工学部化学生命理工学科等の学生が卒業論文や修士論文を作成するために研究の場を提供しています。

研究紹介

水熱化学実験所のここがスゴイ

酸化物などの無機材料は一般に1000℃以上の高温で合成されますが、水熱合成法を用いると、合成温度を数百℃にまで一気に下げることが可能になります。たとえば、高い誘電率をもつことからセラミックコンデンサなどの誘電体材料として広く使用されているチタン酸バリウムBaTiO₃を通常の固相反応法で合成するにはおよそ1300℃が必要ですが、オートクレーブと呼ばれる反応容器を用いた水熱法では200℃程度で合成できるようになり、エネルギー消費が極めて少なく、地球にやさしい方法を実現できます。



オートクレーブ

research!



水熱反応の準備、生成物の分離、洗浄などの作業を行います。

Voice 学生の声



寇領江

総合人間自然科学研究科博士課程応用自然科学専攻特別研究学生
中国出身

私の研究は、主に水熱合成法によりリチウムイオン電池の正極材料を作製することです。電気自動車とハイブリッド車の発展につれて、現在の電池はもう市場の要求を満足できなくなっており、高性能なリチウムイオン電池の需要が高まっています。電気自動車にとって、より長い走行距離、より短い充電時間、そしてより安い価格が必要です。正極材料は電池全体のコストの40%近くを占めており、正極材料は電池の発展を制約する重要な要素となっています。水熱化学実験所の先進的な水熱合成設備、試験分析設備は私の研究課題に適しています。ここで研究することで、より良い電極材料を作ることができると思っています。



研究に使用する装置、透過型電子顕微鏡

理工学部附属高知地震観測所 ▶ 朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球内部構造、地殻変動等の研究を行っています。



地震動観測の一例(左上)、地殻変動観測の準備(右上)、地震動波形解析の様子(右下)

四国内8ヶ所に定常地震観測点を展開するとともに、気象庁や他大学、他機関の地震波形記録もリアルタイムで収録しています。併せて、高知県内の地震災害に関する資料の収集、場所と期間を限定した機動観測を随時実施しています。学生の実験実習や四国内の地震観測研究の拠点として使用されます。

Voice 学生の声

黒木 啓介

理学部応用理学科災害科学コース(2017年度卒業)
宮崎県立妻高校出身

私は、2016年の4月に発生した熊本地震をターゲットとして、トリガーの解明を行っています。トリガーとは、地震の「引き金」のことを示し、なぜその場所で発生したのかや、地下でどのような応力がかわっていたのかを明らかにする研究です。本研究により地震のトリガーを解明することができれば、地震の発生予測にも繋げることができると考えられます。本震、前震共に400点程の観測点より得られた地震動波形を読み取り、熊本県の地下での応力の加わりを解明しています。今後の同地域における減災に役立てるために研究を進めています。



research!



総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門からなり、
①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、
②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携の2つの機能を担っています。

- 海洋部門：海洋生物研究教育施設 (55ページ参照)
- 生命・機能物質部門：遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設

遺伝子実験施設 ▶ 物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。



実験実習機器施設 ▶ 岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、情報科学系の各系に、それぞれの研究分野で必要な共通利用機器が完備されています。共通利用機器の使用指導、実験技術の指導、受託解析等を通じて高知大学を中心とした県内の生命科学関連研究の遂行をサポートしています。



動物実験施設 ▶ 岡豊キャンパス

科学的かつ倫理面に配慮した動物実験を適正に実施するための施設です。実験動物の基礎知識や動物福祉・生命倫理に関する教育、動物実験手技の指導、そして研究支援を通じて、生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



オアシス

自律学習支援センター(OASIS) ▶ 朝倉キャンパス

Open-Access Center for Self-regulated Independent Study

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

▶ 自習コーナー

メディアの森と並んで利用度の高い学習スペースです。センター内は無線LANが整備されています。語学学習用のCDプレイヤーを使って、発音練習などもできます。映画のDVDやDVDプレイヤーも多数あり、常時視聴が可能で。

interesting & useful!



自習コーナー

▶ マルチメディア教室

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、授業、IELTS対策講座やグループ学習などにも利用されています。



マルチメディア教室

▶ 個別学習室・ペア学習コーナー

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数での学習で利用できます。

語学教材は10,000点以上!

IELTS、TOEFL、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌、英字新聞などがそろっています。



活用しよう

語学学習の教材を備えた「OASIS」では、TOEICやIELTS対策講座のほか、日本人学生と留学生の交流活動を支援しています。

▶ パートナーシッププログラム

外国語を学びたい日本人学生、日本語の上達を目指す留学生との間で行われている交流活動がパートナーシッププログラムです。英語⇄日本語、中国語⇄日本語など、自分の学びたい言語を話す留学生とペアになって互いの言葉を教え合います。会話が上達するにつれて、より深い考えや意見を交換することができるようになります。



▶ 学生の自発的な活動をサポート

語学に関する企画をサポートします。過去には、英語で異文化交流を行う英会話クラブや、短期のTOEIC対策講座を開催しました。まずは、お気軽にご相談ください。



次世代地域創造センター

目指すのは、地域の多様な主体がお互いの価値観や考え方、行動、想いを認め合い、一緒になって新たな挑戦を続けていくことのできる社会の実現。サステナビリティ(持続可能性)とイノベーション(社会革新)をキーワードに、高知の地域・人・未来をつなぎます。

地域と大学との往還を通じて、持続的な地域課題の解決を目指す

本センターでは、県内4ヶ所に常駐している教員(UBC)や、産業振興・知的財産に関わる活動に取り組む教員(UIC)などが、高知県や高知県産官学民連携センター(コプラ)とともに、地域の課題解決や新たな価値創造に挑戦しています。



▶ まち・ひと・しごと創生高知イノベーションシステム



高知県の地方創生を目指して、県内大学等、産業界、高知県が連携して学生の県内就職率向上と新たな雇用の創出のための様々なプロジェクトを推進します。

▶ 生涯学習(出前公開講座)



500名を超える高知大学の教員が多彩な講座を提供します。最先端の科学技術から奥深い文化・芸術まで、県民の皆様の学びのニーズにお応えします。令和元年度は、9自治体延べ900名の方に参加いただきました。

▶ 高知の地域連携を世界に発信



令和元年12月、台湾高雄市で開催された大学地域連携 EXPO2019に出席しました。高知大学の目指す「スーパー・リージョナル・ユニバーシティ」の実現に向けて、次世代地域創造センターが取り組む様々なプロジェクトを世界に発信しています。

希望創発センター



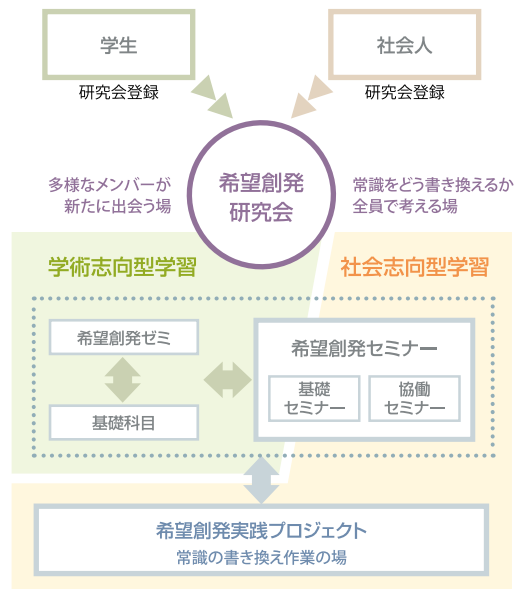
希望創発センター HP

世の中が本当に必要としているものは何だ？ その常識、本当に間違っていないか？

世界は、地球環境問題や食料問題、貧困などさまざまな課題を抱えています。希望創発センターは、次世代に希望ある未来を引き継ぐために、「希望を作れる人材」の育成を目的として、2018年4月に本格始動した新しい教育研究機関です。産官学、文理、高知・東京等が協働し、社会人や企業人、学生、教員など異なった価値観を持つ人たちが集まって「希望創発研究会」を構成し、テーマに沿ってこれまで社会が作り上げてきた「常識」や「当たり前」を疑い、「問い」を立て、侃侃諤諤の議論を交わしながら物事の本質に迫ります。

自分にとって当たり前のことも、他者から見れば当たり前ではない。そこから生まれる「問い」こそが、新しい考えや新しいモノ・コトを生む、イノベーションの源泉です。人と人、人と自然のつながりを重視し、他者や自分に真剣に向き合う環境とプログラムにより、「希望」を創る力をのびます。

※学生の登録は、原則、各学部3年生・4年生、大学院生



こちらも注目

▶ 自己実像を把握し、人間力を磨く!

SBI : Society Based Internship (人間関係形成インターンシップ)

学部の1年生～3年生が対象で、3人1組で3週間の企業実習を行い、協力し合って与えられたミッションを遂行します。その目的は、職場体験ではなく、人との関わりについて学ぶこと。望ましい関係性を作るためには自分はどうするべきか、自己に向き合って考え、大きな気づきを得ることが出来るチャンスです。

企業側のSV(スーパーバイザー)の支援を受けながら、目標設定、実習、振り返りなど1年間にわたって人間力に磨きをかけます。

なお、SBI履修者は、優先的に希望創発研究会への登録が認められます。



教員紹介 Faculty Members

所属の表記は令和2年5月1日現在のものです。

役員		
学長	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	辻田 宏	スポーツ法学、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスラーニング
理事	岩崎 貢三	土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業
理事	本家 孝一	生体膜の由来方とはたらき・生化学/糖鎖生物学/脂質生物学
理事	受田 浩之	食品を中心とした地域産業の振興、地域の持続可能性の追求

人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース		
教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想的方向から見た神話学、フロイト・ユングの思想
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	大槲 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	小幡 尚	戦没者慰霊を中心とする「戦争と地域」の史的研究
教授	川本 真浩	イギリス、イギリス帝国、コモンウェルスの近現代史、スポーツ史
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
特任シニアプロフェッサー	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
特任シニアプロフェッサー	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
特任シニアプロフェッサー	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史、中国・台湾近現代史と高知県との関わり
准教授	宗 洋	イギリス小説、映像メディア
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期文芸思潮研究
准教授	西尾 美穂	言語の構文と意味の関係
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
准教授	宮里 修	縄文・弥生時代の考古学、中世城郭の調査・研究
講師	大塚 誠也	平安文学、特に『源氏物語』成立直後の『更級日記』等の作品群
講師	北崎 勇帆	日本語の文法の歴史、特に命令表現や条件表現と変化の一般的傾向
講師	田中 健作	農山漁村や高齢者の交通・移動問題に関する地理学的研究
講師	渡邊 ひとみ	青年および成人期女性のアイデンティティ発達の研究

人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース		
教授	今井 典子	第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育
教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学
教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
教授	遠山 茂樹	ネットワークとメディアの社会学、地域コミュニティ研究
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	Darren Lingley	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、魚梁瀬森林鉄道と暮らしの諸相の研究
准教授	古閑 恭子	ニジェール・コンゴ語族クワ語族ノ小語群諸言語の記述とドキュメンテーション
准教授	佐野 健太郎	財政・金融政策から見た中国の景気対策
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の構文、日本語教育
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
准教授	土屋 京子	18世紀後半から19世紀初頭におけるドイツ語圏の思想や文学
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想に関する研究
講師	佐々木昌太郎	人の認知能力に基づいた言葉の現象の研究
講師	Sean Burgoine	音声学、応用言語学
講師	Stefan Hug	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	Marcus Otlowski	英作文教授法、英語教授法

人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース		
教授	飯岡 芳明	北東アジアの条件不利地域における資源管理の解析と制度設計
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	緒方 賢一	農山漁村と農林水産法制に関する法社会学的研究
教授	霜田 博史	地方財政制度に関する日独比較研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
特任シニアプロフェッサー	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	赤岡 聡	科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方
准教授	雨宮 祐樹	金融契約及び企業金融に関する研究
准教授	新井 泰弘	知的財産権制度の経済学的研究
准教授	福田 朗子	医事刑法
准教授	岡田 健一郎	憲法
准教授	切辻 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
准教授	肖 紅燕	日本と中国の家族と社会研究、田園回帰と移住
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障・社会福祉の提供体制と政策課題に関する研究
准教授	堀 美菜	漁村社会論、水産資源と地域住民のかかわりに関する研究
講師	磯田 友里子	消費者行動とマーケティング、ブランド戦略
講師	小川 寛貴	選挙制度が政党や有権者に与える影響の研究、議会研究

講師	卓 涓涓	金融政策の効果波及経路、金融市場統合についての研究
講師	深山 誠也	高齢者介護組織における競争戦略と組織特性に関する研究
教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース		
教授	玉瀬 友美	幼児の物語文理解に関する教育心理学的研究
准教授	川俣 美砂子	保育者の心と体の健康課題や長期就業に関する研究
講師	三ツ石 行宏	福祉教育の理論・歴史に関する研究、社会的養護に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース		
教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学—実存主義的理解
講師	野中 陽一郎	教授学習過程に関する教育心理学的研究
講師	福住 紀明	学級経営におけるソーシャルスキルの指導プロセスに関する研究
講師	横山 卓	子どもの発達社会学、地域社会と教育、青少年の逸脱行動
助教	石嶺 ちづる	アメリカにおける学校から職業への移行に関する支援の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース		
教授	玉木 尚之	中国古代における音楽についての考え方を理解する研究、「論語」の平易な解釈方法をさぐる研究
准教授	岩城 裕之	日本語学、日本語方言学、コミュニケーションの教育
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典の教育に関する研究
准教授	吉田 茂樹	国語科教育における実践的な授業研究

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース		
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快樂論、リラクゼーション論、ダイエット論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人権について
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
講師	佐竹 泰和	情報社会における生活環境および経済活動の地域差に関する研究
講師	望月 良親	日本史、特に近世都市史、地域史

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース		
教授	佐藤 淳郎	可換代数学、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	山口 俊博	幾何学、トポロジーの研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域
講師	服部 裕一郎	数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する授業の実証的研究
助教	袴田 綾斗	数学教育における教員養成・教員研修に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース・科学技術教育コース		
教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	伊谷 行	海洋生物の共生生態学、干潟ベントスの生態学、環境教育
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	原田 哲夫	早寝、早起き、朝ご飯で3つお徳の科学的根拠。アメンボ類の研究
教授	善喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	草場 実	中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究
准教授	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究
准教授	西脇 芳典	科学捜査のための化学研究、科学捜査技術に応用した理科教材開発

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース		
教授	多良 静也	小学校外国語活動・外国語における課題解決型言語活動の研究
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究
助教	佐藤 亮輔	生成文法理論による英語と日本語の語法・文法・構文の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース		
教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
准教授	高橋 美樹	沖繩のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究
講師	金 奎道	学校音楽教育、教育実践学、音楽教育メソッド(オルフ)に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース		
教授	金子 宜正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育教育コース		
教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
特任シニアプロフェッサー	駒井 説夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
准教授	宮本 隆信	体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
講師	常行 泰子	運動・スポーツと社会に関する実証的研究
講師	幸 篤武	体力科学、生活習慣病の予防に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース・科学技術教育コース

教授 道法 浩孝 ソフトコンピューティング、電気・電子及び計測・制御に関する教育

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース

教授 小島 郷子 家庭教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
 教授 森田 美佐 男女共同参画社会の実現に向けた家庭・仕事・教育に関する研究
 講師 磯部 香 東アジアの保育と家族・ジェンダーに関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授 寺田 信一 脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
 講師 朝岡 寛史 知的・発達障害への行動心理学的アプローチ
 助教 松田 弥花 スウェーデンの特別な支援を必要とする人びとに対する教育の研究

教職実践高度化専攻

教授 岡田 倫代 対人関係・コミュニケーションとメンタルヘルスに関する研究
 教授 楠瀬 弘哲 メタ認知能力の育成を図る理科問題解決学習指導法の開発
 教授 是永 かな子 北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
 教授 田中 元康 小学校の授業実践に関する研究、国語科、複式学級の指導法
 教授 中野 俊幸 教科授業論、特に算数・数学学習指導法、数学教材開発
 特任教授 永野 隆史 学校経営マネジメント及び地方教育行政機構に関する研究
 教授 柳林 信彦 アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究
 准教授 古口 高志 ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
 准教授 柴 英里 ヘルシーエイジングを視野に入れた学級力向上に関する研究
 准教授 野村 幸代 授業の発話プロセスに基づく授業改善と授業開発
 准教授 松本 秀彦 特別支援教育、発達障害者支援、学習困難者に対する学習支援
 准教授 森 有希 道德教育及び道德科の指導に関する研究
 講師 宇川 浩之 特別支援教育の指導と評価、進路指導に関する実践的研究
 講師 杉元 美栄 特別支援教育の指導と評価・教育課程・学級経営に関する実践的研究
 講師 古市 直樹 協同学習に関する科学的・哲学的研究
 特任准教授 大西 雅人 人権教育・生徒指導とその関連性に関する研究

理工学部 数学物理学科 数学コース

教授 小松 和志 準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
 教授 野村 昇 数理統計学における数値計算法とその応用
 教授 福岡 慶明 代数幾何学、特に極多様体の不変量による分類とその応用
 教授 諸澤 俊介 複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
 准教授 小野寺 栄治 偏微分方程式、幾何解析
 准教授 土基 善文 非可換代数幾何学、非可換環論
 准教授 三角 淳 相転移を含む確率モデル

理工学部 数学物理学科 物理科学コース

教授 飯田 圭 高密度物質の理論
 教授 津江 保彦 強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
 教授 中村 亨 極高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
 教授 西岡 孝 極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
 准教授 加藤 治一 遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
 准教授 島内 理恵 燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
 准教授 仲野 英司 理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
 講師 藤代 史 エネルギー・環境関連の機能性セラミックスの合成及び物性評価

理工学部 情報科学科

教授 岡本 竜 知識工学と学習科学
 教授 高田 直樹 電子ホログラフィ、高性能計算、GPGPU、計算電磁工学
 教授 豊永 昌彦 計算機による組合せ最適化手法(回路設計IoT設計・ニューラルネットワーク)
 教授 本田 理恵 衛星画像からの知識発見(機械学習、画像認識、地球惑星情報学)
 准教授 伊藤 宗彦 層型空間の開基、多角形の位相的性質
 准教授 老川 稔 計算機アーキテクチャ、半導体集積回路工学、電子ホログラフィ
 准教授 塩田 研一 暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
 准教授 三好 康夫 学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
 准教授 森 雄一郎 ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
 講師 鈴木 一弘 離散数学(グラフ理論、離散幾何学)とその応用研究

理工学部 生物科学科

教授 遠藤 広光 魚類の分類・系統学に関する研究
 教授 近藤 康生 二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
 教授 佐々木 邦夫 魚類の形態学的研究
 教授 鈴木 知彦 グアニンキナーゼ及びヘモグロビンの構造、機能および進化・比較生化学
 教授 奈良 正和 地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
 教授 松井 透 コケ植物の分類、系統、生態、形態、繁殖季節等の研究
 教授 松岡 達臣 原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
 准教授 有川 幹彦 原生動物に見られる特異な細胞機能の分子機序解明
 准教授 岡本 達哉 地衣学
 准教授 関田 諭子 渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
 准教授 峯 一郎 藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
 准教授 三宅 尚 植物化石の分析に基づいた東アジアの第四紀植生史の解明

講師 宇田 幸司 酵素の構造と機能の進化に関する研究
 講師 加藤 元海 山・川・海の生き物を野外調査や論理的思考をとって解明
 講師 比嘉 基紀 植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

理工学部 化学生命理工学科

教授 和泉 雅之 生体分子(タンパク質、糖鎖)の有機合成とその生理活性の研究
 教授 市川 善康 天然物化学、生物有機化学、有機合成化学に関する研究
 教授 杉山 成 生命機能を司る脂溶性リガンドの認識機構の解明とその応用研究
 教授 藤原 滋樹 動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
 教授 森 勝伸 イオン分離法による環境・医療診断と環境フレンドリーな材料開発
 教授 米村 俊昭 生体関連無機-有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
 教授 渡邊 茂 有機-無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
 准教授 梶芳 浩二 水熱法および電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
 准教授 砂長 毅 群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究
 准教授 中野 啓二 有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
 准教授 湯浅 創 酵素の生化学と分子進化
 講師 恩田 歩武 触媒化学、水熱化学、バイオマス資源から有用な有機化合物を合成
 講師 新崎 大輔 新しい分析法の開発とそれをを用いた国内外の環境モニタリング
 講師 永野 高志 鉄やハロゲンの性質を活用する触媒的有機分子変換反応の開発
 講師 波多野 慎悟 機能性高分子材料の合成と分析・環境・医療分野への応用
 講師 松本 健司 天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発
 助教 今村 和也 触媒・光触媒による物質変換反応の開発
 助教 越智 里香 糖やアミノ酸を分子骨格として用いた機能性超分子材料の開発
 助教 仁子 陽輔 超分子蛍光プローブの開発とその生命科学への応用
 助教 山崎 朋人 微細藻類の遺伝子発現制御機構解明とその知見を応用した物質生産

理工学部 地球環境防災学科

教授 佐々 浩司 レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
 教授 笹原 克夫 地すべり及び斜面崩壊発生メカニズムの解明とその予測手法
 教授 田部 隆雄 GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
 教授 野田 稔 災害に強い構造物の実現と極端気象の工学モデルの構築
 教授 橋本 善孝 構造地質学・沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学
 教授 原 忠 液状化などの地盤災害と地震防災・減災に関する工学的な研究
 教授 村上 英記 地震火山活動に伴う電磁気現象の発生メカニズムの研究、月内部構造探査のための手法研究
 准教授 大久保 慎人 地震観測記録を用いた地震発生機構と地球内部構造の研究、地質学、地球物理学
 准教授 川畑 博 野外調査と岩石の観察・分析を通して、マグマの一生を読み解く研究
 准教授 張 浩 流域における水・土砂災害および環境保全に関する研究
 准教授 中川 昌治 四国付加体の鉱物学鉱床学、粘土鉱物の鉱物学鉱床学
 准教授 松岡 裕美 古地震の研究(海底活断層の研究、津波堆積物の研究)
 准教授 山田 伸之 地震動災害や環境に関するデータ解析、安全・防災に資する技術や教育手法の開発
 講師 坂本 淳 大規模災害時の道路ネットワーク復旧計画と被害軽減予測
 講師 藤内 智士 野外調査を中心とした地殻変動に関する研究
 講師 野口 昌宏 木造ビル建築の開発や木造住宅の地震防災に関する研究
 講師 長谷川 精 堆積学・地球化学分析から過去の地球の気候変動や惑星環境の復元
 講師 村田 文絵 バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究、四国に大雨をもたらす降水システムの研究

理学部 理学科 数学コース

特任シニアプロフェッサー 下村 克己 安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
 特任シニアプロフェッサー 逸見 豊 代数的および組み合わせ論的方法を用いたボロゾジーの研究

理学部 理学科 物理科学コース

助教 斎藤 卓也 格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究

医学部 医学科 解剖学

教授 由利 和也 神経情報伝達系とステロイドホルモン
 准教授 大迫 洋治 心の痛みが身体の痛みを増強するメカニズム
 准教授 高橋 弘 精神・神経疾患の病態解明と創薬研究
 助教 田中 健二郎 情動や社会性の発達メカニズム
 助教 日高 千晴 社会性行動における脳内膜タンパク質の役割の探求
 助教 Vadym Zinchuk 蛍光標識によるタンパク質の相互関係の定量化

医学部 医学科 病理学

教授 村上 一郎 ランゲルハンス細胞組織球症の研究、病理診断学、臨床検査医学
 教授 降幡 睦夫 ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
 准教授 倉林 睦 VHL遺伝子と糖代謝/副交感神経系と糖代謝/糖代謝異常
 准教授 長沼 誠二 消化器がんの浸潤転移のメカニズム
 助教 井口 みつこ 人体病理
 助教 中嶋 絢子 人体病理
 助教 田中 千遥 人体病理
 助教 岩下 和花 人体病理

医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授 山口 正洋 匂いが情動を誘導する機構、大人の脳のニューロン新生、食嗜好の神経機構
 准教授 谷口 睦男 香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
 助教 越智 経浩 脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患)と糖代謝
 助教 村田 芳博 味覚の生理学

医学部	医学科	生理学(循環制御学)
教授	佐藤 隆幸	医療機器の開発と事業化支援
助教	市川 厚	生体循環における呼吸機構の相互作用
助教	戸高 寛	自律神経による心筋保護作用の機序解明と応用

医学部	医学科	生化学
助教	宮原 馨	糖脂質の細胞内輸送とその制御
助教	久下 英明	神経シナプスがつけられる仕組みを明らかにする研究

医学部	医学科	遺伝子機能解析学
教授	麻生 悌二郎	アルツハイマー病に対する新規治療薬の創出
助教	安川 孝史	新規認知症治療薬の開発に向けた基盤研究

医学部	医学科	生体分子構造学
教授	関 安孝	天然変性タンパク質の構造と機能発現メカニズムの解明

医学部	医学科	薬理学
教授	齊藤 源頭	下部尿路・生殖器の薬理学
准教授	清水 孝洋	緊張するとなぜイレが近くなる? 排尿の脳内メカニズムを探る
助教	東 洋一郎	グリア細胞は脳機能の脇役?それとも主役? ~脳卒中後遺症の克服をめざして~
助教	清水 翔吾	脳が制御する排尿機能の解明

医学部	医学科	微生物学
教授	大畑 雅典	微生物群集の解析と疾患との関係、微生物感染による発がん機序
助教	橋田 裕美子	皮膚微生物叢と疾患との関係、微生物感染と発がんに関する研究
助教	樋口 智紀	がんの個別化医療につながる新しい分子標的を探索する研究

医学部	医学科	免疫学
教授	宇高 恵子	T細胞認識・がん免疫
准教授	清水 健之	リンパ球による生体防御、炎症、腫瘍免疫
助教	小松 利広	T細胞の標的組織への浸潤機構

医学部	医学科	法医学
教授	古宮 淳一	外傷病理病態、法アルコール学、法医予防医学的研究
助教	中西 祥徳	法医分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
助教	西村 拡起	法中毒学、法医予防医学的研究

医学部	医学科	医療学(環境医学)
教授	菅沼 成文	産業医学、環境医学、国際保健、特に職業性呼吸器病
特任教授	吾妻 健	熱帯地域における寄生虫感染症に関する遺伝疫学とエコヘルス
特任教授	荻野 景規	環境医学(PM2.5結合ヒトタンパク質の生体影響、新型コロナウイルスタンパク質を含む)
特任准教授	下嶽 ユキ	カンボジア、クワイチェウコチュレイン島における甲状腺に関する研究
講師	Naji Abderrahim	同定と癌免疫療法の開発、細胞死防止の為の間葉系幹細胞の機能解明
助教	栄徳 勝光	神経分化、肺炎におけるエピジェネティクス解析
特任助教	安光ラヴェル 香保子	出生コホート調査・発達障害
特任助教	満田 直美	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

医学部	医学科	医療学(公衆衛生学)
教授	安田 誠史	高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防
准教授	宮野 伊知郎	ICTを活用した医療介護連携体制の構築、健康長寿のデータヘルス

医学部	医学科	医療学(医療管理学)
教授	小林 道也	消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と薬物療法の臨床試験、がん教育、国際交流、国際化
講師	岡本 健	大腸癌に対する腹腔鏡手術と薬物療法

医学部	家庭医療学(寄附講座)	
寄附講座教授	阿波谷 敏英	地域基盤型医学教育、地域包括ケアシステム、へき地医療、在宅医療
特任教授	佐野 潔	グローバルヘルスにおける多文化理解に基づく家庭医療学の教育
特任助教	福留 恵子	プライマリ・ケアの現場における指導医評価(360度評価)の開発

医学部	児童青年期精神医学(寄附講座)	
特任教授	高橋 秀俊	発達障害の感覚の問題、学校メンタルヘルス、発達障害の就労支援、神経生理学
特任助教	小松 静香	児童精神医学、子どものこころのケア

医学部	臨床疫学(寄附プロジェクト)	
特任教授	佐田 憲映	患者報告型アウトカムを用いた診療の評価

医学部	高知馬路村ゆず健康講座(共同研究講座)	
特任助教	宮本 美緒	食品の機能性に関する栄養学解析

医学部	医学科	医学教育創造・推進室
教授	高田 淳	高齢者の心血管疾患に関する研究
准教授	藤田 博一	医学教育、統合失調症、気分障害の心理教育

医学部	医学科	消化器内科学・内科(消化器)
-----	-----	----------------

教授	内田 一茂	消化器病学(1型自己免疫性膵炎(lgG4関連疾患)の病態解明及び診断・治療指針の作成)
特任教授	西原 利治	肝癌抑制と生活習慣病研究
准教授	谷内 恵介	膵臓がんペプチドワクチンの開発
講師	山田 高義	消化管の先進医療
講師	廣瀬 享	肝硬変の診断と治療
助教	野崎 靖子	肝がんの診断と治療
助教	小笠原 光成	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
特任助教	吉岡 玲子	胆膵領域における診断と治療

医学部	医学科	内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)
教授	寺田 典生	腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
教授	藤本 新平	糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
教授	堀野 太郎	腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発
講師	田口 崇文	内分泌・甲状腺疾患の画像診断研究と病態解析
助教	谷口 義典	難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発
助教	船越 生吾	糖尿病における骨代謝について
助教	島村 芳子	慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究
助教	平野 世紀	糖尿病における膵β細胞不全および再生の機序の解明
助教	天野 絵梨	糖尿病におけるマンノース代謝障害
助教	西川 浩文	リウマチ性疾患の新規画像診断法について
特任助教	近江 訓子	非アルコール性肝炎と糖尿病の関連について
特任助教	猪谷 哲司	リウマチ性疾患の新規画像診断法について

医学部	医学科	呼吸器・アレルギー内科学・内科(呼吸器)
教授	横山 彰仁	呼吸器疾患およびアレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授	窪田 哲也	肺癌の治療
講師	大西 広志	喘息、慢性閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教	酒井 瑞	呼吸器疾患の病態・診断・治療
助教	穴吹 和貴	呼吸器疾患の病態・診断・治療
助教	渡部 雅子	呼吸器疾患の病態・診断・治療
助教	高松 和史	呼吸器疾患の病態・診断・治療

医学部	医学科	血液内科学・内科(血液)
教授	小島 研介	血液がんの診断と治療、特に分子標的治療
講師	砥谷 和人	血液疾患の診断と治療
助教	谷口 亜裕子	血液疾患の診断と治療
助教	佐伯 恭昌	血液疾患の診断と治療、造血幹細胞移植
特任助教	中村 真	血液疾患の診断と治療、造血幹細胞移植

医学部	医学科	老年病・循環器内科学・内科(老年病・循環器)
教授	北岡 裕章	虚血性心疾患、心筋症、心不全、老年医学
准教授	山崎 直仁	心臓弁膜症、心臓病の身体所見(心音、心機図)、肺高血圧症
講師	久保 亨	心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教	馬場 裕一	心筋症・心不全、肺高血圧症、心サルコイドーシス
助教	弘田 隆省	不整脈疾患
助教	野口 達哉	循環器救急・血管内カテーテル治療全般(急性心筋梗塞・狭心症・末梢動脈疾患・静脈血栓塞栓症)
助教	宮川 和也	虚血性心疾患・BLS/ICLS/JMECC(心肺蘇生講習)
特任助教	濱田 知幸	高齢心不全患者の包括的医療管理

医学部	医学科	脳神経内科学・内科(脳神経)
教授	古谷 博和	認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発
講師	大崎 康史	パーキンソン病・類縁疾患
助教	森田 ゆかり	パーキンソン病・類縁疾患

医学部	医学科	臨床免疫学
教授	仲 哲治	がん・自己免疫病・炎症性疾患における診断薬・創薬開発
准教授	藤本 穰	免疫シグナル異常と疾患・臨床免疫学
准教授	世良田 聡	疾患関連蛋白解析による新規バイオマーカーおよび新規抗体医薬開発への応用
特任助教	船内 雅史	婦人科癌に対して、新規抗体医薬に関する機序解明と開発

医学部	医学科	小児思春期医学・小児科
教授	藤枝 幹也	免疫抑制状態と感染症、小児脳性麻痺など脳障害に対する自家臍帯血単核細胞輸血
准教授	久川 浩章	小児血液腫瘍
講師	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
講師	中山 智孝	子どもの心臓病(先天性心疾患、川崎病・肺高血圧症など)の診断・治療
助教	山本 雅樹	先天性心疾患および不整脈、小児救急、学校心臓検診
助教	大石 拓	アレルギー疾患の患者及び学校保育所等への教育方法について、気管支喘息の発作誘発因子についての研究
助教	石原 正行	小児腎疾患について
特任助教	菊地 広朗	小児血液腫瘍
特任助教	三浦 紀子	超低出生体重児の循環管理

医学部	医学科	神経精神科学・精神科
教授	數井 裕光	認知症の包括的治療、高次脳機能障害、神経画像、精神疾患治療に対するICT活用
講師	上村 直人	認知症と自動車運転
助教	掛田 恭子	精神的苦痛をもつ患者の評価と介入ができる医療者の教育
助教	藤戸 良子	老年精神医学に関する治療、研究

助教	榎林 哲雄	老年精神医学、神経心理学、認知症における嗅覚障害に関する研究
助教	赤松 正規	一般精神医学
特任助教	大崎 千栄	一般精神医学

医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
講師	中島 英貴	メルケル細胞癌のポリオーマウイルス
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教	山本 真有子	関節症性乾癬
助教	寺石 美香	真皮結合組織疾患、美容皮膚科
助教	青木 奈津子	アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹
特任助教	木戸 一成	皮膚腫瘍、皮膚外科学

医学部 医学科 放射線医学・放射線科

教授	山上 卓士	インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断
准教授	南口 博紀	インターベンショナル・ラジオロジー(画像下治療)(特に門脈・静脈系)や画像診断に関する研究
講師	山西 伴明	インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断
助教	岩佐 瞳	画像診断一般、核医学
助教	宮武 加苗	CT・MRI診断学および核医学診断における研究
助教	新田 紀子	核医学、画像診断学
助教	仰木 健太	インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断

医学部 医学科 外科学(外科1)・外科

教授	花崎 和弘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人工膵臓療法研究:世界に先駆けて当科で開発した外科周術期の人工膵臓療法に関する基礎研究-臨床研究 2. 漢方の薬物動態研究:株式会社ツムラの産学共同研究にて世界初の漢方の薬物動態研究を推進中。これまでに大建中湯・抑肝散・六君子湯・麻黄湯の薬物動態研究を施行し、国際的にKochi Methodとして認知されている 3. 光線医療研究:高知大学光線医療センターとの共同研究として消化器外科手術(食道・胃・小腸・大腸・肝胆膵)・乳腺内分泌手術を対象とし、高知大学で開発されたHEMS(hyper eye medical system)を用いた蛍光ガイド手術および5-ALA(5-aminolevulinic acid)を用いたPDD(光線医療診断)・PDT(光線医療治療)研究 4. 新規癌診断・癌治療の開発研究:消化器癌(食道癌・肺癌・胆道癌・肝癌など)の分子機序解析からみた新規診断・治療法の開発研究だけでなく、乳癌および遺伝子腫瘍に対する遺伝子診断・遺伝子治療研究も推進中 5. NCD dataを用いた手術成績と手術日(曜日、季節)の関係に関する研究
特任教授	大島 雅之	
准教授	杉本 健樹	
講師	駄場中 研	
講師	並川 努	
特任講師	前田 広道	
助教	沖 豊和	
助教	上村 直	
助教	北川 博之	
助教	辻井 茂宏	
助教	宗景 匡哉	
特任助教	藤澤 和音	
特任助教	小河 真帆	

医学部 医学科 心臓血管外科学・心臓血管外科

教授	三浦 友二郎	手術後も生活や運動制限を必要としない、理想的な心臓血管外科手術の探究
特任助教	三石 淳之	神の手 心臓血管外科医を目指したキャリア形成プラン

医学部 医学科 呼吸器外科学・呼吸器外科

准教授	穴山 貴嗣	ロボット手術の胸部外科への応用
助教	宮崎 涼平	低侵襲呼吸器外科手術:摘出癌細胞の三次元培養による抗腫瘍薬の効果予測法の開発
助教	岡田 浩晋	肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教	山本 麻梨乃	蛍光で小さながんを光らせて切除する

医学部 医学科 形成外科学・形成外科

講師	吉田 行貴	頭頸部癌再建
特任助教	田中 浩史郎	乳がん術後の乳房欠損における再建方法について

医学部 医学科 外科学(外科2)

教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
----	-------	-----------------------------

医学部 医学科 麻酔科学集中治療医学・麻酔科

准教授	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教	青山 文	術後せん妄の病態機序解明および予防戦略に関する研究
助教	勝又 祥文	術後認知機能障害の病態機序解明および予防戦略
特任助教	北村 園恵	がん性疼痛に関する研究

医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科

教授	前田 長正	子宮内膜症の謎に迫ろう、膈帯血を用いた脳性麻痺治療と再生医療
准教授	泉谷 知明	子宮内膜症の病因(腹腔内免疫環境を中心に)
助教	谷口 佳代	子宮内膜症のメカニズムと薬物療法
助教	松島 幸生	膈帯血幹細胞を用いた脳性麻痺治療および再生医療、周産期医療
助教	都築 たまみ	生殖内分泌
助教	渡邊 理史	小児・周産期災害医療、医療政策に関する研究
特任助教	山本 楨平	生殖内分泌、子宮内膜症のメカニズムとその治療法

医学部 医学科 整形外科・整形外科

教授	池内 昌彦	膝関節外科、関節病学、スポーツ医学、人工関節、運動器疼痛、リハビリテーション医学
准教授	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、医用人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
講師	岡上 裕介	人工関節、股関節外科、関節バイオメカニクス
特任講師	木田 和伸	脊椎脊髄病、電気生理学的診断

助教	喜安 克仁	脊椎脊髄病、脊椎外科、骨粗鬆症
助教	泉 仁	肩、肘、スポーツ、運動器の痛み
助教	南場 寛文	足の外科、骨粗鬆症
助教	阿漕 孝治	膝、スポーツ、人工関節
特任助教	上羽 宏明	手・上肢の疾患とその治療
特任助教	佐竹 哲典	骨折、外傷一般、骨粗鬆症

医学部 医学科 眼科学・眼科

教授	福島 敦樹	眼炎症疾患発症の診断・治療法の開発
准教授	福田 憲	眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発
講師	角 環	角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	中平 麻美	緑内障、緑内障手術
助教	三浦 悠作	眼科手術、網膜硝子体手術、緑内障手術
特任助教	岸本 達真	眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発
特任助教	石田 わか	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

医学部 医学科 耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の客観的評価基準作成
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、中耳疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教	弘瀬 かり	痙攣性発声障害、嚥下障害の診断
助教	松本 宗一	顔面神経麻痺後遺症に対する治療
助教	伊藤 広明	めまいの基礎的臨床的研究
助教	長尾 明日香	音声障害の病態評価と治療、高速度カメラによる声帯振動の解析

医学部 医学科 脳神経外科学・脳神経外科

教授	上羽 哲也	悪性脳腫瘍の分化制御におけるメチル化CPG結合タンパクMBD1の機能的解析
講師	福井 直樹	3Dモデルを使用した、手術・血管内手術シミュレーション
特任講師	福田 仁	破裂脳動脈瘤の病態に関する疫学的アプローチ
助教	中居 永一	脳脊髄液減少症診断の臨床研究
助教	八幡 俊男	ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る
助教	川西 裕	脳腫瘍の免疫療法
助教	上羽 佑亮	急性期脳卒中リハビリテーションに関する研究

医学部 医学科 泌尿器科学・泌尿器科

教授	井上 啓史	癌の浸潤・転移、血管新生における分子生物学、および光線化学に基づく癌の診断・治療
准教授	辛島 尚	癌の浸潤・転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
講師	蘆田 真吾	遺伝子発現解析に基づく前立腺癌に対する間質的役割に関する研究
講師	田村 賢司	VHL病の新規責任遺伝子の同定/ホルモン不応性前立腺癌に対する新規治療薬の開発
助教	深田 聡	泌尿器腹腔鏡手術、高齢者の泌尿器癌に対する外科的治療、周術期管理
助教	福原 秀雄	泌尿器癌に対する新規治療法の開発
助教	大河内 寿夫	泌尿器内視鏡手術/泌尿器腹腔鏡手術
特任助教	波越 朋也	小児泌尿器科手術/周術期管理

医学部 医学科 歯科口腔外科学・歯科口腔外科

教授	山本 哲也	口腔外科、口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師	北村 直也	バクテリオファージを利用した細菌感染症制御法の開発
講師	笹部 衣里	口腔癌の治療耐性獲得機序に関する研究
助教	仙頭 慎哉	歯科口腔外科学、口腔腫瘍学
助教	吉澤 泰昌	顎骨再生療法の基礎的研究、口腔扁平苔癬とLRGの関連性の検討

医学部 医学科 災害・救急医療学

教授	西山 謹吾	災害医療・救急医療システム構築、集中治療学
准教授	宮内 雅人	外傷・中毒・熱傷などの救急診療についての研究

医学部 附属病院 検査部

助教	岡崎 瑞穂	内分泌代謝疾患
助教	大河原 知治	LRGの自己免疫疾患におけるマーカーとしての役割

医学部 附属病院 手術部

助教	岩部 純	食道・胃外科、食道がん細胞のエピゲノム
----	------	---------------------

医学部 附属病院 放射線部

准教授	刈谷 真爾	小線源放射線治療の確立、放射線による癌細胞死のメカニズム
助教	吉松 梨香	インターベンショナル・ラジオロジー
特任助教	中路 康介	MRIを用いた心臓の血流、エネルギー損失の研究

医学部 附属病院 救急部

特任講師	門田 知倫	いかにして災害関連死をなくすか
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部 附属病院 輸血・細胞治療部

講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用
----	------	-----------------

教員紹介 Faculty Members

医学部 附属病院 集中治療部
助教 田村 貴彦 重症患者における栄養管理に関する研究
助教 立岩 浩規 術後認知機能障害の病態機序解明と予防戦略に関する研究

医学部 附属病院 リハビリテーション部
助教 永野 靖典 地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部 附属病院 総合診療部
教授 瀬尾 宏美 能動的学習や臨床技能教育に関する研究
准教授 武内 世生 感染症、HIV/AIDS診療、感染管理、臨床推論
講師 小松 直樹 総合診療、プライマリ・ケア/地域医療
助教 北村 聡子 総合診療、心肺蘇生教育、禁煙外来、不整脈治療

医学部 附属病院 内視鏡診療部
准教授 耕崎 拓大 胆膵疾患の先進治療
助教 水田 洋 ヒロリ菌遺伝子変異と各種疾患の病態との関連について

医学部 附属病院 病理診断部・病理診断科
准教授 戸井 慎 人体病理

医学部 附属病院 周産母子センター
助教 荒木 まり子 小児内分泌疾患
助教 玉城 渉 先天性心疾患、学校心臓検診
助教 氏原 悠介 タイムラプス法を用いたがん免疫治療
助教 樋口 やよい 婦人科腫瘍、がん免疫

医学部 附属病院 透析部
講師 松本 竜季 急性腎障害における新規バイオマーカーの研究
助教 葺石 陽亮 泌尿器内視鏡手術/周術期管理

医学部 附属病院 がん治療センター
特任助教 久野 貴平 排尿筋過活動に対する5-ALAによる改善効果の検討

医学部 附属病院 医療安全管理部
准教授 久米 基彦 医療安全管理体制の確立、医療事故の原因究明、医療事故防止

医学部 附属病院 薬剤部
教授 宮村 充彦 臨床薬理学、天然物化学、嚥下機能改善剤の開発

医学部 附属病院 次世代医療創造センター
特任教授 執印 太郎 泌尿器腫瘍学、稀少疾患医学、腫瘍マーカー開発
特任准教授 西本 博之 医療情報学、情報知能工学、経営情報学、数理統計学、設計工学
特任講師 田井 麻美 臨床研究の実際のアプローチ、被験者保護、研究倫理、壮年期の余暇と健康に関する研究
特任助教 黒岩 朝 多項式分解と素数の関係についての代数的・統計学的アプローチ

医学部 医学科 英語
講師 Ribble Daniel Brownson 比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

医学部 附属医学情報センター
教授 奥原 義保 医療情報システム、医療情報データの解析
准教授 畠山 豊 医療情報解析、データマイニング
助教 兵頭 勇己 医療情報解析・身体運動の定量化・運動障害のシミュレーション

医学部 附属先端医療学推進センター
講師 沈 淵 臍帯血幹細胞から抗腫瘍エフェクター細胞へ分化誘導・免疫学、再生医療学
助教 王 飛霏 脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム
助教 馬場 伸育 臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析
助教 山下 竜幸 組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復

医学部 附属光線医療センター
特任助教 中山 沢 腫瘍細胞に対する分子生物学的探索及び治療法の開発

医学部 看護学科 基礎看護学
教授 栗原 幸男 保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究
教授 森木 妙子 看護師長、時間管理、経営意識、災害看護、看護管理の工夫に関する研究
准教授 笹岡 晴香 便秘に関する緩和ケアおよび評価
講師 下元 理恵 看護師、OJT、慢性心不全患者に関する研究
助教 藤井 千江美 アフリカの農村地域における母子の健康増進に向けたしくみ作り

医学部 看護学科 臨床看護学
教授 大坂 京子 ロボットを用いた看護ケアの可能性および看護師の役割
教授 関屋 伸子 出産の援助、子宮頸がん検診受診行動、妊婦の肥満度及び体重増加と分娩アウトカムに関する研究
教授 溝瀆 俊二 高知県産の機能性素材の探索
教授 山脇 京子 慢性疾患患者のQOL
准教授 佐藤 美樹 睡眠と健康、自律神経活動、生活習慣に関する研究

准教授 濱田 佳代子 妊娠、出産、育児の支援に関する研究
准教授 松本 智津 子どもが育つ環境、NICUでの看護
講師 石岡 洋子 妊婦のBMIと周産期予後の関連について、助産師学生・助産師に必要な倫理教育について
講師 高橋 美美 大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術に関する研究
講師 竹村 多加 看護学生の自尊感情、成人看護技術に関する研究
講師 吉村 澄佳 働く女性の健康に関する研究、睡眠と健康
助教 川合 弘恭 小児期から慢性疾患をもつ子どもやAYA世代の方の自分らしさ、自立(自律)に関する研究

医学部 看護学科 地域看護学
教授 奥谷 文乃 においや味の情報は脳でどのように処理されているか
准教授 杉本 啓代 壮年期における生活習慣
准教授 田淵 啓二 病気を抱えて生活する人々への支援、国際保健医療
講師 小笠原 木綿 嚥下障害と継続看護ケア、退院後の生活がイメージできる移行期看護
講師 齋藤 美和 保健師・養護教諭の人材育成、看護技術をはかる
助教 林 昌子 在宅生活を送る脳卒中高齢者の持てる力・高齢者看護

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 暖地農学主専攻領域
教授 尾形 凡生 果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授 島崎 一彦 試験管内の組織培養によるランの苗生産技術の開発と希少植物の生態調査
准教授 西村 安代 野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設的光環境・環境保全型農業
准教授 増田 和也 農山漁村における資源利用と社会変容に関する研究
准教授 松川 和嗣 高知県独特の和牛である土佐あかしの生産振興にかかわる研究
准教授 宮内 樹代史 園芸ハウスの環境制御技術の開発、植物生産流通システムの最適化
准教授 宮崎 彰 イネの高温登熟性・乾燥適応性に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理
講師 濱田 和俊 果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師 松島 貴則 労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師 山根 信三 循環型農業生産・高品質な果実の作出・GTL利用省エネ多収農法

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 自然環境学主専攻領域
教授 森 牧人 広域農林生態系の気象環境学的評価
准教授 伊藤 桂 ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授 手林 慎一 植物の病害虫や環境に対する抵抗性の化学的・分子生物学的解明
准教授 鈴木 紀之 昆虫の行動・進化・群集、生物多様性の生態学的な効果
講師 阪田 光和 イネの遺伝資源の利用に関する研究

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 森林科学主専攻領域
教授 鈴木 保志 林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用
特任シニアプロフェッサー 塚本 次郎 環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布パターン
准教授 市浦 英明 機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授 市栄 智明 樹木の成長や繁殖、環境ストレス応答に関する研究
講師 松本 美香 中山間地域における森林管理、林業林産物製造、集落構造
講師 守口 海 経済性と持続性を考慮した森林経営・管理・計画

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 生産環境管理学主専攻領域
教授 河野 俊夫 食品偽装防止技術、食品への異物混入検出技術などの食品安全工学
教授 藤原 拓 地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授 松本 伸介 農業水利施設の構造設計、建設材料の新規開発、音環境の調査
准教授 齋 幸治 地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授 佐藤 周之 流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授 佐藤 泰一郎 中山間地域の水・土・里環境保全・環境型傾斜地農業の推進
准教授 松岡 真如 衛星データやデジタル地図を活用した陸域環境の解析

農林海洋科学部 農芸化学科
教授 芦内 誠 バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授 枝重 圭祐 動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探索
教授 木場 章範 植物の発病・免疫機構の解明～病気に罹らない植物をつくる！～
教授 金 哲史 昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授 康 崧梅 土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
教授 田中 壮太 熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
教授 永田 信治 食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用
教授 曳地 康史 植物細菌学:細菌と植物の相互作用の解明と植物病害防除技術開発
准教授 上野 大勢 高等植物の栄養生理に関する研究
准教授 柏木 文菰 食品中の生体調節物質の探索、食品の香り成分の有効利用
准教授 島村 智子 食品成分に関する研究、食品の機能性の解明
准教授 村松 久司 産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発
准教授 森塚 直樹 農耕地生態系の元素動態の評価と適正化、簡易評価法の開発
講師 若松 泰介 新規有用たんぱく質の探索、機能解析・構造解析、そして応用

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース
教授 足立 真佐雄 赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授 池島 耕 沿岸の環境、水生生物の生態と保全に関する研究
教授 大嶋 俊一郎 魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究
教授 關 伸吾 魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究
教授 益本 俊郎 養殖魚飼料の栄養と消化吸収に関する研究
教授 森岡 克司 養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
准教授 足立 亨介 海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー

准教授 中村 洋平 魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態
 准教授 深田 陽久 魚類の食欲・消化・成長に関する研究、ブランド養殖魚の開発
 准教授 山口 晴生 海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
 講師 今城 雅之 魚類の病原微生物(ウイルス、細菌、原虫、寄生虫)に関する研究

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海底資源環境学コース

教授 上田 忠治 新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
 教授 岡村 慶 海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
 教授 村山 雅史 海洋の物質循環と海底資源形成に関する研究
 教授 寄高 博行 海洋表層流の変動に関する研究
 准教授 西尾 嘉朗 温泉の子どもの調査研究
 准教授 野口 拓郎 海底熱水活動に伴う有用金属・有害金属の動態解明
 講師 小河 侑平 新規無機固体触媒の合成および低温での化学反応

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生命科学コース

教授 久保田 賢 造礁サンゴなどの海洋生物のタンパク質や遺伝子に関する研究
 教授 津田 正史 海洋微細藻からの有用物質の探索と開発、およびDNP-NMR研究
 教授 長崎 慶三 海洋生態系におけるウイルスの役割と存在意義に関する研究
 准教授 金野 大助 生理活性有機化合物の分子構造・反応解析および人工合成
 准教授 櫻井 哲也 藻類等の生命情報を網羅的に用いた比較解析によるゲノム研究
 准教授 寺本 真紀 有益な物質の生産や環境浄化にむけた微生物の探索・構築
 准教授 難波 卓司 海洋生物が産生する化合物の薬理作用の探索と真核細胞の恒常性維持機構の解析
 准教授 三浦 収 海産無脊椎動物の生態と進化の研究
 准教授 山田 和彦 次世代型NMR装置の開発
 助教 小野寺 健一 海洋共生微細藻を大量に培養し未利用物質資源を探索する研究
 助教 Dana Ulanova 海洋微生物の二次代謝産物生成研究

地域協働学部 地域協働学科

教授 池田 啓実 組織が自己の課題を自ら解決する自己組織化機能に関する研究
 教授 市川 昌広 村落の土地利用・森林利用と住民の暮らし、日本の中山間地域問題
 教授 上田 健作 非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究
 教授 内田 純一 成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論、公民館、地域施設
 教授 大石 達良 日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
 教授 鈴木 啓之 現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
 教授 霜浦 森平 都市農村交流と農村ツーリズムに関する研究
 教授 田中 求 農山漁村の多様な豊かさの再構築、和紙原料栽培と資源管理、謝害対策、環境社会学
 教授 玉里 恵美子 中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
 教授 湊 邦生 地域研究(モンゴル)、計量社会学、多文化関係学、地域協働学
 准教授 石筒 寛 工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策、サービスマーケティングのプログラム開発
 准教授 大槻 知史 持続可能な地域運営の支援(防災、地域活性、遺産保全)、防災教育
 准教授 斉藤 雅洋 地域活動と住民の学び、地域づくりと環境教育・ESD、学校・家庭・地域の連携・協働
 准教授 須藤 順 起業育成/スタートアップ支援、コミュニティデザイン、ソーシャルビジネス、アイデア創出、場づくり
 准教授 中澤 純治 産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
 准教授 中村 哲也 日本野球史、スポーツと体罰、大学スポーツ政策、運動部活論
 准教授 藤岡 正樹 防災教育、地域防災、避難シミュレーション、社会的起業
 准教授 松本 明 持続可能な地域づくりに資する計画論、評価方法、人材育成等
 准教授 吉岡 一洋 グラフィックデザイン、版画、地域芸術、アート、美術教育
 講師 今城 逸雄 地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究
 講師 佐藤 洋子 地方都市・農村における女性の労働と生活に関する研究
 講師 俣野 秀典 組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファンリテーション
 助教 佐藤 文音 住民の介護予防活動の研究、ダンスを用いた健康増進活動の研究
 助教 森 明香 河川開発の社会的影響、公害・環境問題をめぐる住民運動、環境社会学

全学教育機構

特任教授 奥田 一雄 植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
 准教授 前西 繁成 非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任
 准教授 柴田 雄介 日本語母語話者による英語超文節音の知覚と産出の研究
 講師 Sharpe Michael John グローバル言語としての英語、英語史

大学教育創造センター

教授 塩崎 俊彦 17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
 准教授 立川 明 科学教育における能動学習の効果、高等教育における能動学習の効果
 准教授 杉田 郁代 授業の中の学生支援(学生の居場所がある授業づくり)に関する研究
 特任講師 高畑 貴志 教育におけるICTの利活用

教師教育センター

准教授 松島 朝秀 科学的手法を用いた文化財資料の調査及び保存環境の研究

アドミッションセンター

准教授 大塚 智子 入試data解析、主体性等の評価方法の研究
 准教授 喜村 仁詞 大学と受験生のコミュニケーション、サービス・マーケティング

学生総合支援センター

特任准教授 佐藤 剛介 精神的健康に対する文化・社会環境要因の検討、障害科学と支援
 特任准教授 森田 佐知子 キャリア、生涯学習に関する国際比較、ICTを使ったキャリア支援
 講師 坂本 智香 レポートの書き方指導に関する研究、日本語文法(名詞)の研究

保健管理センター

教授 井上 顕 自殺対策、精神医学(特に不安症)、メンタルヘルス、社会医学
 教授 西山 充 食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
 准教授 澁谷 恵子 医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築

総合研究センター

教授 大西 浩平 病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
 教授 木下 泉 魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
 准教授 加藤 伸一郎 遺伝子工学的的手法による含硫化合物合成系の機能解析
 准教授 斉藤 知己 海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究
 准教授 坂本 修士 非翻訳RNAの産生変動が引き起こす病態生理現象
 准教授 津田 雅之 発生工学的的手法を用いたマウスの発生や再生に関する研究
 准教授 平岡 雅規 海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究
 助教 都留 英美 免疫細胞の情報伝達物質の分泌メカニズムに関する研究
 助教 樋口 琢磨 小分子RNAを介した癌化制御に関する研究

次世代地域創造センター

教授 石塚 悟史 産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
 特任教授 恒川 典之 研究シーズからの知的財産の発掘及び権利の最大化、技術移転
 特任教授 富 裕孝 食用資源研究開発、機能性表示、トクホ開発
 特任教授 野村 明 地域農水産資源を利用した新製品開発並びにその特性評価
 准教授 赤池 慎吾 日本・台湾における森林保全歴史研究、日本遺産による地域活性化
 准教授 岡村 健志 デジタルマーケティングを活用した公共事業の運営方法の開発
 准教授 吉用 武史 域学連携、自治体との連携に基づく地域活性化事業の企画立案
 特任准教授 松浦 孝範 産学官民連携、研究プロジェクト企画運営、研究推進戦略策定支援
 講師 大崎 優 地域経済構造・中山間地域問題分析、自転車を活用したまちづくり
 講師 梶 英樹 自治体等との連携に基づく地域活性化事業の企画立案及び運営支援
 特任講師 松田 高政 食の6次産業化、消費者・販売者の視点による地域産品の開発
 特任助教 栗田 せりか 地域食材の成分分析と食品の品質管理

国際連携推進センター

教授 新納 宏 地球規模の課題と国際協力、移行経済国の市場経済化支援、中央アジアの地域開発
 教授 林 翠芳 日本語の語彙に関する研究、日中対照研究
 准教授 大塚 薫 日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
 特任講師 岡本 葉子 持続的資源利用管理と生物多様性保全、島嶼国Eco-DRRと気候変動

学術情報基盤図書館

准教授 佐々木 正人 分散システム管理運用技術、情報セキュリティ、情報教育
 助教 石黒 克也 素粒子物理学、格子量子色力学、情報教育

海洋コア総合研究センター

教授 池原 実 新生代における地球環境システム変動の解明
 教授 岩井 雅夫 新生代地球表面圏の生物・環境多様性の形成・進化に関する研究
 教授 安田 尚登 メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価
 教授 山本 裕二 地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明
 特任教授 白井 朗 海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究
 特任教授 徳山 英一 海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究、海底活構造研究
 准教授 氏家 由利香 微化石生物を用いた海洋生態系と地球環境の進化
 講師 浦本 豪一郎 外洋深海底の鉱物資源形成メカニズムの研究
 特任講師 朝日 博史 古海洋学、北太平洋・北極海の海水発達と全球的な気候変動史の関連性
 助教 Kars Myriam 環境磁気学的手法による古環境・成層作用とガスハイドレートの研究
 特任助教 奥村 知世 堆積物中の微生物-鉱物相互作用の研究
 特任助教 松井 浩紀 プランクトン化石を用いた過去の海洋環境変動の解明
 特任助教 新井 和乃 地震・津波に伴う堆積物重力流の発生と海底環境の変動

IR・評価機構

教授 岩崎 保道 大学評価及びIR(Institutional Research)に関わる研究

安全・安心機構

准教授 小島 優子 ドイツ観念論哲学における生と死の継承について
 准教授 廣瀬 淳一 協力行動と幸福に関する研究

国立大学では日本初! 一元化された文理統合型の大学院 ～「地域イノベーション」を担う人材の育成～

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。本研究科の修士課程は7専攻(人文社会科学専攻、教育学専攻、理工学専攻、医科学専攻、看護学専攻、農林海洋科学専攻、地域協働学専攻)、専門職学位課程1専攻(教職実践高度化専攻)、また、博士課程は3専攻(応用自然科学専攻、医学専攻、黒潮圏総合科学専攻)で構成しています。

修士課程では、複数の学問領域を包括した領域横断型の学びを効果的に実現するとともに、博士課程では応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。

また、学士課程教育との有機的な連携を深めるために、修士課程において令和2年度に大幅な組織改革を行いました。

理工学専攻では工学分野の強化を通じて研究開発力および課題解決力に秀でた高度専門職業人の育成をさらに推進し、農林海洋科学専攻は農学分野と海洋科学分野の様々な事象を資源科学的視点から俯瞰的にとらえる領域横断的教育・研究を促進します。新設された地域協働学専攻では、「地域協働」による高度な地域人材を養成しています。

このほか、博士課程では、医学専攻に海洋科学と医学を絡めた教育・研究を発展させる海洋医学コースを新設するなど、本学では修士課程から博士課程までを通じて地域資源を活用した地域社会に変化や革新をもたらす新しい価値創造「地域イノベーション」の中核人材の育成を推進しています。

履修の特徴

専門職学位課程【教職大学院】

教員としての深い学識・卓越した能力を養成

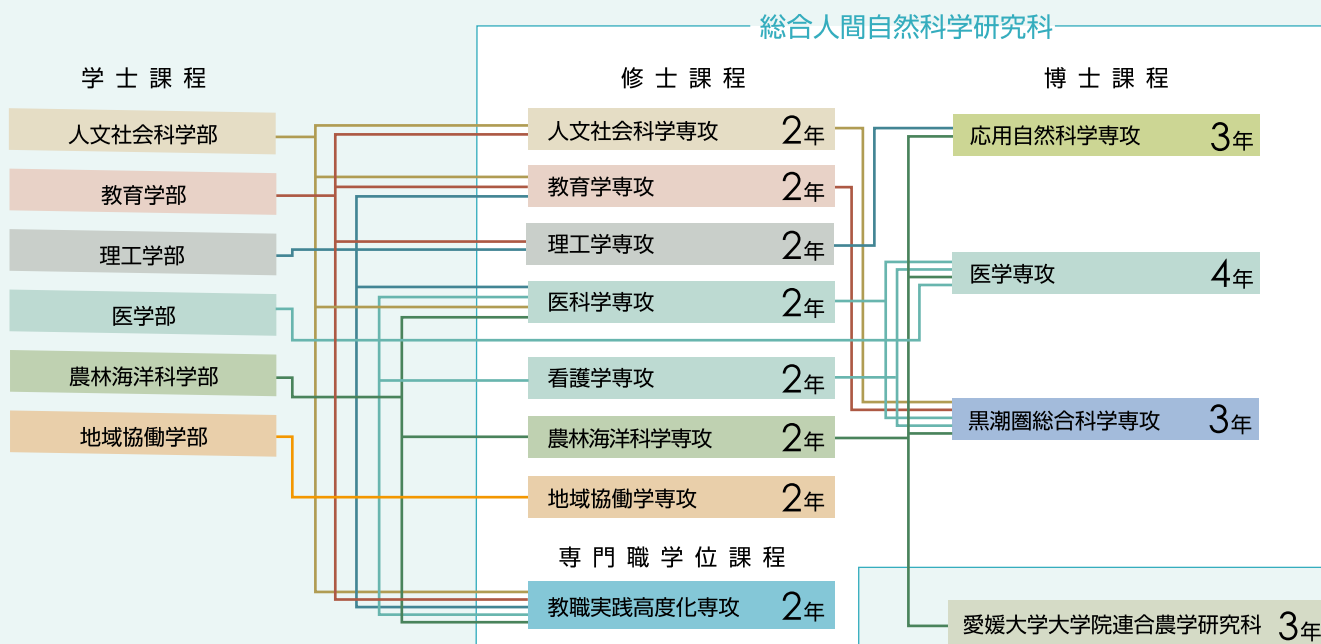
「共通科目」と「実習科目」、「総合実践力科目」、学校運営、教育実践、特別支援教育のコース別「専門科目」を履修します。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保证する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

- 人文科学研究コース
- グローバル社会研究コース
- 社会科学研究コース

定員8名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
- 授業実践コース

定員12名

理工学専攻

基礎理学の素養を持ち、地域の活性化に欠かさない地域イノベーションの創出や持続可能な地域づくり、災害に強い地域づくりに貢献できる高度専門職業人としての理工系人材を育て、高知県のみならず社会全体の発展に寄与することを目指します。

- 数学物理学コース
- 化学学生命理工学コース
- 生物学コース
- 地球環境防災学コース
- 情報科学コース

定員55名

医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。本専攻では、幅広い学部卒業者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには医科学を基礎として社会的諸問題を包括的に捉え得る人材を養成します。また、平成29年度に開設した四国で唯一の公衆衛生学コースでは、予防医学・地域医療学の専門人材を養成し、公衆衛生学修士(MPH)を授与します。

- 医科学コース
- 公衆衛生学コース
- 公衆衛生学コース(1年コース)

定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。本専攻では、「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身につけた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身につけた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。また、母子看護学分野実践助産学課程では、高度専門医療人(助産師)を養成します。

- 看護教育・看護管理学分野
- 母子看護学分野 母子看護学課程
- 実践助産学課程
- 成人・老人看護学分野

定員12名

農林海洋科学専攻

農学や海洋科学の専門知識を基盤として、陸・海からの資源の安定的確保、資源の開発・獲得及び高度有効利用に関わる技術の開発、生産環境及び地域・地球環境の保全・修復により、人間社会の持続的発展に貢献できる高度専門職業人を養成します。

- 農林資源環境科学コース
- 農芸化学コース
- 海洋資源科学コース

定員55名

地域協働学専攻

地方創生及び今後の地域の再生と発展のための3つの課題、①後継者養成できる地域協働リーダーの必要性、②住民とともに策定された地域の長期ビジョンの必要性、③地域における新たな資源開発と市場開拓の必要性、に基づき、これらを解決できる人材を養成します。

定員3名

専門職学位課程【教職大学院】教職実践高度化専攻

常に高知県の学校教育の現場を念頭に置き、学校教育に関わる理論と実践の融合によって、学校教育が直面する諸課題の構造的・総合的な理解に立って学校教育運営をマネジメントし、実践できる中核の中堅教員と、授業力の向上や学級経営等の充実を目指して組織的な授業改善をリードできる中核教員、また、特別支援教育に関する指導・支援の充実を図り、組織的な体制を構築することのできる中核教員を養成します。

- 学校運営コース
- 教育実践コース
- 特別支援教育コース

定員15名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
- 物質機能科学コース

定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
- 医療学コース
- 情報医療学コース
- 小児神経精神医学コース
- MD-PhDコース
- 海洋医学コース

定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生の確立を強く意識した人材を養成します。

定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。



新しい世界へチャレンジ

こおり かつほ
郡 健帆 人文社会科学部人文社会科学科
 人文科学コース3年(鳥取県立米子西高校出身)

ノルウェーのインランド・ノルウェー応用科学大学に交換留学生として約半年間留学しました。高校の先輩の影響から大学では留学しようと思っていました。高知大学では文学を専門的に勉強していたので、文学や言語学が学べる観点からインランド・ノルウェー応用科学大学を留学先を選びました。

留学生活では様々なことを経験することができました。大学の授業では英語を使ってのやり取りで、初めのうちはディスカッション等うまく意見が伝えられず、苦労することもありました。膨大な予習課題やレポートなども必死にがんばりました。しかし、ノルウェー語という新たな言語や文化の違いなど新鮮な一面にも触れることができかったです。

また、自然が豊かで目まぐるしく変わる日照時間(白夜や極夜)やオーロラなども見ることができ、とても神秘的でした。高知大学では陸上部に所属していることから、オスロ・マラソンにも参加して充実した経験もできました。そして簡単にヨーロッパの他国に行けることから、北欧4ヶ国制覇したこともいい思い出です。

大学ではいろいろなことが経験できます。これからも新たな分野へ挑戦していきたいです。




陸上部の経験を活かし、オスロ・マラソンにもチャレンジ!



インランド・ノルウェー応用科学大学 ハーマル キャンパス

留学先DATA

インランド・ノルウェー応用科学大学 
 ノルウェー

- 学部 社会保健科学部、商業・社会科学部、教育学部、応用生態学・農学・生物科学部、視聴覚メディア・クリエイティブテクノロジー学部、ノルウェー映画学部
- 概要 ノルウェー南東部に6キャンパスを持つ総合大学で約13,000人の学生が在籍する。心理学・社会学、生物科学、映画、TV文化、観光学、アニメーション・ゲーム等、幅広い分野のコースを提供している。

※学生の所属・学年表記は令和元年度のものであります。

国際交流協定

高知大学では、28の国と地域、95の大学、研究所と大学間・部局間で国際交流協定を結んでおり、そのうち70の大学と学生交流に関する覚書を結んでいます。学生交流に関する覚書を結んでいる協定校は交換留学先となるほか、毎年たくさんの学生が高知大学を訪れます。

学生交流に関する覚書を結んでいる協定校一覧 2020.5.1現在

[大学間協定校]

インドネシア

- プラビジャヤ大学
- チェンデラワシ大学
- ボゴール農業大学
- タンジュンブラ大学
- リア外国語大学

タイ

- コンケン大学
- カセサート大学
- タマサート大学

韓国

- 韓瑞大校
- 金剛大校
- 白石大校
- 明知大校
- 国立慶尚大校
- 東国大校

フィリピン

- フィリピン大学
- ビコール大学
- パルディ州立大学
- カタンドゥアネス州立大学

中国

- 佳木斯大学
- 陝西科技大学
- 安徽大学
- 瀋陽薬科大学
- 河南大学
- 常州大学
- 天津師範大学
- 南京航空航天大学
- 上海海洋大学
- 北京聯合大学
- 北京外国語大学
- 東北大学秦皇島分校

ベトナム

- ハノイ科学工業大学
- ハノイ科学大学
- タイグエン大学

マレーシア

- マレーシアアトラダ大学
- マレーシアサラワク大学

台湾

- 国立中山大学
- 東海大学
- 中国文化大学
- 国立東華大学
- 国立高雄科技大学

アメリカ

- カリフォルニア州立大学フレズノ校
- ロードアイランド大学

メキシコ

- 国立ポリテク工科大学 応用研究所サルティヨ校
- サルティヨ工科大学

ブラジル

- 南マツグロツソ連邦大学

バーレーン

- アイルランド王立外科医学院
- バーレーン医科大学

スウェーデン

- イェーテボリ大学

チェコ

- 南ボヘミア大学

ノルウェー

- インランド・ノルウェー応用科学大学

ガーナ

- ガーナ大学

ポーランド

- クラクフ工科大学

カザフスタン

- カザフ国立大学

[部局間協定校]

人文社会科学部

- 釜山外国語大学校日本語学部(韓国)
- 高雄大学人文社会科学部(台湾)
- 開南大学(台湾)
- 淡工大学(台湾)
- 北京語言大学(中国)

教育学部

- モンゴル・ロシア共同学校(モンゴル)
- コバスキュラ大学教育学部(フィンランド)
- パレストラ体育スポーツ大学(チェコ)
- ユニバーシティ・カレッジ・コペンハーゲン(デンマーク)
- 樹人医療管理専科学校(台湾)

医学部

- 国立台湾大学医学部(台湾)
- ソンクラーナカリン大学医学部(タイ)
- ハワイ大学医学部(アメリカ)
- タシュケント国立歯科大学(ウズベキスタン)
- セメイ国立医科大学(カザフスタン)

農林海洋科学部

- 浙江大学生物系統工程及び食品学院(中国)
- シェレバンクラ農科大学(パングラデシュ)

地域協働学部

- ラクイラ大学土木建設建築環境工学部(イタリア)

留学

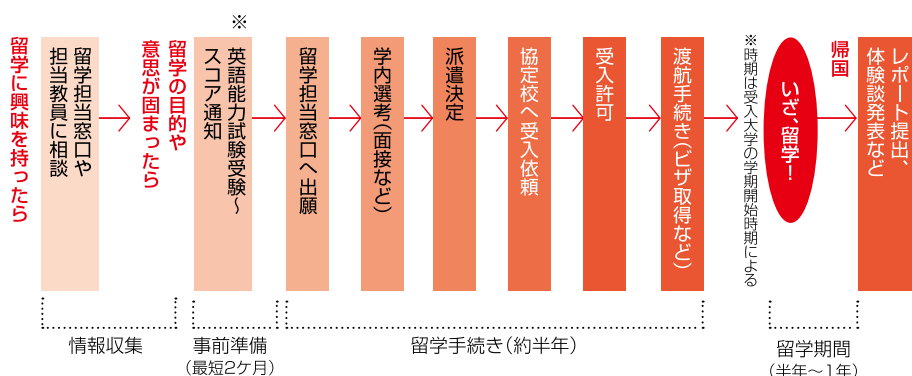
学生時代の留学は一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ国際連携推進センターに相談に来てください。交換留学の情報や国際交流イベントのお知らせなどは、高知大学のHPからチェックできます。 <http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

▶ 留学の種類

- **交換留学** 留学先の大学で取得した単位が高知大学の単位として認定されます。留学期間中は高知大学に授業料を納付します。留学先での授業料は必要ありません。期間は半年または1年間で、学部、コースによっては、4年間の卒業も可能です。
- **私費留学** 高知大学を休学し、自分の希望する留学先で学びます。休学中は、高知大学の授業料は免除されますが、留学先で授業料等の費用が発生します。

▶ 留学の流れ — 交換留学 —

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



※ 英語圏の大学への留学には、英語能力をはかる試験で一定以上のスコアをクリアする必要があります。主にTOEFLかIELTSのスコアが用いられます。

TOEFL

英語を母語としない人の英語能力をはかるテストで、リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングのテストからなります。

IELTS

海外留学や研修のための英語力を証明するテストです。英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。高知大学でも年2回受験できます(平成30年度)。

▶ 海外留学説明会

協定校への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。



▶ 国際交流基金

高知大学では、国際交流基金という独自の奨学金制度があり、複数の事業で毎年多くの学生を助成しています。そのうちのひとつが外国へ留学する学生への奨学事業で、海外の大学で学ぶ本学学生に奨学金を支給しています。海外で生活するうえでの負担を少しでも軽減しよう、という趣旨のもとで行っています。



令和元年度実績：交換留学に対する支援一採択者10人(奨学金内訳：欧米方面18万円、アジア方面15万円)
短期派遣に対する支援一採択者14人(奨学金内訳：欧米方面5万円、アジア方面3万円)

多様な短期海外留学コース

高知大学では気軽に留学を体験できるように、語学、文化体験などの多様な短期間留学コースを揃えています。

▶ タイ文化社会体験コース



発展著しいアジアの大都市バンコクで、タイの文化のみならず現代社会を2週間で体験できます。短期間で仏教や王室文化、キックボクシング、タイ料理、チャオプラヤ川クルーズなどの体験のほか、観光産業や日曜市なども視察できる宝石箱のようなコースです。

▶ グローバルコミュニケーション



マレーシア、フィリピン、オーストラリアなどの英語圏で自分の実力に合わせて英語力・コミュニケーション力を磨くコース。TOEFL、IELTSなど英語能力スコアアップは間違いなし！帰国後さらに交換留学を目指す学生も多いコースです。

Campus Life

ようこそ“おらんく”のキャンパスへ!

「おらんく」とは、土佐弁で「私の家」という意味。高知県は、気候が温暖な上、住む人も気さくでおおらかな土地柄です。高知大学には、「朝倉」、「岡豊」、「物部」の3つのキャンパスがあり、学生はのびのびとした雰囲気の中で学生生活を送っています。学生主体のイベントも盛りたくさん! 楽しいキャンパスライフが待っていますよ!!

▶ Year Calendar

4 Apr. 5 May 6 June 7 July 8 Aug. 9 Sep.

各種スポーツ大会 イベント

よさこい祭り

- 入学式
- オリエンテーション
- 第1学期授業開始
- 演習林トレイルランニングレース
- 医学部附属病院七夕コンサート
- 第1学期試験期間
- 第2学期履修登録

入学後すぐは新歓イベントがたくさんあるので、皆さんの好きなことを見つけよう!

高知の暮らし、楽しんでる?

高知での大学生活について、先輩に聞いてみました!

Do you enjoy living in Kochi?

わたしが
お答えします!

渡部 珠羅 さん
人文社会科学部
人文社会科学科 1年
.....
高知県立高知南高校出身

Q 大学生活をひとことで言うと?

とにかく楽しい! 高校とは違い大学では個性が出せるので、気の合う友達も見つけやすいです。また高知大生は約4分の3が県外出身者。沖縄から北海道まで様々な方言が飛び交い、それだけで盛り上がります!

Q 授業以外は何をしていますか?

アルバイトをしたり友達と遊んだりいろいろです。バイト先は大学近くの居酒屋で、いろんな人と仲良くなれて交流の幅が広がりました。休みの日には高知市の中心街・帯屋町に行ったり、夜の桂浜に花火をしに行ったり。最近免許を取ったので、県東部のヤ・シパークや西部の久礼大正市場などへ、みんなでドライブも計画中です!

Q 高知の魅力は何ですか?

やっぱり食べ物がおいしいこと。特に魚は鮮度が違います。カツオの塩たたきはぜひ食べてほしい(笑)。

また高知といえば、よさこい祭り。私も県外出身の友達を誘って一緒に踊りました。最高の瞬間に出会えますよ。



カマエテリアでもカツオの花たきからカマエテリアに登場するのも!

学祭は大盛り上がり必至！
物部キャンパスでは
あかうしとのふれあいも！



医学部の体育祭は
とにかく盛り上がります！

卒業おめでとう！



〜おめでとう〜



- 第2学期授業開始
- 南風祭



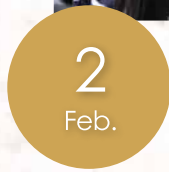
- 黒潮祭
- 物部キャンパス一日公開
- 室戸貫歩



- 医学部体育祭
- 学長杯争奪駅伝



- 寒中水泳



- 第2学期試験
- 卒論発表会



- 卒業式

キャンパスライフ



室戸岬まで約90kmの
道のりを歩く高知大学
伝統行事！

ささあい...



キャンパスの防災情報



高知大学では、危機管理本部を設置して日頃から南海トラフ地震への様々な取り組みを行っており、徹底した防災教育と最大級の被害を想定した対策を講じています。

なお、朝倉・岡豊キャンパス、物部キャンパスの学生が主に居住する地域(のいち駅・後免駅周辺)は津波の浸水予想地域には含まれておらず、物部キャンパスについては、地域最大の緊急避難施設として、南国市とも協定を結んでいます。

また、高知大学での防災活動の推進力のひとつが、学生団体「防災すけっと隊」。

学生目線で工夫を凝らした様々な防災イベントや啓発活動などを展開し、大学生や地域住民の防災意識の向上に一役買っています。

マスコットキャラクター
「ニゲロン」



大学主体の取り組み

- 地震発生時の行動マニュアルの整備
- 携帯メールを利用したリアルタイムでの安否確認システムの整備
- 備蓄やライフラインの確保
- 防災訓練や、防災をテーマにした講演会など防災教育の実施

ほか



防災すけっと隊の活動

- 地域の小・中・高校での防災授業
防災クイズや防災ゲームで楽しく学ぶ、防災マップ作成や災害メカニズムの学習を行うなど、学年に応じたやり方で地域の学校に出前授業を行っています。
- 防災グッズの開発・販売
朝倉キャンパス周辺の防災マップ作りや、一人暮らしの学生にぴったりの防災パックの開発・販売を行っています。
- 防災イベントの開催
高知県の防災力向上を目的とした様々なイベントを企画し、実施しています。



Club Activities

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。同じ時間と思いを共有した仲間は、きっと一生の宝物になるはずです。

サークル活動

今年のチームスローガンは
「和」です!

サッカー部



高知大学体育会サッカー部は、部員全員が常に向上心を持ち様々な活動に取り組んでいます。部内には分析班、メンタル班、美化班、レクリエーション班、新入生班があります。グラウンドでの技術練習のみならず、組織・戦術論、心理学、哲学などの様々な視点からの学びを活かし、勝利を目指しています!

また、少年少女サッカー教室など、様々な地域貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根付き応援される集団であり続

けたいと考えています。

今年は「全国ベスト16」を目標にしています。成し遂げられるよう、部員一同「和」を持って取り組んでいます!



サークル一覧

体育系サークル

朝倉キャンパス 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、男女ハンドボール部、硬式野球部、バドミントン部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、卓球部、体操競技部、武道空手部、バスケットボール部、軟式野球部、フットサル部、ラクロス部、漕艇部

岡豊キャンパス 医学部合気道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部自転車部、医学部蹴球部、医学部柔道部、医学部準硬式野球部、医学部ソフトボール部、医学部卓球部、医学部ダイビング部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ハンドボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上競技部

硬式野球部

練習場所や時間が限られている中で効率の良い練習をするため、常に意識を高く持ち練習に取り組んでいます。また感謝の心も忘れず、応援して頂いている方々へ恩返しができるよう、四国優勝そして神宮出場を目指しています。



陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。



医学部ハンドボール部

部として承認された2年目の部活ですが、最強のコーチとともに、部員13人で日々楽しくハンドボールをしています。週3日の練習の内、2日は農学部体育館で練習しており、農学部や本学の方も大歓迎です。



高知の剣士
ここにあり!

剣道部

剣道部は、矢野先生をはじめ多くの方々のご指導の下日々稽古に精進しております。昨年には男女アベックでの全日本出場を果たし、男女とも着実に実力をつけ中四国を代表するチームになっています。

今や男女ともに全日本出場ではなく、全国の上位入賞を目指して日々活動を行っています。興味がある方はぜひ武道場までお越しください。



医学部ゴルフ部

医学部ゴルフ部はほとんどの部員が大学からゴルフを始めた人々です。女子部員も多数在籍し、高知大学医学部キャンパスの横にある専用の練習場や黒潮C.C.にて、男女仲良く、日々大会に向けて練習に励んでいます。





高知大学のサークル数は100以上!
このほかに個性的な同好会もたくさんあります。
詳しい情報は、高知大学のホームページを
チェックしてみてください!

「派手な技で
お客さんを魅了しよう！」

文化系サークル

朝倉キャンパス 交響楽団、吹奏楽団、合唱団、ギターマンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、FOLK FOLK、軽音楽サークルBLUESKY、SEA BREEZE、美術部、表千家不白流茶道部、裏千家茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、天文系サークル星の会、野生生物研究会、写真部、子ども倶楽部、総合映像研究会、放送研究会JAKKU、園芸部、奇術部Trick or Treat、Hand to hand、文芸創作サークル海老鏡、環境サークルESWIQ、防災すけっと隊、ジャズ研究会ゆずジャズ、アカペラサークルOn-Air

岡豊キャンパス アウトドア・HAM・サークル、ACT-K、ACLS南国、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部裏千家茶道部、医学部映画研究会、医学部小原流華道部、医学部合唱団、医学部管弦楽団、医学部漢方研究会(うどん部)、医学部軽音楽部、医学部写真部、医学部ジャズ研究会、医学部ダンス部、医学部天文部、医学部美術部、地域医療研究会ARMS、パソコンサークルDOS/V、Peer部、フィールド医学研究会、Mental Health Care Club、医学部まんが研究部

奇術部 Trick or Treat

高知大学奇術部Trick or Treatは地域のお祭りやイベントに参加し、ジャグリングやマジックで人々を楽しませるために奮闘中です! また、大きなホールや文化祭でステージも行っていきます! 奇術部では他の人とは違った特技を身に



つけることができます!
練習の成果をお客さんに褒めてもらえる喜びにハマること間違いなし!



キャンパスライフ

美術部

私たち美術部は毎週水曜日の13時以降に活動しています。現在の部員は19名で、普段は部室等でそれぞれ自由に絵を描いています。春と秋の年2回、長期休暇後に作品発表の場として美術部展を開催しています。



吹奏楽団

主には定期演奏会に向けて団員皆で活動しています。様々な大学と交流があり、たくさん友達を作ることができます。団内行事も色々あり、楽しい大学生を送れること間違いなしです! 初心者・経験者共に大募集です!



表千家不白流茶道部

茶道部では、週に一度表千家不白流の先生をお呼びしてお稽古をしています。美味しい和菓子と抹茶を楽しみながら、掛け軸やお花、マナーなどを丁寧に学ぶことができます。マンツーマン指導で丁寧な指導が魅力です。



野生生物研究会

釣りや昆虫採集、植物採集などを中心に、自然の中で生物と関わる様々な活動を行っています。活動場所は主に大学近くの川や海、山です。時には県外等に遠征を行ったり、キャンプをしたりもしています!



高知学生「旅鯨人」

私達は、高知大学と高知県立大学の学生を中心に活動しているよさこいサークルです! 月・水・金の19時~21時に、高知大学生協前の赤レンガ広場で練習しています。高知よさこい祭りだけでなく、大阪のこいや祭りや香川県のYOSAKOI高松祭りなどにも出演しています! また、BBQやスポーツ大会も定期的に開催しています! 興味のある方は、ぜひ一度お越しください!



「旅鯨人で
よさこいを踊ろう！」





朝倉キャンパス

ASAKURA Campus



充実キャンパスでのびのびライフ

1. メインストリート

メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃべりにもびったりの場所です。



2. 高知大学生協 IKUS

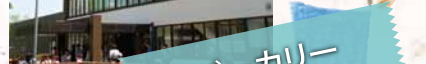
朝倉キャンパスの学食にはカフェテリアとベーカリーが併設されています。特に焼き立てパンは種類も多くて大人気! 季節ごとのアイデア商品も登場します。



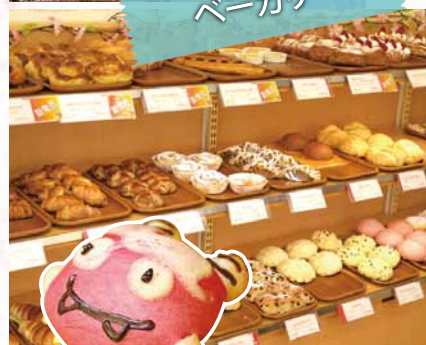
カフェテリア



学生が多く、にぎやかなキャンパスです。メインストリートのヤシの木が南国土佐らしい!



ベーカリー



パソコン購入

ノートパソコンは授業で使うので必須です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、サポート修理も受付。安心です。



書籍コーナー



コンビニコーナー



3. hocco sweets ホッコ・スイーツ

特別支援学校に通う生徒の就労支援の場でもある菓子工房「hocco sweets」。キャンパス内で、絶品ロールケーキや本格ドイツ菓子が食べられるのはここだけかも?!



メディアの森は大学の学びには欠かせない場所

4. メディアの森

試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。メディアの森とは、朝倉キャンパス学術情報基盤図書館の愛称です。新聞閲覧コーナーやアクティブラーニングフロア、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書も、もちろん、充実。



5. トレーニング室・武道館

2013年に新設されたトレーニング室と、2014年に完成した武道館。授業でも使用しますが、特にスポーツをしている学生からは、体づくりに役立つと好評です。



学生さんに聞きました!

キャンパス周辺ガイド

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。



Watching ASAKURA campus



シンボルツリー「おうちの木」

おうち 檜クラブ学生ラウンジ ほっとステーション

建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とのおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

※檜(おうち)=センダン

岡豊キャンパス

OKO Campus



医学部生は勉強も 遊びも真剣!

キャンパス内にある附属病院には、2014年に屋上ヘリポートを備えた第二病棟が完成。救急医療や災害時医療など、地域の期待が大きい病院での実習には自然と身が入ります。



勉学編

医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大学医学部の魅力です。



課外活動編

毎年10月に行われる学祭「南風祭」のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭も開催。イベントを通してみんなが仲良くなれます。勉強のストレスも発散できます!



Shop情報



① 学生食堂



② 書店



③ タリーズコーヒー



医学学科ロビー



看護学科ロビー

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です！



キャンパスライフ

学生さんに聞きました！

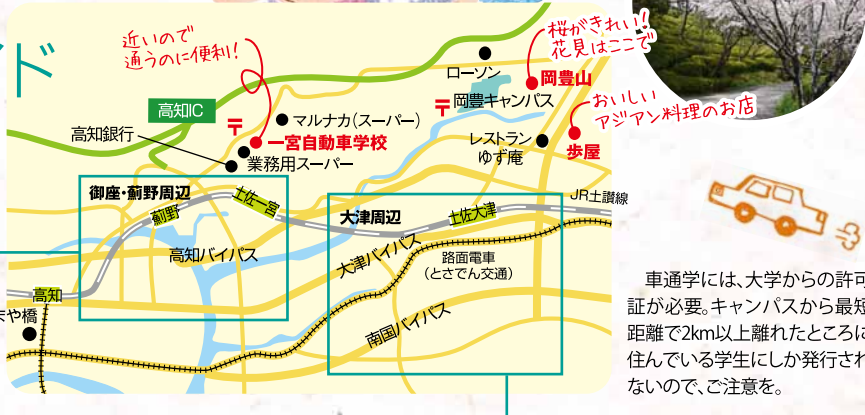
キャンパスに面した川にはかわせみや鴨もいて、散歩すると和みますよ。また、敷地内には附属病院があり一般の方がたくさん来られます

キャンパス周辺ガイド

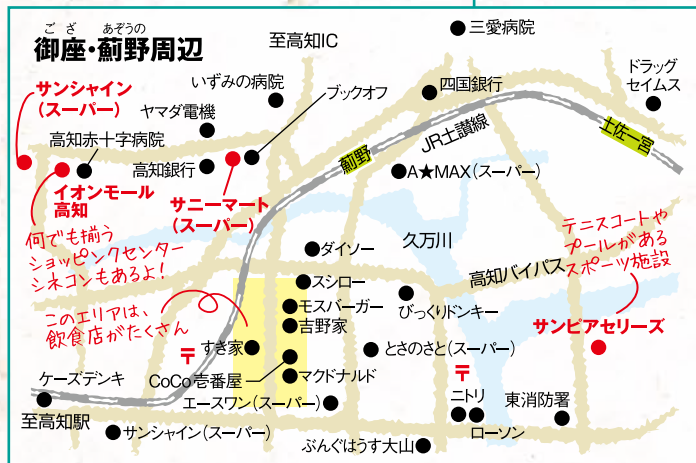
キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している御座・薊野や大津、後免周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

ごめん
後免周辺の情報は、物部キャンパスページ(▶P78)をご参照ください。

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないで、ご注意ください。





物部キャンパス

MONOBE Campus



周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

広大な農場

教室のすぐ前に広がる農場。ここで栽培されたお米や季節の野菜を構内で販売しています。安くておいしいと評判ですよ。

学習・研究・厚生施設

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使える。アクティブな生活が満喫できます！



カフェテリア

福利厚生施設



研究室



野菜販売

キャンパス内にある農場には、牛がたくさん。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ！

高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

森林

河川

農地

ラボ

海洋

海底

フィールドサイエンス



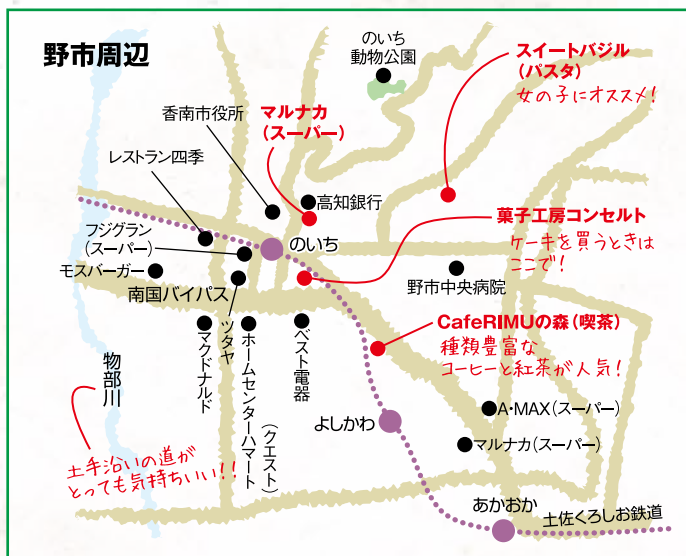
1 キャンパスに隣接する農場は、なんと東京ドーム4個分もの広さ! 2 農場では田植え体験や、様々な農作物の栽培環境を学ぶ授業などがある 3 土佐あかうしの触れ合いや飼育管理の体験も! 4 高知県の山は森林率日本一。亜熱帯から亜寒帯までの幅広い植生が特徴だ 5 水質日本一の仁淀川、四万十川、キャンパス横を流れる物部川など流域環境も多様 6 シュノーケリングや釣りを通じて海と触れ合う授業や、実習船で水質調査を行う授業も! 7 海底コア研究の最先端に触れ、太古の地球から未来へと思いを馳せる 8 食や環境、土壌に見られる様々な微生物を生育させる作業と観察を行う

キャンパスライフ



キャンパス周辺ガイド

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が大空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます! 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



Daily Life

Cafeteria

朝から晩までいろいろ使える学食



「鶏飯唐揚げ」は
高知大学生協
不動の人気No.1!



高知大学生協 IKUS

朝倉 岡豊 物部

営業時間はキャンパスによって異なります。

ペーカリーカフェがお気に入り、おもしろなものはないかなとよく見に行きます。おすすめは、クッキーシュー! 大好きで、頑張った次の日のご褒美に週1で食べています。ミールプランを利用している友達が、朝食300円分無料サービスを利用しているのが羨ましいです。午前10時30分まで利用することができるので、1限目の授業が終わった後に遅めの朝食を食べることができるかと。



ミールプラン

年間決まった額を先に支払うことで1日定められた額(コースによって1,200円、1,000円、600円)まで食堂メニューが食べ放題になるプランのことです。「マイページ」というリアルタイムで食事歴がわかるインターネット上のサービスもあります。また2020年度から繰越システムが導入されました。これは年度末時点で利用金額合計が「購入金額に満たない」場合、次年度に繰越(充当)できるシステムです。ミールプランを使い切れなくても、損をすることがほとんどありません。



学術情報基盤図書館

Library

朝倉 岡豊 物部

テスト期間中には、図書館の勉強スペースをよく利用しています。周りの人が勉強していると、自分も頑張らなきゃとやる気になります。グループ学習室を借りて、友達と話し合いながら課題をすることも。

2階のPCスペースは、レポートを書くのによく使います。勉強用の資料を印刷するのに、無料でプリンターが利用できるのととても便利です。



キャレル



アクティブラーニングフロア

朝倉

▶レファレンスカウンター

図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取り寄せることもできます。

▶アクティブラーニングフロア

学生が集まって、グループディスカッションやグループワークができるスペースです。可動式のテーブルやイス、ホワイトボードがあり人数や目的に合わせてレイアウトを変更して利用できます。

保健管理センター Health



朝倉キャンパス 保健管理センター

それぞれのキャンパスに医師・看護師(物部キャンパスは看護師のみ)が常駐し、安全な生活をサポート。病気やケガの応急手当てから、健康やメンタルヘルスに関する相談にもなっています。友達づくりなどのイベントも行っていますので参加してみてくださいね。

定期的に取り組んでいます!

朝倉 岡豊 物部

- 健康診断: 全学生対象
- メンタルヘルスに関するアンケート調査: 新入生対象
- 感染症対策、予防接種のチェック
- 心電図検査: インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 特殊健診: 実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 骨密度検査
- アルコールパッチテスト
- イベント: メンタルヘルス講演会、料理作りなど

学生何でも相談窓口

朝倉

相談できる場所があるのはホントに安心...

人間関係・課外活動・アルバイト・事件や事故など学生生活のトラブルや悩み、どこに相談したらいいかわからない時は、ひとまずこちらへ。気軽に相談してください。



キャンパスライフ支援ルームからふるパレット

朝倉

学生スタッフも活躍中!

リラックスしたい、ちょっと困っていることを話したいなど、障害や疾病の有無に関わらず誰でも気軽に立ち寄れる場所です。学部・学年を超えた交流や、生活・学内のお得な情報をGETできるチャンスも! ぜひ気軽に利用してください。

Cost of Living



大学生の自活ってどんな感じ？



川崎さんの生活費

収入

仕送り 10,000円+家賃
アルバイト 20,000円

支出

・住居費 39,000円
・食費、光熱費 12,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 5,000円

アパートで暮らす

川崎 智生 | 人文社会科学部4年 | 大阪府立三国丘高校出身 |

部屋探しやPC購入は、生協が便利!

僕は騒々しくない自然豊かな場所で学びたくて高知大学に来ました。このアパートは生協管理物件で、静かな環境が気に入っています。大学生協には、部屋探しだけでなくパソコンの購入などでもお世話になりました。今はその恩返しがしたいと、自分も生協のサポーターになってアルバイトをしています。一人暮らし・勉強・アルバイト、うまく両立して自立した学生生活を送りたいと思っています。

体にも財布にもやさしいミールプラン

カフェテリアやベーカーリーカフェで使えるミールプランは、一人暮らしの強い味方です。週ごとに替わるメニューは常に200種類ほどあり、毎日食べても飽きません。また、購入金額以上に食事ができるため、大変助かっています。

▶ミールプランの詳細情報は、P79へ

一人暮らしの仲間同士、助け合える

高知大学は県外出身者が多く、みんな一人暮らし。図書館で勉強した後は、いつも誰かのところに集合です(笑)。友達づくりの機会も多いので、遠方から一人で来て心配はいりません。僕は、仁淀川でバーベキューをした新入生歓迎会がとても印象に残っています。みんなでおいしいお肉を食べ、川で泳いで、仲良くなれましたね。



國米さんの生活費

寮母さん、調理師さん、友人の太庭さんと。写真中央が國米さん

収入

仕送り 50,000円
(寮費込)
アルバイト 30,000円

支出

・寮費 20,000円
(食費・光熱費込み)
・食費 10,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 10,000円
・貯金 20,000円

学生寮で暮らす

國米 優 | 人文社会科学部1年 | 大阪府立箕面高校出身 |

学年も出身地も異なる仲間

かつら寮は学生自治で運営されており、ルールあり、門限あり、外泊には届けが必要ですが、「寮に入ってよかった」と思うことがたくさんあります。入学当初は不安がいっぱいでしたが、先輩に授業や履修のことを教えてもらってほっとしました。気心知れた友達もでき、他愛ないことで笑い合い、修学旅行のような楽しい毎日です。防災訓練もあり、万一の時にもみんなと一緒に心強いですね。寮の中はいろんな方言が飛び交っていて、日本は広いなあと実感。自分の知らない地域にも興味を持てるし、視野が広がります。

家族のような寮母さんと調理師さん

寮のごはんは、平日の昼と夜の2食。お昼は授業の合間に食べに帰ります。調理師さんの手づくりで、とってもおいしい上に、栄養のバランスも考えられています。夜はアルバイトで疲れて帰ってもおいしいごはんが待っているのがうれしいです!

調理師さんも寮母さんも寮生の味方で、体調が悪い時には「おかゆ作ろうか?」と声をかけてくれたり、「あれ?髪切った?」と気づいてくれたり。家族のようなあたたかさがあり、いつも元気をもらっています。

食堂はみんなの楽しい「憩いの場」

試験の時期には、たくさんの人が食堂で勉強をしています。「頑張っている姿を見て頑張る!」という感じで、お互いに切磋琢磨しています。寮の食事が無い土日には、料理をしている人も多く、みんな少しずつレパートリーが増え、料理の腕も上がっています。お互いにキッチンを持ちよく使う気遣いもあり、女子寮ならではの成長だなあと感じます。

「寮祭」や「追い出しコンパ」など、楽しい行事もあり、1年はあっという間。充実した学生生活が送れます!

入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee, Tuition, Scholarship

入学料・授業料

高知大学の初年度納付金は、学部・プログラムに関わらず817,800円です。授業料の納付は、第1学期分については、5月中、第2学期分については11月中と決められていますが、経済的理由により入学料または授業料の納付が困難な場合は、入学料・授業料減免及び徴収猶予の制度があります。

▶ 初年度納付金 **817,800円**
(入学料+授業料)

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円 5月中
	第2学期	267,900円 11月中
	年額	535,800円

※入学料および授業料について改定が行われた場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■ 入学料・授業料に関するお問い合わせ先 財務部経理室出納係 TEL 088-844-8125

住居

▶ 学生寮について



南浜寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南浜寮 ※2	男子 (242人)	約27,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮 ※2	女子 (60人)	約32,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (82人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車まで約10分
日章寮	男子 (60人)	約10,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部キャンパスに隣接

■ 日章寮を除く学生寮に関するお問い合わせ先 学務部学生支援課寮務係 TEL 088-844-8091

■ 日章寮に関するお問い合わせ先 物部総務課学務室学生支援係 TEL 088-864-5116

※1 入寮の許可期間は、最短修業年限終了の日を超えることはできません。ただし、特別な理由がある場合には、入寮期間の延長を認めることがあります。

※2 新型コロナウイルス感染拡大の防止策として、南浜寮及びかつら寮は令和3年4月1日以降、当分の間、1部屋1人での運用としますので、それに伴い、南浜寮は130人程度、かつら寮は30人程度の収容となる見込みです。

▶ 国際交流会館

外国人留学生・研究者専用住居として、平成5年度末に国際交流会館が、岡豊キャンパスと物部キャンパスに設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

支援制度

修学支援新制度による入学料・授業料の減免について

「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく、学部学生(留学生を除く)を対象とした新しい修学支援制度が始まりました。

本支援制度の対象となった学生は、入学料・授業料が減免され、日本学生支援機構より奨学金が給付されます。

この制度による支援を受けるには、まず日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用されることが必要です。採用された奨学金の支援区分により授業料等の減免額(全額免除、2/3免除又は1/3免除)も決定します。

■ 入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 学生生活支援係 TEL 088-844-8146

▶ アパート・マンションについて

アパートやマンションの情報提供は、高知大学生活協同組合が行っています。賃料は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

アパート(6畳~8畳 1K・ワンルーム)
月額:約25,000円~約50,000円



■ 高知大学生活協同組合 TEL 088-844-1501

※高知大学生協では、大学生のための物件情報をホームページでご案内しています。
<https://vsign.jp/kouchi/>

奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構の奨学金が主なものですが、その他に高知大学独自の奨学金及び地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金

大学・大学院等で学ぶ人を対象とした、国が実施する奨学金です。

▶ 給付型奨学金 (学部奨学生)

2020年4月から国の施策の一つである「高等教育の修学支援新制度」が実施されることとなり、本支援の対象となった学生は、入学金や授業料が減免され、日本学生支援機構より奨学金が給付されます。高知大学は、文部科学大臣に対して高等教育の修学支援新制度の機関要件確認申請を行い、対象機関(大学等)として公表されました。

支援内容

授業料等減免制度の創設(入学金を含む)、給付型奨学金の支給の拡充
※ 但し、すでに支払った入学金・授業料については対象外となります。

対象となる学生

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生。但し、留学生は対象外。

● 日本学生支援機構ホームページ「奨学金の制度(給付型)」
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>でご確認ください。

▶ 貸与型奨学金

奨学金の種類

(ア) 第一種奨学金(無利息)

(イ) 第二種奨学金(利息付)・・・在学中は無利息、卒業後年3%を上限とする利息付。

(ウ) 入学時特別増額貸与奨学金(利息付)・・・この奨学金は日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したが、融資を受けられなかった世帯の学生を対象とし、第1学年(編入学生の入学年次を含む)において、希望により第1回目振込時の月額に増額して貸与を受けることができます。

● 日本学生支援機構奨学金の詳細内容は日本学生支援機構のホームページを確認してください。
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

高知大学における給付奨学金制度の実施について

① 予約採用

給付奨学生の採用候補者に決定している人は、進学後所定の期日までに「進学届」を大学の奨学金担当窓口へ提出する必要があります。この「進学届」を提出しないと給付奨学生として採用されません。

② 入学後の募集スケジュール(予定):年間2回の募集が予定されています。

● 4月募集→7月採用決定 ● 9月募集→12月採用決定

募集等の実施時期についての詳細は日本学生支援機構から通知があり次第、KULAS・奨学金関係の掲示板でお知らせします。

③ 在籍報告

奨学金受給中は定期的に在籍状況及び通学形態についての報告が必要です。所定の期限までに報告がないときは、奨学金の支給が止まります。

④ 奨学金の継続

毎年度、翌年度の給付継続について申請し、資格について審査を受けます。成績不振等の場合、奨学金の交付が止まること等があります。

(ア) 第一種奨学金(無利息)(貸与月額)(予定)

<学部奨学生>

自宅通学	(最高月額) 45,000円		30,000円	20,000円
自宅外通学	(最高月額) 51,000円	40,000円	30,000円	20,000円

※最高月額を選択するには家計支持者の認定所得金額が日本学生支援機構の定める収入基準額以下である必要があります。
※給付奨学金を受ける人は、日本学生支援機構第一種奨学金(貸与)の奨学金月額が減額または増額される場合があります。

<大学院奨学生>

修士課程	50,000円、88,000円から選択	博士課程	80,000円、122,000円から選択
------	---------------------	------	----------------------

(イ) 第二種奨学金(貸与月額)(予定)

学部奨学生	2万円、3万円、4万円、5万円、6万円、7万円、8万円、9万円、10万円、11万円、12万円から選択
大学院奨学生	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

(ウ) 入学時特別増額貸与奨学金(貸与額) 10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択

高知大学だけの奨学金制度

▶ 高知大学修学支援基金奨学金

高知大学に在学する経済的理由により修学が困難な学生の修学を支援し、高知県及び我が国の将来を支える人材育成に資することを目的とする、寄附金に基づく「高知大学修学支援基金」を原資とした返還義務を必要としない奨学金です。

▶ 高知大学地方創生人材育成基金奨学金

高知の将来を考え、高知に根ざし、高知のために真に貢献しようとする学生を対象に奨学金を給付することにより、将来に渡り高知で生計を立て、その発展に貢献する人材の育成に資することを目的とする奨学金(給付)です。

▶ 高知大学医学部岡豊奨学会奨学金制度

医学部に在学する学資の支弁が困難な学生(外国人留学生を除く)に対して奨学金を1年間支給するものです。

▶ 高知大学池知奨学金

農学部農学科森林科学コース及び農林海洋科学部農林資源環境科学科に在学し、将来林業の振興に貢献しようとする学術優秀、志操堅実等であって、学資の支弁が困難で他から奨学金を受けない学生に対して支給する奨学金です。

▶ 土佐さきがけプログラム奨学事業

土佐さきがけプログラムの学生で、学業成績等一定の基準を満たした者に対し、グリーンサイエンス人材育成コースの修士課程における留学や授業料、国際人材育成コースにおける留学、スポーツ人材育成コースにおける各種競技会への遠征等にかかる経費の支援を行います。

▶ 国際交流基金

詳しくは、国際交流ページ(68ページ)をご覧ください。

■ 奨学金制度に関する
お問い合わせ先

朝倉キャンパス 学生支援課 TEL 088-844-8565、088-844-8095

岡豊キャンパス 学生課 TEL 088-880-2268 / 物部キャンパス 物部総務課学務室 TEL 088-864-5116

学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険(学研賠)制度

この保険制度は、大学で学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った被害を救済(学研災)し、また正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償(学研賠)するための保険制度です。学生は安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。



就職活動支援 Career Support

社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、学生総合支援センターキャリア形成支援ユニットと学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

きめ細やかな就活サポート 就職室を上手に利用しよう!

サポート 1 Support. 1

いつでも、どんなことでも、
専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。

私たちが全力で
サポートします!!



経験豊富な就職相談員がいるので心強い!

高知大学の就職室にはスタッフ以外にも丁寧に相談に乗ってくれる経験豊富な外部の就職相談員が数多くいます。就職活動は社会状況や雇用状況などの就職環境を知ること、自分自身を知ること、採用する相手先を知ることが基本です。就職相談員は相談以外にも履歴書・応募書類・エントリーシートの添削や個人面接の練習なども行ってくれます。

また、外部相談員以外にも「ハローワーク高知」の大卒ジョブサポーターが大学に来てくれます。このように充実した進路・就職相談体制がありますので気軽に相談に来てください。

▶ 就職相談員からのメッセージ

「自分」の編集をサポート
します!

国光 ゆかり ひなた編集室 代表

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点が活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけ出し、整理し、魅力的に表現する...こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。



サポート 2 Support. 2

今すぐ役立つ、
オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



サポート 3 Support. 3

話題の就活本や、
過去の「就職活動報告書」が
閲覧できます!



就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職活動(内定)報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!

サポート 4 Support. 4 インターンシップの窓口として 学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんが自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

サポート 5 Support. 5

大学に来た求人情報もPCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

就活力を高めるプログラム

理論系・実践系のセミナーを活用して、動ける自分に出会えるはず!

THINKING

社会での自分の役割を自己分析から考え、就職活動を楽しめるような意味づけをしていきます。

ACTION

多彩な実践セミナーで、経験から得た気づきを今後の行動に活かせるようにサポートしています。

皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね!

就活セミナー (理論編)

外部から講師を招聘して、就職活動に対する基本的な知識・スキルを座学で身につけます。

就活スケジュール・スタートアップ
就職室の活用術

教養・適性試験対策

エントリーシート対策 ●

面接対策 ●

グループディスカッション対策 ●

マナー・エチケット講座

直前対策講座



面接対策指導

就活セミナー (実践編)

理論編と連動しながら、実践的な対策を行っています。

U・Iターン就職相談会
教養・適性試験対策実践

● エントリーシート実践

● 面接対策特訓

● グループディスカッション実践

学内業界研究セミナー

学内合同企業説明会

● バסטゥアー支援

個別企業説明会、個別就職相談

就活生の強い味方!

教職・公務員セミナー

教職・公務員に特化したセミナーも実施しています。

採用試験の概要と対策
(教職・公務員)

出願への準備(教職)

合格者報告・座談会(教職)

国家公務員セミナー(公務員)

人物評価の対策(教職・公務員)

人物評価実践指導(教職・公務員)

業界研究セミナー「公務のしごと」
(公務員)

自己分析・理解セミナー

就職活動の軸となる自己アピールポイント抽出のために自己理解を実践するセミナーです。

インターンシップ支援プログラム

就職活動が本格化する前に業界・企業、『働くこと』を考えるキッカケとしてインターンシップに参加することをおススメしています。事前のセミナーや様々な地域のインターンシップ情報が得られる相談会を実施します。

インターンシップスタートガイダンス

西日本各県のインターンシップ担当者によるブース形式の相談会

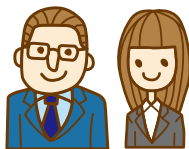
中四国の企業中心のマッチングセミナー

高知県企業マッチングセミナー

インターンシップマナーセミナー

関西圏・岡山 バストゥアー

「希望する地域や、あこがれの企業の説明会に参加したい。でも遠方へ何度も出向くのは金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、関西圏・岡山エリアへの格安バストゥアーを催行しています。



就活生と企業をつなぐ! 就職マッチング支援

高知大学独自の取り組み!

本学では、企業内定、公務員(国家、地方・県)試験、教員採用試験の結果が判明する7月以降も就職活動を続けている学生の支援として、マッチング支援を実施しています。

マッチング支援とは、未内定の学生(既卒を含む)と高知大学生を求人する企業の縁を結ぶ制度。マッチング参加希望学生の研究内容、自己PRや志望業種・職種のリストを本学が作成し、本学にて業界研究セミナーや合同企業説明会等に参加した企業を対象に、リストの入手を希望した企業にリストを送付(個人情報を除く)します。企業は、興味のある学生がいた場合、本学にマッチングをオファー。その後、本学にて当該学生のマッチング希望の有無の確認を経て、原則本学内で、企業説明、試験や面接を行う仕組みとなっています。

令和元年度はこの支援を利用した学生の半数以上が、オファーのあった企業に就職しました。

● マッチング実績(H28~※): ()内は高知県企業で内数

	マッチング 申込企業	マッチング 参加企業	マッチング 申込学生	マッチングした 企業に就職した学生
平成 28年度	92社 (33社)	70社 (23社)	46名	11名 (4名)
平成 29年度	140社 (35社)	106社 (27社)	63名	25名 (2名)
平成 30年度	184社 (23社)	117社 (23社)	43名	17名 (5名)
令和 元年度	149社 (19社)	77社 (11社)	32名	17名 (6名)

就職活動 & A

就職室に聞きました

学生たちの就職活動を最も間近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょう？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75%（年により若干変動します）は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等（大手企業を含め、公務員や教員など）に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOB、OGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。①就職等進路に関する相談 ②就職ガイドブックの配布 ③就職支援セミナーの実施 ④就職情報検索用のパソコンの設置 ⑤企業の求人票・会社案内の閲覧 ⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出 ⑦企業説明会の開催などです。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなり多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合も電話で対応しています。

Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場に行くのは交通費など負担が大きくなりそうで心配なのですが…

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で大阪・岡山行き的高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。このほか、首都圏・関西圏などに就活拠点（セカンドキャンパス）を設けていますので、学生証を提示すれば、施設などを無料で利用できます。

Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部以外の学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのセミナーの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援を行っています。

Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば、面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。また、採用活動のピークを過ぎても就職活動を継続している学生や求職中の既卒者に対して「未内定者マッチング支援」を行っています。学内説明会に参加いただいた企業・団体から未内定者へのスカウトを受ける形で未内定者とのマッチングを実施しています。

Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務室の中に就職担当がおり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また、行ったセミナーは「moodle」というe-Learningサイトに視聴できます。

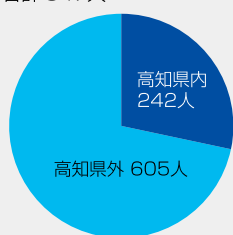
就職関連データ

なお、最新の就職関連データは、高知大学ホームページ「就職支援 > 先輩たちの就職先 > 進学者数・就職者数 / 主な就職先分野及び就職先」にて、ご覧いただけます。

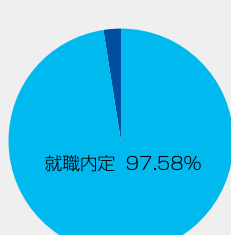


■グラフ1
就職先の県内外比率
(令和元年度卒業生)

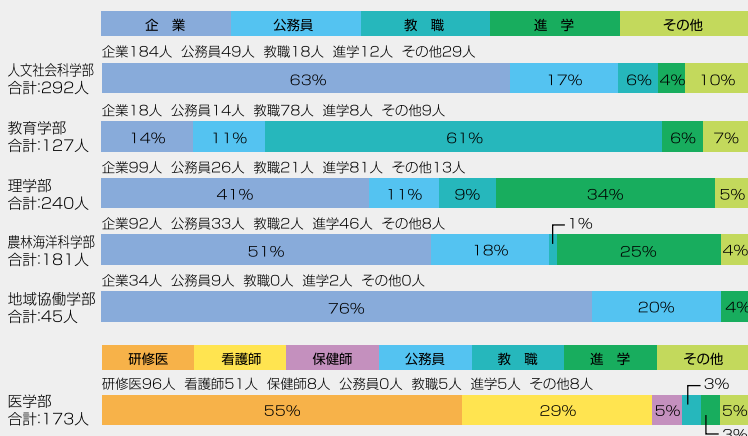
合計:847人



■グラフ2
就職希望者数に対する
就職内定者率
(令和元年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (令和元年度卒業生)



先輩たちの就活体験

企業 高知の魅力を実感に伝える番組を

清谷 麻夕奈 人文社会科学部4年 | 株式会社テレビ高知 内定 | 高知県私立土佐高校出身

私は高校時代、テレビ業界にはまったく興味がありませんでした。しかし、大学に入って突然、アイドルに目覚めました。テレビの中でキラキラと輝くアイドルたちに魅せられるうちに、「輝かせる側の人になりたい」と番組制作に興味を抱くようになりました。当時は漠然と「国語教員になりたい」と思っていて、教職の授業も履修していましたが、マスコミ関係に興味を抱き始めてからは、「自分のやりたいことに挑戦しよう!」と、大学3年生から放送業界への就職に舵を切りました。

また、高校時代の友達の多くが高知県外に進学した中、高知に残った自分がやるべきことは何かを考え始めたのもその頃です。

それまで、ニュースなど情報の取得はすべて

インターネットに頼っていましたが、その状態は自分の都合のいい情報に囲まれているだけだということに気づきました。今は、自分の目で見て、自分の肌で感じた高知を正しく伝えていくことが、私の役割ではないかと考えています。

私はよさこいを見るのが大好きで、大らかで自由闊達な祭りは高知が誇れるものの一つだと思っています。また、高知県日高村で地域活性活動を行っている大学サークル「あだたん」取材し、記事を書いたことを通して、高知にはすごいパワーがあると感じました。

今後はさらにいろんな地域や人と出会って、この素晴らしい高知の魅力をしっかり伝えていきます!



企業 自分のやりたいことに、まっすぐに!

石川 裕一 総合人間自然科学研究科 教育学専攻2年 | 株式会社シマノ 内定 | 沖縄県那覇高校出身



僕は高校野球の監督になりたいと思い、教育学部を志望しました。しかし、教員負担を軽減するために外部の部活指導員の制度導入が検討され始めたのをきっかけに、企業への就職を考えるようになりました。

語学力をもっと磨きたかったことから大学院に進学し、その後すぐに就職活動をスタート。興味がある業種については合同説明会や就職セミナーのすべてに参加し、特に関心が高い分野はインターンシップにも挑戦しました。就職先を決めるのは、やはり自分の目で見て、自分の心で判断することがとても大事だと思います。

最終的に釣り具メーカーに業種を決めたのは、自分が夢になれることだったから。

釣りはもともと大好きでした。

内定2社のうち、株式会社シマノに決めたのは、入社後、早い段階で海外勤務のチャンスがあると知ったからです。今はビジネスの場面でも通用する英語を身につけるべく、TOEICに向けて勉強しています。

努力するのは大変だし、それを続けるのはもっと大変。結果が出ないとさらに大変なことのように感じます。でも、夢中になれば、どんなことも良い方面にどんどん派生していきます。夢中に勝る努力はありません。みなさんも夢中になれるものをぜひ見つけてください。

こちらも注目

地域で活躍したい学生には...

大学・行政・経済団体がタッグを組んで学生の意欲を後押し!

地方創生推進士



学部を問わず、大学の教育課程で地域を学び、住民の皆さんと積極的に交流し、地域の課題解決に取り組んだ学生、高知県への理解と愛情を持ち、地域に貢献したいと考える学生に与えられる称号が「地方創生推進士」です。地方創生推進士と県内企業とのマッチングやインターンシップなど、意欲ある学生が高知県で活躍できる機会を増やす取組を行っています。2019年度末までに、106名の「地方創生推進士」が認証されています。



入試データ Data

2020年度入学者選抜実施状況と2019年度入学者選抜の実質倍率

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試												AO入試			推薦入試					
			前期日程						後期日程						AO入試I			推薦入試I			推薦入試II		
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	前年倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	前年倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)			
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	59	217	194	72	2.7	2.8	5	82	46	23	2.0	7.0				30	101	30			
		国際社会コース	38	107	89	50	1.8	1.7	10	107	65	21	3.1	2.4									
	社会科学コース	A選抜																20	44	20			
		B選抜																15	27	15			
	社会科学コース	A選抜	55	121	116	68	1.7	2.2	5	64	29	5	5.8	7.0	8	28	8	25	32	25			
	社会科学コース	B選抜	5	15	15	5	3.0	4.4															
	小計	275	157	460	414	195	2.1	2.4	20	253	140	49	2.9	4.6	8	28	8	90	204	90			
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	6	17	14	8	1.8	2.0													4	12	4
		教育科学コース																					
		教科教育コース	54	113	92	62	1.5	2.3	5	51	16	7	2.3	6.8				14	44	15	23	50	23
		特別支援教育コース																					
		音楽教育コース	7	7	6	5	1.2	1.0															
		美術教育コース	6	18	17	8	2.1	3.0										6	19	6			
		保健体育教育コース	5	9	8	5	1.6	1.0															
		科学技術教育コース																					
	小計	130	78	164	137	88	1.6	2.2	5	51	16	7	2.3	6.8				20	63	21	27	62	27
理工学部	数学物理学科	数学受験							2	56	35	2	17.5	1.3									
		理科受験	19	53	51	20	2.6	2.4										10	25	12			
	情報科学科	15	47	45	19	2.4	1.2										8	7	6				
	生物科学科	16	39	34	20	1.7	3.2	3	23	12	7	1.7	4.3				10	11	7				
	化学生命理工学科	29	75	70	30	2.3	2.1	5	49	27	8	3.4	1.8				10	22	12				
	地球環境防災学科	46	127	117	53	2.2	2.2	10	102	44	14	3.1	1.4				13	26	13				
	小計	240	144	389	363	165	2.2	2.4	25	307	161	36	4.5	2.0	7	17	7	59	110	58			
医学部	医学科	110	60	400	215	60	3.6	3.9							30	225	30				20	71	20
	看護学科	60	27	30	27	2.4	1.1	3.3	6	55	15	9	1.7	5.1				27	91	29			
	小計	170	87	430	242	84	2.9	3.7	6	55	15	9	1.7	5.1	30	225	30	27	91	29	20	71	20
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	農林資源環境科学科	50	110	94	62	1.5	2.6	12	183	85	23	3.7	4.2									
		暖地農学主専攻領域																2	2	2	4	8	3
		自然環境学主専攻領域													3	13	3				3	2	1
		森林科学主専攻領域																2	3	2			
		森林科学主専攻領域(一般推薦)																			5	3	3
		森林科学主専攻領域(専門推薦)																			1	1	1
	生産環境管理学主専攻領域																4	9	4	4	4	3	
	農芸化学科	45	35	48	41	3.5	1.2	1.9	5	121	45	21	2.1	2.5							5	4	1
	海洋資源科学科	海洋資源科学科							7	65	29	9	3.2	2.5									
		海洋生物生産学コース	18	30	22	18	1.2	1.9															
海洋生物生産学コース(一般推薦)																				6	22	9	
海洋生物生産学コース(専門推薦)																				2	0	0	
海底資源環境学コース		9	15	12	9	1.3	1.8													5	8	5	
海洋生命科学コース	14	75	67	18	3.7	3.2													4	11	4		
	小計	200	126	278	236	142	1.7	2.3	24	369	159	53	3.0	3.3	3	13	3	8	14	8	39	63	30
学地域協働	地域協働学科	60	35	127	117	4.4	2.7	2.0							15	59	16	10	18	11			
	小計	60	35	127	117	4.4	2.7	2.0							15	59	16	10	18	11			
	合計	1,075	627	1,848	1,509	718	2.1	2.5	80	1,035	491	154	3.2	3.3	63	342	64	214	500	217	86	196	77

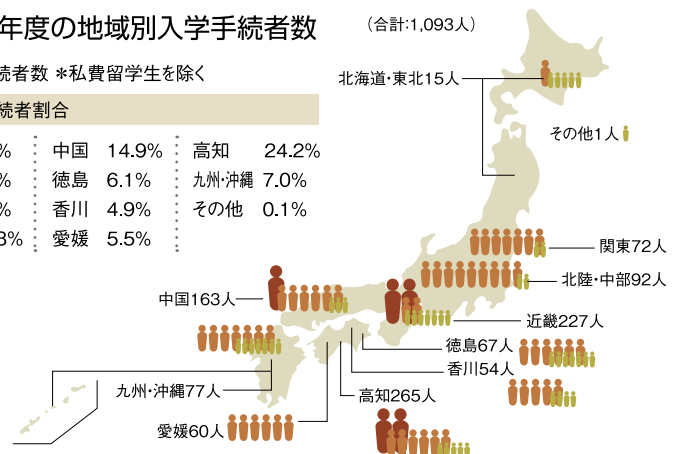
- □ は募集なし
- 私費外国人留学生入試は、志願者=69名、合格者=15名
- 実質倍率=受験者数/合格者数
- 2020年度医学部医学科(前期日程)第1段階選抜は、志願者=400名、合格者=250名
- 追加合格者は含まない
- 農林海洋科学部農林資源環境科学科暖地農学主専攻領域の推薦入試Iは専門推薦
- 後期日程の受験者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応により、個別学力検査等を実施しなかったため、志願者数から前期日程・推薦入試等の入学手続き完了者を除いた「選考対象者」を計上。

2020年度の地域別入学手続き者数

地域別入学手続き者数 *私費留学生を除く

地域別入学手続き者割合

北海道・東北 1.4%	中国 14.9%	高知 24.2%
関東 6.6%	徳島 6.1%	九州・沖縄 7.0%
北陸・中部 8.4%	香川 4.9%	その他 0.1%
近畿 20.8%	愛媛 5.5%	



合格者の最高得点率・最低得点率・平均得点率（一般入試）

2020年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
				人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	84.3%	66.2%	75.6%	81.6%
		国際社会コース	84.0%	66.1%	73.6%	78.5%	64.7%	69.7%	700	
		社会科学コース	A選抜	79.7%	59.5%	65.2%	80.8%	63.6%	66.6%	1,200
			B選抜	-	-	-	-	-	-	1,200
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	-	-	-	-	-	-	-	1,150
		教育学、教科教育、特別支援教育	80.9%	55.5%	62.9%	81.5%	57.7%	63.9%	1,150	
		音楽教育コース、美術教育コース	-	-	-	-	-	-	-	1,150
		保健体育教育コース	-	-	-	-	-	-	-	1,150
		科学技術教育コース	-	-	-	-	-	-	-	1,150
理工学部		数学物理学科	数学受験	76.1%	52.8%	58.6%	71.2%	53.6%	58.3%	1,300
			理科受験	63.1%	53.7%	58.2%	67.4%	59.4%	62.6%	1,300
		情報科学科	72.8%	48.3%	59.0%	69.5%	53.9%	60.2%	1,300	
		生物科学科	75.0%	55.1%	62.8%	77.1%	62.2%	66.8%	1,300	
		化学生命理工学科	71.2%	52.1%	58.8%	70.4%	59.9%	63.2%	1,300	
医学部		地球環境防災学科	72.2%	50.8%	58.5%	78.0%	56.7%	62.1%	1,300	
		医学科	92.9%	78.6%	83.2%	84.9%	74.6%	77.2%	1,900	
		看護学科	76.9%	51.9%	64.4%	77.3%	52.4%	65.7%	790	
農林海洋科学部		農林資源環境科学科	76.7%	55.5%	59.3%	76.9%	57.6%	61.0%	800	
		農芸化学科	64.1%	46.7%	57.9%	65.5%	49.5%	60.3%	700	
		海洋資源科学科	海洋生物生産学コース	70.2%	57.2%	63.5%	71.3%	58.9%	65.1%	900
			海底資源環境学コース	-	-	-	-	-	-	1,400
	海洋生命科学コース	73.2%	59.7%	65.6%	77.5%	65.2%	68.4%	1,300		
地域協働学部	地域協働学科	82.4%	62.2%	67.2%	78.3%	68.4%	71.4%	900		

後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
				人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	83.6%	68.4%	76.1%	83.6%
		国際社会コース	86.5%	76.8%	79.6%	86.5%	76.8%	79.6%	500	
		社会科学コース	-	-	-	-	-	-	500	
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学、教科教育、特別支援教育	-	-	-	-	-	-	900	
理工学部		数学物理学科	-	-	-	-	-	-	800	
		情報科学科	-	-	-	-	-	-	800	
		生物科学科	-	-	-	-	-	-	800	
		化学生命理工学科	75.4%	62.2%	66.4%	75.4%	62.2%	66.4%	800	
		地球環境防災学科	-	-	-	-	-	-	800	
医学部	看護学科	-	-	-	-	-	-	700		
農林海洋科学部		農林資源環境科学科	69.9%	62.0%	64.5%	69.9%	62.0%	64.5%	700	
		農芸化学科	74.6%	62.6%	66.2%	74.6%	62.6%	66.2%	600	
		海洋資源科学科	-	-	-	-	-	-	700	

2019年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
				人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	89.3%	70.6%	77.9%	81.3%
		国際社会コース	84.4%	67.7%	76.5%	77.7%	69.0%	72.4%	700	
		社会科学コース	A選抜	78.9%	63.5%	68.5%	72.1%	62.0%	64.6%	1,200
			B選抜	-	-	-	-	-	-	1,200
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	-	-	-	-	-	-	-	1,150
		教育学、教科教育、特別支援教育	74.2%	57.9%	65.6%	75.8%	63.0%	66.6%	1,150	
		音楽教育コース、美術教育コース	-	-	-	-	-	-	1,150	
		保健体育教育コース	-	-	-	-	-	-	1,150	
		科学技術教育コース	-	-	-	-	-	-	1,150	
理工学部		数学物理学科	数学受験	70.4%	55.7%	62.2%	69.2%	52.8%	58.6%	1,300
			理科受験	66.4%	51.1%	57.5%	68.8%	51.0%	61.3%	1,300
		情報科学科	71.9%	49.7%	59.4%	74.6%	56.6%	63.1%	1,300	
		生物科学科	70.8%	58.8%	62.9%	72.2%	63.1%	65.9%	1,300	
		化学生命理工学科	79.4%	54.2%	62.2%	78.2%	60.1%	63.4%	1,300	
医学部		地球環境防災学科	66.6%	53.2%	59.9%	71.5%	60.8%	64.6%	1,300	
		医学科	91.2%	79.6%	85.0%	82.4%	72.2%	75.1%	1,900	
		看護学科	74.4%	66.5%	69.4%	75.3%	69.2%	70.7%	790	
農林海洋科学部		農林資源環境科学科	71.6%	59.7%	63.7%	70.7%	63.3%	65.8%	800	
		農芸化学科	74.2%	59.8%	63.4%	74.6%	62.4%	65.1%	700	
		海洋資源科学科	海洋生物生産学コース	73.7%	66.2%	70.3%	75.5%	68.8%	71.5%	900
			海底資源環境学コース	70.9%	49.1%	61.1%	70.5%	57.2%	62.4%	1,400
	海洋生命科学コース	73.7%	62.2%	67.4%	74.7%	64.9%	68.6%	1,300		
地域協働学部	地域協働学科	79.2%	58.5%	69.5%	75.7%	67.0%	70.0%	900		
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	-	-	-	-	-	-	1,000		

後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
				人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	-	-	-	-
		国際社会コース	85.3%	74.7%	80.1%	85.5%	75.3%	79.3%	700	
		社会科学コース	-	-	-	-	-	-	700	
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学、教科教育、特別支援教育	-	-	-	-	-	-	1,000	
理工学部		数学物理学科	-	-	-	-	-	-	1,000	
		情報科学科	-	-	-	-	-	-	1,000	
		生物科学科	-	-	-	-	-	-	1,000	
		化学生命理工学科	68.7%	53.2%	61.8%	70.2%	55.6%	62.9%	900	
		地球環境防災学科	-	-	-	-	-	-	1,000	
医学部	看護学科	-	-	-	-	-	-	790		
農林海洋科学部		農林資源環境科学科	76.9%	61.4%	66.7%	78.1%	66.0%	69.6%	900	
		農芸化学科	73.6%	67.9%	70.4%	75.7%	70.5%	72.6%	700	
		海洋資源科学科	80.4%	68.4%	72.9%	81.3%	70.5%	74.0%	800	

注:1 追加合格者は含んでいません。 注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。 注:3 平均点は小数第2位を四捨五入する。

2015~2020年度入学者出身校一覧 ※学校名は入学時の名称

北海道

釧路湖陵、札幌藻岩、旭川西、函館ラサール、立命館慶祥、登別明心中等教育学校、土曜、北見北斗、旭川北、札幌第一、北嶺、札幌旭丘、札幌女子、室蘭米、中標津、札幌南、クラーク記念国際、札幌北、若見沢西、札幌新陽、函館中部、札幌光星、苫小牧東、小樽潮陵、七飯、静内、千歳、帯広三条、帯広緑陽

青森

青森山田
■ 岩手
宮古、不来方、一関第一、盛岡中央、一関第二、盛岡北

宮城

東北学院、仙台第三、仙台二華、仙台向山、尚綱学院、石巻、宮城第一、宮城野、仙台東

秋田

本荘、秋田南

山形

基督教独立学園、日本大学山形、新庄北、長井

福島

郡山、安積黎明

茨城

牛久米進、古河第三、鹿島、江戸川学園取手、土浦日本大学、水城、茗深学園、鹿島学園、緑岡、日立第一、土浦第一、牛久、藤代、水戸桜ノ牧、水戸第二、土浦第二、茨城、水海道第一、つくば秀英、土浦第三、茨城キリスト教学園、鉾田第一、常総学院、並木中等教育学校、聖徳大学附属取手聖徳女子、清真学園

栃木

鹿沼、大田原、佐野、真岡、宇都宮中央女子、宇都宮、那須高原高校、真岡女子、作新学院、大田原女子、宇都宮女子

群馬

大田(県立)、前橋(県立)、東京農業大学第二、富岡、勢多農林、藤岡中央、桐生女子、高崎北、桐生、太田女子、前橋女子

埼玉

開智、川越、西武学園文理、浦和(県立)、大宮開成、松山、熊谷、春日部、春日部共栄、越谷北、川口北、熊谷女子、開智未来、所沢北、星野、大妻嵐山、川越東、浦和第一女子、春日部女子、浦和(市立)、草加、西武台、越谷南、新座総合技術、与野、熊谷、本庄東、伊奈学園総合、城西大学付属川越、朝霞、昌平、本庄、獨協埼玉、大宮、栄東、浦和西、山村学園、銚子(市立)

千葉

長生、千葉(県立)、千葉英和、佐原、成田、千葉東、専修大学松戸、千葉西、成東、八千代松陰、八千代、東葛飾、昭和学院秀英、木更津総合、麗澤、渋谷教育学園壽長、木更津、匝瑛、佐倉、東京学館浦安、市原中央、津田沼、千葉北、成田国際、幕張総合、柏(県立)、千葉商科大学付属、習志野、稲毛、船橋芝山、小金、松戸国際

東京

城東、府中、佼成学園、多摩科学技術、富士、駒場、戸山、多摩大学附属聖ヶ丘、巣鴨、麻布、錦城、日本大学第二、東京都市大学等々力、國學院、江戸川女子、拓殖大学第一、清瀬、日本放送協会学園、小松川、国分寺、聖徳学園、吉祥女子、日比谷、桐朋女子、町田、小川、武蔵(都立)、八王子学園八王子、国際、三鷹中等、東京工業大学附属科学技術、狛江、城北(私立)、東京学芸大学附属、成城、豊島、世田谷学園、砂川、大泉、早稲田、自由学園高等科、光塩女子学院高等科、芝、海城、暁星、文芸学院女子大学、田園調布、成立学園、東京工業高等専門学校、立教女子学院、目黒(都立)、小金井北、都立館、杉並学院、江戸川、世田谷東、新宿山吹、広尾学園、桜修館中等教育学校、正則、華洋、学習院高等科、桜葉林、青稜、田園調布学園高等部、十文字、新宿、女子学院、大森学園、北園、竹早、國學院大學久我山、安田学園、東京都市大学付属、筑波大学附属、保善、大妻、三輪田学園、府中東、東京農業大学第一、武蔵(私立)、創価、三田、日本工業大学駒場、江北

神奈川

桜丘、鎌倉学園、小田原、光陵、厚木、鶴濱、桐光学園、湘南、公文国際学園高等部、横浜サイエンスフロンティア、横浜創英、湘南学院、横浜翠嵐、柏原、桐蔭学園、菅、横須賀大津、山手学院、横浜緑ヶ丘、川崎(県立)、戸塚、日本大学藤沢、湘南学園、横浜隼人、金井、森村学園高等部、逗子開成、神奈川大学附属、伊志田、大和、神奈川総合、東海大学

付属相模、藤瀬学園藤沢、横浜雙葉、関東学院、鶴見、平塚江南、浅野、希望ヶ丘、大磯、生田、立花学園、鎌倉女子大学高等部、相模原(県立)、横浜清陵、横浜須賀(県立)、武相、多摩

新潟

高田、長岡、巻、新潟西、柏崎翔洋中等教育学校、高田北城、日本文理、新潟、村上、新潟江南、村上中等教育学校、津南中等教育学校

富山

桜井、富山東、水見、高岡南、魚津、富山、片山学園、呉羽、南砺福野、石動

石川

飯田、小松、金沢、金沢桜丘、金沢錦丘、金沢学院東、金沢二水、日本航空高等学校石川、小松市立、星城、金沢西、穴水

福井

北陸、武生東、美方、仁愛女子、若狹、藤島、武生、敦賀、高志、大野、鯖江、羽水

山梨

巨摩、富士河口湖、韮崎、甲府第一、山梨学院、甲府南、甲府北、駿台甲府

長野

松本嬢ヶ崎、伊那弥生ヶ丘、諏訪清陵、諏訪二葉、松本県ヶ丘、佐久長聖、長野吉田、上田、長野日本大学、松高学園、屋代、長野西、須坂、野沢北、木曾青峰、松本深志、大町岳陽、長野(県立)

岐阜

岐阜、恵那、長良、岐阜北、中津、大垣東、岐阜、多治見、多治見西、斐太、益田清風、加茂、多治見北、各務原西、岐阜農林、鶯谷、中京、帝京大学可児、高山西、関、大垣西、麗澤瑞浪、加納、岐阜東、瑞浪、郡上、美濃加茂、各務原、大垣商業

静岡

沼津東、浜名、焼津中央、磐田南、静岡市立、吉原、清水東、浜松日体、三島北、聖隷クリストファー、浜松西、韭山、伊東、掛川西、静岡城北、富士宮西、袋井、掛川東、静岡、静岡学園、島田、加藤学園眺秀、沼津西、伊豆中央、榛原、浜松南、浜松学芸、三島南、浜松湖南、御殿場南、磐田東、浜松市立、清流館、浜松湖東、下田、清水西、静岡西、静岡聖光学院、静岡中央、沼津城北、静岡北、知徳、科学技術、浜松工業、静岡東、藤枝西、藤枝明誠、浜松北、富士東

愛知

東海、海、岡崎西、一宮南、愛知、五条、名古屋西、南山、横須賀、西尾、高蔵寺、国府、昭和、旭丘、旭野、名城大学附属、刈谷北、愛知淑徳、名古屋、中部大学春日丘、瑞陵、春日井南、豊田北、千種、一宮、西春、岡崎北、愛知教育大学附属、大府、碧南、愛知工業大学名電、春日丘、名古屋、豊田西、豊橋南、一宮西、東郷、豊川、半田、菊里、天白、小牧南、岡崎、松蔭、大府東、小牧、春日井、豊田南、津島、明和、緑、西尾東、豊野、清林館、中央、名古屋女子教育大学附属、藤ノ花女子、東邦、桜花学園、日進西、豊明、光ヶ丘女子、田口、阿久比、名古屋女子大学、知立東、東海南、刈谷、成章、熱田、長久手、豊丘、豊田、海陽中等教育学校、桜台、大成、惟信、一宮興道、美和、常滑

三重

神戸、津西、四日市西、宇治山田、四日市、鈴鹿、津東、名張西、ウイツツ青山学園、桑名、三重、院、四日市南、松阪、尾鷲、津、学芸津田学園、上野、桑名西、木本、久居

滋賀

米原、東大津、膳所、水口東、石山、虎姫、八日市、光泉、彦根東、比叡山、高島、MIHO美学院中等教育学校、安曇川、ECC学園、近江兄弟社、草津東

京都

福知山、大谷、京都成章、洛西、南陽、西舞鶴、亀岡、菟道、西城陽、嵯峨野、桃山、東山、城南菱刈、花園、京都教育大学附属、西京、宮津、洛南、京都橋、桂、日吉ヶ丘、龍谷大学付属平安、京都産業大学附属、福知山成美、京都学園、紫野、海洋、立命館、山城、塔南、京都女子、京都共栄学園、網野、洛北、同志社、洛星、堀川、峰山、東宇治、須知、京都聖母学院、綾部、京都文教、西乙訓、園部、ノートルダム女学院、久御山、鳥羽

大阪

三島、池田、清風、大阪桐蔭、開明、桃山学院、清風南海、近畿大学附属、関西大倉、清教学園、高槻、明星、泉面自由学園、北千里、茨木、浪速、帝塚山学院東ヶ丘、箕面、四天王寺、鳳、泉陽、常務学園、四條畷、大阪学芸、東海大学付属仰光、プール学院、大阪教育大学附属平野、寝屋川、東住吉、

岸和田、上宮、牧野、追手門学院、初芝富田林、常翔啓学園、大阪国際大和田、今宮、大手前、金蘭千里、大阪青森、住吉、富田林、南、東、大阪教育大学附属天王寺、北野、豊中、市岡、金光大阪、東海大学付属大阪仰光、和泉、八尾、大阪星光学院、槻の木、大阪市立、三国丘、河南、枚方、大阪学芸中等教育学校、高津、天王寺、刀根山、咲くやこの花、生野、早稲田摂陵、履正社、千里、大阪商業大学堺、四天王寺羽曳丘、扇町総合、金光八尾、夕陽丘、興國、狭山、羽衣学園、大阪薫英女学院、茨木西、桜塚、桃谷、阿倍野、ルネサンス大阪、長野、大阪教育大学附属池田、天王寺学園、農芸、大阪学芸大学、桜宮

兵庫

津名、三木、姫路飾西、相生、御影、龍野、川西緑台、小野、淳心学院、須磨学園、八鹿、加古川西、北須磨、夢野台、姫路南、洲本、星陵、社、兵庫、明石城西、三田学園、兵庫県立大学附属、三田祥雲館、姫路、加古川東、長田、伊丹(県立)、須磨東、神戸商業、滝川、神戸鈴蘭台、白陵、尼崎小田、明石西、西宮(市立)、滝川第二、西宮北、明石、雲雀丘学園、篠山鳳鳴、西宮(県立)、神戸星城、豊岡、北摂三田、甲南、香寺、宝塚北、近畿大学附属豊岡、明石北、有馬、加古川北、東播磨、鳴尾、伊丹北、尼崎福園、北条、淡路三原、六甲学院、佐用、須磨友が丘、伊川谷北、福岡、柏原、尼崎北、姫路東、明石南、赤穂、仁川学院、西宮東、西脇、宝塚西、姫路西、報徳学園、山崎、賢明女子学院、上郡、東洋大学附属姫路、柳学園、西宮今津、神戸学院大学附属、宝塚、琴丘、親和女子、浜坂、明石商業、六甲アイランド、川西北陵、和田山、神戸甲北、高砂南、出石、六甲、伊和、伊丹(市立)、播磨農業、高砂、猪名川、太子、甲南女子、三田松聖、神戸大学附属中等教育学校、武庫荘総合、神戸龍谷、兵庫播磨、甲陽学院、蒼合、尼崎(市立)、姫路商業

奈良

帝塚山、奈良学園、高田商業、青翔、橿原、平城、奈良北、敬傍、奈良、智辯学園、智辯学園奈良カレッジ高等部、香芝、五條、天理、西大和学園、登美ヶ丘、天理教校学園、生駒、育英西、奈良女子大学附属中等教育学校、東大寺学園、一条、奈良学園登美ヶ丘

和歌山

向陽、田辺、桐蔭、日高、和歌山信愛、近畿大学附属和歌山、新宮、智辯学園和歌山、海南、那賀、耐久、橋本、神島、星林、近畿大学附属新宮、串本古座、鳥取橋本、粉河

鳥取

倉吉東、鳥取西、鳥取東、米子東、倉吉西、米子西、八頭、倉取城北、米子緑蔭、倉吉北、米子北斗、鳥取中央育英、倉吉農業

高根

出雲、松江南、松江北、浜田、大社、崎崎島前、益田、松江東、安来、平田、石見智翠館、大東、三刀屋、出雲西、津和野、大田、矢上、飯南、開星、鳥根中央

岡山

岡山一宮、倉敷南、岡山城東、岡山学芸館、岡山芳泉、倉敷古城池、倉敷天城、総社南、玉島(県立)、明誠学院、岡山操山、岡山朝日、津山、岡山白陵、西大寺、倉敷青陵、総社、玉野光南、就美、新見、高梁、玉野、岡山理科大学附属、瀬戸、金光学園、岡山、林野、津山東、笠岡、勝山、おかやま山陽、矢掛、井原、岡山大安寺、邑久、関西、岡山県作陽、岡山大安寺中等教育学校、岡山県美作、創志学園、備前緑陽、興譲館、倉敷商業、山陽女子、岡山備前、倉敷藤川、津山商業、倉敷翠松、清心女子、倉敷

広島

広島、安古市、福山誠之館、広島皆実、廿日市、祇園北、修道、広島なぎさ、広島国泰寺、尾道北、呉三津田、広島大学附属福山、大門、広島学院、高陽、広島大学附属、三次、海田、神辺旭、尾道商業、広島城北、崇徳、尾道東、基町、盈進、呉宮原、如水館、三原、五日市、舟入、ノートルダム清心、広島、安田女子、近畿大学附属広島(福山校)、賀茂、因島、広島国際学院、銀河学院、西条農業、安佐北、沼田、福山、福山院の星女子、庄原格致、比治山女子、広島女子学院、近畿大学附属広島(東広島校)、福山華陽、吉田、広島井口、広島中等教育学校、AICJ、広島三育学院、福山明王台、世羅、可部、美鈴が丘、呉港、日影館、広陵、武田、広島観音、広島新庄、安芸南、忠海、広島工業大学、尾道

山口

山口、徳山、下関南、小野田、豊浦、華陵、岩国、防府、大津緑洋、下松、下関西、宇部、光、下関中等教育学校、長府、松陰、周防大島、萩、早鞆、柳井、熊毛南

徳島

脇町、城北、城南、城ノ内、富岡西、阿波、徳島北、徳島市立、富岡東、海部、川島、徳島文理、小松島、徳島科学技術、鳴門渦潮、名西、鳴門、辻、板野、徳島商業

香川

高松桜井、高松第一、三本松、高松西、観音寺第一、丸亀、坂出、高松北、高松商業、高松、香川誠陵、大手前丸亀、善通寺第一、坂出商業、香川中央、高松東、香川県大手前高松、高松南、丸亀城西、高松中央、大手前高松、英明、香川県大手前、高瀬、小豆島、香川県藤井、観音寺総合、観音寺中央、土庄、坂出第一

愛媛

西条、今治北、宇和島東、新居浜西、松山中央、八幡浜、今治西、松山北、南宇和、川之江、大洲、宇和島南中等教育学校、松山南、松山東、愛光、松山西中等教育学校、清美、清美平成中等教育学校、丹原、川之石、今治南、新田、野村、今治東中等教育学校、佐伯商業、新田青雲中等教育学校、愛媛大学附属、伊予、内子、東温、上浮穴、三崎、弓削、土居、北宇和、松山聖徳、今治明德、松山工業、松山商業、宇和、新居浜商業、松山東雲、三瓶、新居浜南、伊予農業

高知

高知追手前、土佐、高知小津、高知学芸、高知西、中村、土佐塾、高知商業、土佐女子、高知南、高知丸の内、岡豊、安芸、高知工業、山田、高知、明徳義塾、高知農業、高知北、宿毛、橘原、春野、室戸、高知東、窪川、清水、幡多農業、須崎総合、須崎、四万十、高知東工業、濱北、高岡、佐川、伊野商業、中芸、清和女子

福岡

北筑、自由ヶ丘、東福岡、小倉、戸畑、八幡、福岡大学附属大濠、育徳館、筑紫、筑陽学園、三池、田川、明善、香住丘、八女学院、嘉穂、韋手、西南学院、近畿大学附属福岡、九州国際大学付属、大牟田、九州産業大学付属九州、福岡中央、春日、久留米、西南女子学院、宗像、明治学園、精華女子、久留米大学附設、修徳館、筑紫丘、福岡雙葉、伝習館、筑前、糸島、福岡、小倉南、嘉穂東、福岡工業大学附属城東、京都、朝倉、輝翔館中等教育学校、小倉東、福岡常葉、祐誠

佐賀

鳥栖、伊万里、東明館、唐津東、弘学館、白石、佐賀北、佐賀西、武雄、小城

長崎

五島、長崎南、佐世保北、西陵、佐世保西、長崎東、島原、猶興館、長崎北、諫早、上五島、長崎南山、大村、佐世保南、長崎日本大学、長崎北陽台、長崎西、清峰、海星、杵岐、西彼杵、口加

熊本

熊本西、東稜、第二、八代、大津、玉名、人吉、熊本、鹿本、第一、清々齋、熊本マリスト学園、宇土、天草、阿蘇中央、八代清流、一ツ葉、熊本北、熊本学園大学付属

大分

日田、中津南、大分西、別府鶴見丘、大分豊府、大分鶴城、佐伯鶴城、大分雄城台、大分東明、国東、大分舞鶴、竹田、宇佐、杵築、安心院、大分南、藤蔭、大分上野丘、爽風館、別府青山、日本文理大学附属

宮崎

延岡、高鍋、宮崎南、宮崎北、宮崎西、妻、小林、都城泉ヶ丘、宮崎大宮、日向、五ヶ瀬中等教育学校、都城西、宮崎第一、延岡星雲、宮崎日本大学、日向学院、宮崎学園、佐土原、聖心ウルスラ学園、日南、都城東、日向学園、高千穂、藤野

鹿児島

武岡台、出水、鹿児島中央、松陽、川辺、鹿児島玉龍、志布志、大口、尚志館、池田学園池田、ラサール、加治木、鳳凰、指宿、鹿児島、出水中央、国分、曾於、種子島、大島、樺南、鹿屋中央、徳之島、鹿児島工業高等専門学校、神村学園高等部、加世田

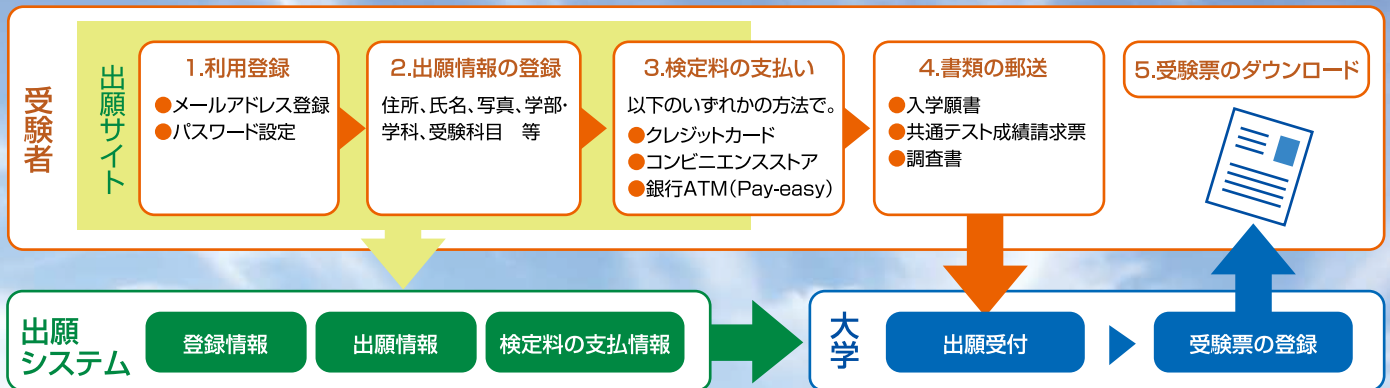
沖縄

球磨、那覇、普天間、首里、開邦、読谷、興南、名護、那覇国際、コガ、知念、宜野座、ヒューマンキャンパス、与那、那覇西、沖縄尚学、八重山、N

インターネット出願サイトについて

学部における入学者選抜の出願は、インターネットによる出願です。

四国の5国立大学(高知大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学)共通の出願サイトです。*私費外国人留学生、社会人入試、編入学を除く



オープンキャンパス

Let's open the door!

web

オープンキャンパス開催!! 8/18(火)～8/30(日)

動画で観ることのできる「高知大学WEBオープンキャンパス」を開催します。
本学ホームページからお申込みください。詳細が決まり次第、順次掲載します。

[受付期間] 7/27(月)～8/30(日)

→ 高知大学 受験生サイト

<https://nyusi.kochi-u.jp/>



[お問い合わせ先] 入試課入試広報室

☎ 088-844-8766

FAX 088-844-8147

大学案内・学生募集要項等の請求方法

高知大学ホームページをご覧ください。

<https://www.kochi-u.ac.jp/>

または

→ 受験生サイト

→ 学生募集要項等の請求方法

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜の各募集要項は、インターネット出願への移行に伴い、Web閲覧のみとなります。



LINEで情報配信中!
@kochi-univ.adm

オープンキャンパス情報や、入試情報などを配信しているため、ぜひ「友だち」登録してご活用ください。

(登録方法)

LINEアプリから右のQRコードを読み取るか、「友だちをIDで検索」より「@kochi-univ.adm」を検索してください。



お問い合わせ先

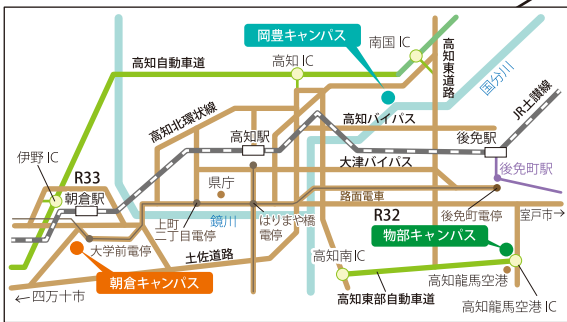
■ 受験生サイト。入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています!
<https://nyusi.kochi-u.jp/>

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 TEL 088-844-8149
E-mail gs03@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町2-5-1

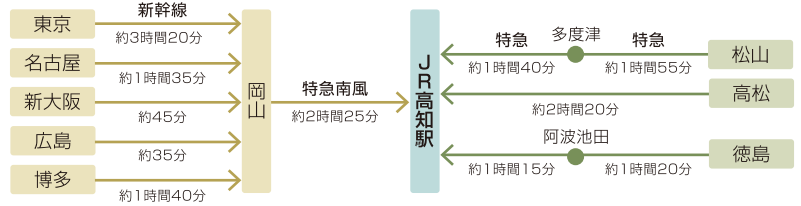
入学者選抜に関するお問い合わせ先

学務部入試課 TEL 088-844-8153
E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町2-5-1

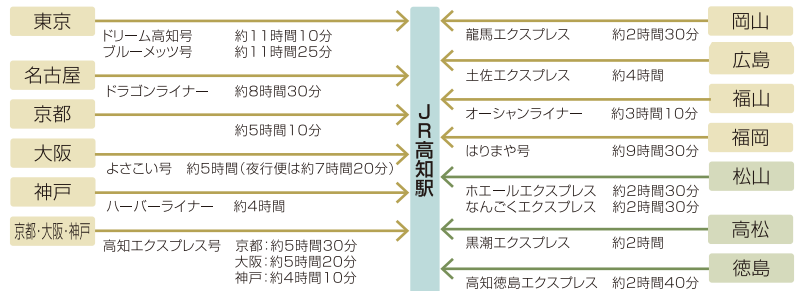


高知県までの交通アクセス

▶ JR ※乗換時間は含みません



▶ 高速バス



▶ 車



▶ 飛行機



[キャンパス間の所要時間]



■ 朝倉キャンパス: 人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部
高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約40分
空港連絡バスで約35分「はりまや橋」又は、約40分「JR高知駅」下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
車で約20分又はバスで約25分
- 高知駅から 路面電車車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

■ 岡豊キャンパス: 医学部
南国市岡豊町小連

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約10分

■ 物部キャンパス: 農林海洋科学部
南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
車で約30分
- 高知駅から 空港連絡バスで約35分、「高知龍馬空港」下車、徒歩約15分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分

高知大学案内

発行日 2020年7月 / 発行 高知大学 学務部入試課
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8766 E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp